

地域経済研究センター
調査研究報告書 No.6

市民参加型のまちづくりとは何か

—佐賀市の取り組み事例発掘から考える—

2000年3月

佐賀大学経済学部
地域経済研究センター

はしがき

この報告書は、佐賀大学経済学部地域経済研究センターにおける共同研究『市民参加型のまちづくりとは何かー佐賀市の取り組み事例発掘から考える』の第1段階の中間まとめである。

今日、一方では社会・経済が著しく国際化しており、自らの暮らしや環境を考えるに当たっても地球的・国際的視点を求められているが、他方では、自らの暮らしや環境を支える日々の営みを、自己と地域において具体的にどのように組み立てるかを置いては考えられなくなっている。そのような地域における具体的な課題の一つにまちづくり問題がある。かつて、まちづくりといえば、もっぱら行政の行うハード中心の施設造り事業であったが、今日では、ハード・ソフトを交えた地域社会のあり方をどのように市民・住民が形成して行くかを、それぞれの地域社会で考える時代になっている。そこから今日、「市民参加」、「まちづくり」、「ネットワーク」などの言葉が飛び交うようになってきた。とはいえ、「市民参加のまちづくり」とは、どのようなものを指すのかについては、論者によってまったくさまざまである。

そこで本研究では、研究課題が示すように市民・住民・企業・団体・行政など具体的な地域諸主体の活動から「市民参加のまちづくり」とは何かを探ってみる方法をとった。この中間的まとめに示すように、地元の佐賀新聞の記事から具体的な諸活動を拾ってみながら、課題に接近しようとするものである。しかし、研究メンバーは課題設定の段階からさまざまな想定をして、「市民参加のまちづくり」についてのイメージを共有しようとしたが、必ずしも成功していない。まさに、論者によってさまざまな市民参加概念、まちづくり概念を持っていることだけが明らかになった。

この中間報告書は、研究の出発点に当たって、市民参加、まちづくりなどのさまざまなイメージを、研究参加者がそれぞれ明示的に提示するためにまとめたものである。また、この研究にかかわる問題整理を、研究メンバー以外の人にも紹介して、より一般に理解されるような研究整理にしたいため、佐賀地域経済研究会(事務局:[財]佐賀経済調査協会)の3月月例研究会にも報告した。そこでの貴重な問題指摘も考慮しつつ、この研究は次年度にも継続する予定である。多くの方々のご批判やご助言を期待して、中間報告を提出する。

2000年3月

研究代表者 蔦川 正義

目 次

| | |
|--|----|
| 第1章 市民参加の現状と課題—代議制民主主義の危機とシチズンシップ— | |
| はじめに | 1 |
| 1. 市民の登場と市民参加の時代 | 1 |
| 2. 民主主義の行き詰まりと市民参加 | 5 |
| 3. 市民参加の制度化に向けて | 7 |
| 4. おわりに | 10 |
| 第2章 市民参加のまちづくり | |
| はじめに | 12 |
| 1. 「まちづくり」という問題提起 | 13 |
| 2. 最近の「まちづくり」の変化と特徴 | 14 |
| 3. 市民参加のまちづくりについて | 19 |
| 第3章 佐賀県における「まちづくり」の状況と市民参加 —佐賀新聞記事データベース検索による準備的考察— | |
| はじめに | 24 |
| 1. データ | 24 |
| 2. 分析 | 24 |
| 資料1 | 35 |
| 資料2 | 47 |

執筆担当

| | |
|-------|---------------------|
| 第1章 | 畑山敏夫（経済学部教授） |
| 第2章 | 蔦川正義（経済学部教授） |
| 第3章 | 長安六（経済学部助教授） |
| 資料1・2 | 長安六 池田智子（経済学部助手） |

第1章 市民参加の現状と課題

一代議制民主主義の危機とシチズンシップ

はじめに

アメリカの政治学者 S・S・ウォリンは、現代デモクラシーの根幹に、シチズンシップ（市民の政治意識と政治参加）の危機を見いだしている。現代のアメリカにおいては、国民が政治的領域を放棄し、政治的受動性が「市民的特性」として評価され、市民の主権が消費者の主権にとって代わられた。その結果、個人主義的偏向と利益政治への指向性が顕著になっている。そこから、民主主義の再生が課題となる。デモクラシーとは、民衆相互の協働、連帯、公的討議、参加を通じて、いわば「下から」民衆の権力を構成し、もって公的世界の形成の足がかりとし、その民衆の権力を維持していく試みに他ならない以上、シチズンシップの回復は中核的な課題である¹。

そのようなウォリンの指摘は、そのまま、日本の民主主義の現状にも当てはまる。国民は物質主義的消費を中心とした私的領域に自閉し、個人主義的偏向は顕著であり、政治への関心を喪失し、もしくは、政治への失望から公共空間から遠ざかっている。特に、1990年代にはいって、無党派層が増大し、国政選挙での投票率も低迷状態をつづけている。だが、そのような民主主義の危機的な状況のもとで、シチズンシップの再生の希望も生まれてきている。すなわち、ウォリンのいった意味でのデモクラシーの再生と、それを可能にするシチズンシップの再生が日本の地域政治の中から育ってきている。

それは、市民参加という形での、市民の公共の領域への介入の活発化である。地域社会の市民が、まちづくり、福祉、環境、教育、人権など、様々なテーマをめぐって公的な討議に参加し、協働し、連帯する事例は、全国に無数に生まれてきている。そして、今や、行政の政策決定を問題にして、市民の自己決定を求める住民投票の要求も全国で多発している。

過去において政治的に受動的な存在であった市民は、発言し、行動し、共同して、地域の政策形成や政策決定に参加するまでに成長しはじめている。そのようなシチズンシップの確立は、日本の「おまかせ民主主義」の風土を一変する可能性を秘めている。本論では、そのような活性化しつつある日本の市民参加について、その背景を含めて検証してみよう。

1. 市民の登場と市民参加の時代

「市民」という用語が政治社会を構成する主体として想定されるようになったのは、日本においてはそんなに古い話ではない。いや正確に言えば、現在においても、「市民」という用語については、強い抵抗感が示されている。そのことは、民主党の菅直人の「市民という用語の使用に対して、中曽根康弘が「菅直人君のいう『市民』は山の手のインテリのことだ。市民主義は権力への反抗にすぎない」と決めつけ、「市民」に対して「庶民」を対置していることから、「市民」という用語がコンセンサスを得ていないことが分かる。保守主義者である中曽根は、「庶民」を「八百屋さんとか魚屋さんとか、スーパーのおねえちゃんとか」を想定している²。保守主義者にとって、「市民」という、政治に対して批判的な意識をもち、政治に参加する主体は忌避すべき概念であり、日常生活の中で非政治的に生き、上からの統治の客体である「庶民」という主体が好ましいようである。

また、歴史的には「市民」という言葉は、ヨーロッパで都市を取り巻く防壁の内側に住む住民を意味する「ブルジョワ」に由来し、西欧市民革命の歴史的主体であった。その後、有産階級としての「市民」に対して、産業革命の中で、労働力しか売るものを持たない無産階級としての「労働者階級」が対置されることになる。従来、左翼は、「市民」という用語を忌避し、「プチブル」として批判的な眼差しを投げかけてきた。

故に、日本の社会変革の運動は労働者階級によって主導され、労働者の組織である労働組合が担ってきた。いわゆる戦後革新運動は、労働者階級の政治的代表である革新政党と労働組合のナショナルセンターによって指導され、生活・労働条件の改善や反核平和運動にいたるまで、そのような勢力によって推進された。故に、そのような時代の社会運動は労働者を主体とし、保守－革新という政治的対立を軸に展開された。

「市民」が日本政治に登場するのは、60年安保の時であった。労働組合に属さない人々の運動として「声なき声の会」のような団体に象徴される形ではじまるが、安保という保守－革新の対立的テーマのなかで、労働者の運動を補完する存在でしかすぎなかった。本格的に「市民」が政治の登場してくるのは、60年代後半のベトナム反戦運動の中であった。小田実たちに率いられた「ベトナムに平和を！市民連合（ベ平連）」が、本格的な「市民」の運動として活躍する。ベ平連は、組織に帰属しない人々（「ただの市民」）の自発的な運動で、指揮命令関係を否定するというユニークな組織原理を打ち出していた。

豊かな社会への移行の負の側面として、60年代後半には、環境破壊＝「公害」が表面化するが、それに対して全国で反公害運動が噴出する。ベ平連とならんで、労働組合に帰属しない人々の運動の登場であった。反戦平和のテーマと同様に、公害問題に対しても、労働組合は積極的な姿勢を見せず、社会運動の重心は、労働者主体の古い社会運動から、「市民」主体の新しい社会運動へと移っていった。

ベトナム反戦運動、反公害運動として市民運動＝新しい社会運動が本格化するが、当時の運動が異議申し立て的な運動であったことは、後の、参加的運動の時代とは異なるが、社会運動の主体の交代は、日本における「市民」の時代のはじまりを告げて

いた。そして、その時代は、政治参加の時代の始まりでもあった。

以上のように「市民」が政治の主体として意識され、市民参加が現実のものになるには、日本社会の変化が背景としている³。すなわち、第1には、高度経済成長をくぐるなかで、日本社会でも本格的な中間層社会が実現したことである。もともと、階級意識が希薄な日本で、生活レベルの向上による中間層の拡大は労働者意識をますます希薄化し、政治の主体としての労働者の役割は後景に退いていった。また、社会生活の複雑化とともに、個人の集団帰属は多元化していき、特定の帰属によって個人を定義（「労働者」「会社員」など）することを困難化していった。「大衆」や「庶民」「市民」といった階級区分を超えた範疇が使用されたが、「市民」という範疇が、その政治にアクティブにかかわっていく主体としてしばしば使用されることになった。

第2に、環境破壊や福祉の立ち遅れ、都市問題の噴出など高度経済成長のマイナス面が意識されるようになり、そのような課題に取り組む批判的人々が全国的に登場し、そのような新しい社会運動が「市民運動」として認知されることになる。特定のイデオロギーや組織の利益を代表して活動するのではなく、社会的な不公正や不正義に異議申立てをする政治主体としての「市民」というイメージが形成された⁴。

第3に、第2の点と関連するが、従来の物質的利益の配分を中心とした争点に代わって物質的な利益の配分を越えた新しい争点が噴出したことも「市民」の政治の時代をもたらした。環境、教育、女性、平和、開発、人権、安全な食物、ゴミといった争点は、物質的利益の配分を中心とした労働運動では対応できず、特定の組織に帰属しない「市民」の自発的な運動によって担われることになる。

以上のような時代背景の中で、「市民」を主体とした社会運動が日本でも定着するが、初期の市民運動は、経済成長を優先する既成政治への異議申立て運動として出発する。そのことは、高度成長の弊害への抗議運動としてはじまるという運動の歴史的起源にも規定されているが、市民運動の初期の参加者が、1960年代後半～70年代前半の挫折した反体制的政治運動の経験者が少なからず参加したことにも関係している。

さて、1980年代に入ると、政治の争点は、高度にイデオロギー的で政治主義的なものから生活密着型へと転換する。いわゆる、ハイ・ポリティクスからロー・ポリティクスへと政治の質は変化する。それは、社会運動の課題の転換によっても説明できる。環境問題で言えば、初期の公害問題は、特定企業（群）の排水・排煙に典型的に見られる産業公害型の環境破壊から、ゴミや自動車排ガスに見られるような生活公害型の環境破壊へと変化する。

そうすると、初期の企業や行政への異議申したて的な対応は限界を迎える。一般の生活者の生活・消費スタイルや価値観の転換も含めて、トータルな対応が必要になってくる。原発に異議申したてをする「反原発」運動から、代替エネルギーの開発を含めたエネルギー政策の転換や、個人の電力浪費の生活スタイルの転換などの複合的な対策を追求する「脱原発」運動へと原発をめぐる市民運動が変化していったことも、同じ文脈で理解できる。企業や行政への異議申したての運動から、市民の価値観や生

活スタイルの転換を前提として、政策決定の過程に参加し、対案としての政策を準備し、必要であれば行政との協力も辞さない運動へと市民運動は変化していく。この段階にいたって、政策決定の場に参加し、制度の創設・転換を通じての問題解決を重視する参加型の市民運動が日本政治でも定着していくことになる。

もちろん、市民参加という場合、広義には、市民が社会のあらゆる側面にわたって行う自覚的な介入と解釈することができる。例えば、アメリカでは、あるメーカーのアイスクリームが全米で第2位の売り上げをあげている。同メーカーは容器に「私たちは、バーモント州の零細な酪農家以外からは原料を買いません」と書いてあり、アグリビジネス、巨大な農業資本の参入によって苦しむ家族経営の農家、酪農家に連帯する消費者の購買行動によって売り上げを伸ばしてきた。アイスクリームの購買という行為が、アグリビジネスによる農業支配に抗して零細農家を保護し、持続可能な農業を守るという目的につながっている。それは、自覚的消費者による購買行動を通じた市民参加と言えよう⁵。

日本でも、消費活動を通じた提案型の運動は広がりつつある。その典型的な事例を紹介しておけば、脱原発と電気のグリーン化に取り組む NPO である「北海道グリーンファンド」の運動が、現代における市民参加の本質をよく示している。北海道グリーンファンドは、市民による共同購入運動である生活クラブ生協を母体として生まれた NPO 法人である。同生協は、従来、北海道電力の原発の泊原発1・2号機の計画に対して住民投票条例の制定を求める直接請求運動に取り組み、原発反対の運動を展開してきた。

しかし、電力会社側から対案を求められ、抵抗だけの運動の限界を自覚した有志によって「北海道グリーンファンド」が設立され、グリーン電気料金の運動がはじまった。その運動が実を結んで、北海道電力の協力で、グリーン電気料金制度が実現した。通常の電力料金に希望者は5%を上乗せして徴収され、その5%の料金を基金に自然エネルギーに投資が行われる仕組みである。2000年5月現在では、838人が会員登録し、風力発電のプロジェクトが始動している⁶。

そのような事例は、市民が原発開発への異議申立を超えて、オルタナティブなエネルギー開発という公共の問題に取り組んでいること、消費者である市民がより高い電力を購入するという市場原理に反する行動をすることで、公共の問題に介入していること、電力会社を巻き込んでグリーンエネルギーの制度化に成功していること、すなわち、対案の提示、市民の自己責任、制度化の活用といった現代の市民参加の特質を表現している。

このように、市民参加の時代は、階級的視点から生産点での労働組合運動によって生活・労働物条件の改善を追求する「労働者」、購買行動を通じて経済的効用を最大化することを追求する「消費者」、地域社会の中で快適な生活環境の享受を追求する「生活者」といった分断された人間像ではなく、「労働者」「消費者」「生活者」といった多面的な側面をもった人間が、自覚的に思考し行動することで公共空間に参加する時代

である。

2. 民主主義の行き詰まりと市民参加

自覚的に思考し行動するという意味での市民が公共空間に参加する時、参加のルールがとして市民参加の制度が必要になってくる。従来、「政治社会」と「市民社会」を分断して、「市民社会」からの信託によって政治的代表が公共空間をデザインするという限定的参加のルールが支配してきた。

元来、民主主義には直接民主主義と間接民主主義の2つの種類がある。古代ギリシャ時代の都市国家（ポリス）、有名な例としてはアテナイにおいては、ポリスの市民による直接民主主義的な政治運営が行なわれ、中世ではスイスの山村部で直接民主的な運営が行なわれていた。しかし、近代に入ると、構成員数の多さや国土の広さからも直接民主主義は技術的にも困難で、当然、議会を中心とした間接民主主義（代議制民主主義）が政治運営の基本になった。

だが、1980年代以降、ヨーロッパでは、直接民主主義の再評価と復活が顕著になる。現在においては、間接民主主義を補完する制度としてリコール、国民（住民）投票などの形で直接民主主義の要素が各国で組み込まれているが、特に目につくのが国民（住民）投票である。ヨーロッパ諸国では、EU 統合、原発をめぐる国民投票が国民の最終的な意志決定の手段として活用されている。自治体レベルでも、スカンジナビア諸国やオランダ、スイスで住民投票制度が議会政治を補完するものとして積極的に活用されている。

例えば、オランダのアムステルダムでは、1991年に住民投票が制度化され、翌年には最初の投票が実施されている。ユニークな点は、投票のテーマを市民から募っていることである。自動車の増加が悩みの種であったアムステルダムでは、自動車の都心への乗り入れ制限か自動車道路の整備かで住民投票が実施された。投票率は28%で、投票者の過半数は自動車の乗り入れ制限に賛成し、市議会はその結果をもとに都心への自動車乗り入れ制限の具体化に乗り出した⁷。

アメリカにおいては、有権者に対して憲法や法律、条例の修正・制定の提案を認める直接立法制度であるイニシアティブ（直接発議）と議会が提案した憲法や法律、条例の制定や修正を住民投票による評決によって受け入れまたは拒否を決めるレファレンダムの2種類の住民投票制度がある。そして、実際に、税金やデポジット制などのテーマをめぐる数多くの住民投票が実施されている⁸。

以上のように、われわれが議会制民主主義を学んだ西欧諸国では、近年、住民投票直接民主主義的な手法を積極的に活用していることを確認しておこう。

さて、市民参加の代表的制度である国民（住民）投票制度の是非については、様々な議論があるが、そのような市民参加の制度が欧米各国で広く活用されている背景に

は、現代の代議制民主主義政治の孕む問題が横たわっている。すなわち、市民参加的手法の普及という現象は、代議制民主主義の行き詰まりと現代政治の質的変化という先進社会に共通する要因に起因している。

第1の、代議制民主主義の行き詰まりは、政治学的言い方では「民主主義の正統性の危機」を意味している。住民投票も含めて市民参加の高まりは、民主主義の機能不全を抜きには語れない。西欧でも1980年代には「政党の衰退」が語られ、既成政党から支持者離れは現在も続いている現象であるが、問題は既成政党・政治化への不信の増大だけではなく、議会制民主主義そのものが不信の対象になっている。

そのことは、日本の議会制民主主義にも無縁ではない。国政レベルでの投票率の低下、既成政党・政治化への不信、首相公選論の高まり、そして、地方レベルでも同様に、投票率の低下、全国的な議員定数削減の動きに見られるように、日本でも、代議制民主主義への不信は潮位を増してきている。

現代の代議制民主主義は、社会の複雑化とともに、議会に求められる課題も多様化・複雑化し、議会の応答能力に疑問が投げかけられている。求められている問題解決の能力と、実際の議会政治の機能との間には大きなギャップが感じられている。結局、議会政治は、特定の利益集団に支配された利益誘導の場に変質し、その場から排除された有権者の不満は政治不信と無関心に向かっている。そこから、市民による課題の設定と決定過程への参加という市民の直接関与の動きが出てきている。

第2の、現代政治の変化に関しては、代議制民主主義の扱う課題の変化が市民参加を促している。従来、政治の場は高度にイデオロギー的争点によって支配されていた。冷戦の時代には、国内政治もそれにリンクして左翼－右翼の対立が前面にでていた。日本政治でも、安保、自衛隊、憲法などの高度に政治主義的・イデオロギー的争点が保守－革新の対立とリンクしていた。そのようなハイ・ポリティクスの時代から、1970年代以降は、環境、福祉、人権、女性、教育、食物、文化といった生活の場に密着した争点が優位のロー・ポリティクスの時代変わった。

そのような生活にそった政治課題は、市民自身の生活や消費のあり方と直結し、身近な自治体レベルでの解決が必要かつ可能なものであった。なおかつ、豊かな社会の実現は、市民参加の条件を改善していった。平均的な知識や理解力の向上、情報の豊富化、経済的ゆとりといった諸条件は、市民の公共的空間への自発的な参加を可能性にした。

以上のように、日本でも、市民参加は現代の大きな流れとして定着しようとしている。多様な市民参加の領域と課題があるが、結局は、複雑化した現代社会では、行政や議会といった既成の制度だけで問題を処理することが困難になり、市民の自発的な公共空間への介入を必要としていると言えよう。上で見たように、草の根からの市民参加は活発化し、それをバックアップするNPO法も整備されつつある。残された最大の課題は、そのような活発化した市民の活動を地域社会の中で生かし、欧米でのように、政策決定領域での市民の自己決定と介入を可能にする政治制度の問題である。

日本の場合は、先に紹介した欧米の事例のように、市民参加の制度的チャンネルが整備されていない。住民投票をとっても、日本の場合は、市民には厚い壁が横たわっている。

日本の場合は、住民投票制度がなく、個々の事例ごとに、住民の 50 分の 1 以上の署名を集めて住民投票条例制定の直接請求をするが議員提案をするかのいずれかである。しかし、議会で条例案が可決されることは至難の技で、例え可決されたとしても、首長は「再議権」を発動して拒否することができる。その場合、議会が出席議員の 3 分の 2 以上の多数で再議に付された条例案と同じものを再度可決しなければならない。日本では、住民投票にはいくつものハードルが設定されている。

その結果、多くの自治体で住民投票に必要な署名が集まりながら、住民の意思は踏みにじられることになる。近年の例では、次ぎのような住民投票の請求が、議会によって葬り去られている⁹。

| | | |
|--------|------------------------|------------|
| 愛知県豊田市 | 豊田市スタジアム建設の賛否を問う住民 | 3 対 26 で否決 |
| 富山県富山市 | 桐朋学園の音楽系大学院誘致 | 3 対 35 で否決 |
| 大阪府島本町 | 地下水（水道水）に淀川の水をブレンドすること | 7 対 12 で否決 |
| 愛知県美浜町 | 中部国際空港の建設 | 2 対 19 で否決 |
| 埼玉県岡部町 | 場外船券売場の誘致 | 1 対 17 で否決 |

沖縄県や名護市での米軍基地をめぐる住民投票、岐阜県御嵩町での産業廃棄物処理場をめぐる住民投票、新潟県巻町での原発建設をめぐる住民投票、徳島市での河口堰をめぐる住民投票などの実施された例は、むしろごく少数のものである。そのようなシチズンシップの高まりを、制度的環境を整備することで、民主主義の活性化に利用するかが重要な課題である。そして、行政や議会の側にとって、市民の公共意識や参加意欲を、政策決定・実施のプロセスに生かしていくことが課題である。そのためには、日本でも、市民参加をいかに制度的に保障するかが焦点になりつつある。

3. 市民参加の制度化にむけて

市民参加の時代を迎え、欧米では、ボランティアな形での政策決定の場への市民参加やその制度化が進捗しているが、日本では、ボランティアな市民参加は活発化しているが、政策決定の過程に市民が参加するための制度化という点では大きく立ち遅れている。

しかし、1990 年代になって、ようやく、市民参加の文化の広がりや、日本でも、市民参加の制度的環境の整備に結実している。まず、市民参加の環境としての制度の整

備が、市民参加の活性化をもたらした注目すべき例として、情報公開条例と市民オンブズマン運動という市民参加の典型的な事例を紹介しておこう。

市民参加にとって、情報は重要なツールである。行政や議会などについての情報が市民に提供されなければ、市民が公共の領域に関心を持ち参加することは不可能である。

1990年代にはいって、日本でも、国の情報公開法の制定に先立って、県レベルを中心に情報公開条例が整備されていった。そのような情報公開の制度的環境の整備によって、行政や議会をチェックし、具体的な改革を提言する市民参加の運動が本格化する。それは、全国に広がり、多くの成果を上げた市民参加の運動である市民オンブズマンである。

市民オンブズマンは、制度としての民主主義の機能不全に対する市民のイニシアティブによる是正と改革の運動として出発した。それは、雑多な社会的背景をもった市民の運動であり、物質的利益の配分の要求ではなく行政や議会の体質改善、公正や透明性を求める運動であった。その意味で、市民オンブズマンは、従来の分配型政治とは異質な日本における市民参加の典型として理解できる。

それは、全国で展開されている公共事業への問い直しや、まちづくりへの市民参加、住民投票運動などに連なる新しい社会運動と同質の運動であり、「観客民主主義」「おまかせ民主主義」からの脱却の試み、市民の政治空間への介入を本質的な内容としている。市民オンブズマンの運動は、その意味で、日本の民主主義のあり方に対する根本的な批判であり、その質的転換を求める運動である。そのことは、その運動への参加者自身も自覚しており、「日本の市民革命をめざす運動」という自己規定が与えられている。すなわち、伝統的な権威主義的統治と外形的民主主義、利益政治を組み合わせで成立している日本の民主主義の現実に対して、民主主義の公認の理念と民主主義の現実のギャップを埋めるべく、「未完のプロジェクト」としての民主主義の完成を目指す社会運動として解釈しうるであろう。

もう一つの注目される市民参加の運動は、住民投票運動である。情報公開条例という制度化が刺激になって市民オンブズマンという市民参加が活発化したのとは違って、住民投票に関しては、市民参加の実践が先行し、制度づくりが決定的に遅れているのが現状である。住民投票運動が各地で活発化していることは既に紹介したが、議会制民主主義の危機を克服する有力な手段として、住民投票を中心とした市民参加を制度化しようという試みは始まってはいる。それは、条例で住民参加を制度化した自治体の例と、全国的に住民投票を制度化しようとする運動である。

まず、自治体の例であるが、それは箕面市の「箕面市市民参加条例」¹⁰である。この条例のユニークな点は、従来、自治体合併、原発建設、産廃施設建設など個別の事例に対応して住民投票を実施するためにつくられた条例であったが、箕面市の場合は、住民投票自体が制度化されていることである。

すなわち、「まちづくりにおける市民参加の基本的な事項を定めることにより、市と

市民が協働し、地域社会の発展を図る」という目的のもとに、市の執行機関に置かれた附属機関の会議公開、委員の市民公募、市政情報の公開とともに、市長提案による市民投票が制度化されている。この条例では、「市民参加」が、市の意思形成の段階で市民意志の反映、事業実施の段階での市民との協働が唱えられており、政策決定・実施への住民参加とその具体化としての住民投票が制度化された先進的な事例と言えよう。

さて、地方自治体において、箕面市のような市民参加の現代的必要性を認識した例が少ないなかで、一挙に、全国レベルで住民投票を制度化しようという動きも表面化している。現在、政党レベルでは、民主党と共産党が独自の「住民投票法案」の作成準備を進めているが、市民運動の中からも「住民投票立法フォーラム」が「住民投票に関する特別措置法」を提案している¹¹。同法案では、①有権者の一定の署名が集まると住民投票の実施が義務付けられること、②住民投票の対象となる事項に制限を設けないこと、③条例で定住外国人、未成年者にも投票資格者の範囲を拡大できること、④投票結果については法的拘束力があることを主な特徴としている。

①の規定は、現行の条例で実施される住民投票では議会の意志によって実施の有無が左右され、実際に、地域住民の意思が踏みにじられる場合が圧倒的に多いことを踏まえたものである。徳島で2000年1月23日に住民投票が実施されたが、それまで、神戸市の空港建設をめぐる直接請求、鹿児島市の人工島建設をめぐる直接請求など、実に、34件が連続して議会によって否決されている。主権者である住民が、正規の手続きにそって請求しても、議会でまともな議論もないまま葬り去られている現状に対する是正措置である。②は、主権者である住民が全ての事項について、代表への信託契約を部分的に解除して直接意志を表明する機会を保障する措置であり、③は、ケース・バイ・ケースで、当事者の範囲を拡大して意志の表明を保障する措置である。定住外国人も、その決定によって影響を受ける事項ならば、当然、意志が反映されるべきであろう。④は、主権者の意志が最終的な決定として効力をもつことを保障したものであり、代表への信託契約を部分的に解除する当然の結果である。特に、予算執行がともなう事項の場合は、納税者主権からも、住民投票の結果が確実に尊重されることが必要である。

以上のように、全国での住民投票運動の活発化を背景に、住民投票という形の市民参加を制度化する動きが広がっている。議会制民主主義の形骸化が叫ばれ、議会不信が定数削減運動の拡大の形で表現されている現状では、議会制民主主義へのカンフル剤として、市民参加による政策決定・実施の制度化を真剣に考える時期にきている。

過去に、住民投票が実施された岐阜県御嵩町や新潟県巻町では、住民が真剣に学習し、住民の間で活発に議論し、自分たちの自治体の将来について真摯に考える風景がみられた。住民の私生活空間への自閉と公共的関心の希薄化が、民主主義の最大の脅威になっている現在、そのような市民参加による住民への主権者意識の喚起は、民主主義にとっての起死回生の手段と言えよう。

4. おわりに

代議制民主主義の機能不全と現代政治の変化を背景に、日本でも、市民の公共空間への参加の機運を高め、市民参加の制度化への要求を強化していった。初期の異議申したて的な市民参加から、今日では、行政との共同も含めた自主的な問題解決をめざす市民参加へと重心が移ってきている。そのような傾向を端的に象徴しているのが、日本における住民投票運動の高まりとNPO（非営利組織）、NGO（非政府組織）といった市民運動の発展である。

NGO、NPOは、教育、国際援助、福祉、教育、環境など多様なテーマにそって活動を展開している。そして、そのメンバーは、自らの関心に基づいて自発的に参加している。その参加は、階級的利害や職業的利益に由来したものではなく、個人的な関心や使命感からのものである。故に、NPO、NGO運動の活発化は、市民参加の文化の成熟を表現しており、公共空間に介入することを多くの市民が認識する時代が訪れていることを示している。

そのような市民意識の成熟を更に促進し、自らの住む地域社会や国家、そして国際社会への参画を積極的に引き出すことが、現在の緊要な課題である。その一つの手段であり、仕掛けであり、実験が住民投票の制度化である。

今回は、住民投票に限定して論じたが、基本は、行政や議会が積極的に情報公開を進め、市民の様々なレベルでの参画を保障することである。ある場合は、行政や議会が市民と衝突するかもしれないが、市民参加は常に友好的であるとは限らない。だが、異議申したて型の市民参加が、公益にとって有効な効果を発揮することも少なくない。住民投票という市民参加の形態が重要であるのは、現代の代議制民主主義の危機という時代が必要とする制度であることと、議会や行政にとって、口先だけの市民参加という題目を超えて、真に市民をパートナーとして共働していくためには、行政や議会にとって政策決定の実権を市民と共有していけるかということは試金石だからである。

その点で、行政や議会に最も求められているのは、行政や議会の無謬性の神話を捨て、市民の良識と公共心を信頼することであろう。また、市民の側にも、受動的な存在を超えて常に公共空間に関心をもって参加し、公平な分析と判断の力を養うことである。その意味で、日本における市民参加の実験は、始まったばかりである。

(注)

- 1 千葉眞『ラディカル・デモクラシーの地平—自由・差異・共通善—』（新評論、1955年）、96—102頁。
- 2 早野透『連立攻防物語』（朝日新聞社、1999年）、85—8頁。
- 3 そのような市民参加の条件の成熟を、松下圭一は、工業の生産力の増大と民主主

義による階層的平準化作用による国民レベルでの余暇と教養の高まりに見ていた。余暇は市民参加のチャンスを保障し、教養は市民参加の可能性を具体化するからである〔松下圭一編集『市民参加』（東洋経済新報社、1971年）〕。もちろん、生活の逼迫した条件下では、市民参加は一般化しないであろうから、松下の指摘するような条件の成熟は、市民参加にとって不可欠である。そのことは、逗子での米軍住宅建設問題をめぐる運動に参加した女性たちを典型的なモデルとして、市民参加を実践する女性たちを上野千鶴子が「活動専業主婦」と呼んでいるが、市民参加における女性の優位は、上記の松下の指摘とも重なっている。生活が保障され、余暇をもち、情報や知識に恵まれていることが、政治参加を可能にし、そのようなリソースを剥奪されている働き盛りの男性が市民参加の場から事実上閉め出されている現実は、日本の市民参加の限界である。

- 4 西欧市民社会の構成員としての市民像である、自分で考え、自己の判断と責任に基づき行動する主体としての「市民」というイメージは、戦後の近代主義的思考の中には強くあった。そのような自立した市民像へのあこがれは、個人が析出されない遅れた共同体的・集団主義的人間像の対極にあり、1960年代から形成してくる社会運動に、やっと形成されつつある西欧の市民社会像を重ねていた。故に、日本では、環境や女性、平和などのテーマをめぐって新しく登場してくる社会運動を、西欧のように「新しい社会運動」とは命名せずに「市民運動」という呼称が使われることになる。
- 5 内橋克人『浪費なき成長—新しい経済の起点—』（光文社、2000年）、186—91頁。そのような消費者としての購買行動を通じた市民参加は、ネグロス島のバナナやマスコバド糖など、現地の人々の生活や人権、自立を配慮した適正な価格で購入するという「公正貿易（フェアトレード）」の運動としても世界に広がっている〔朝日新聞「地球プロジェクト 21」『市民参加で世界を変える』（朝日新聞社、1998年）〕。市場原理主義者が想定する経済的な効用を最大化する消費者、すなわち、「安ければいい」という消費者像を超えて、生産者の生活、人権、自立への「コンパッション（共苦の感情）」、公正や連帯といった価値への負担が加わった時、購買行動は社会的問題の解決に機能する市民参加の行動に転化する。
- 6 佐藤由美「脱原発と電気のグリーン化を市民主導ですすめるNPO」、『晨』（2000年7月号）、90—3頁。
- 7 田口晃「自治体の直接民主制—ヨーロッパ政治の中から—」、山口二郎、田口晃『比較してみる地方自治』、北海道町村会、1998年、21—25頁。
- 8 横田清『住民投票Ⅰ—なぜ、それが必要なのか—』（公人社、1997年）148—66頁。
- 9 今井一『住民投票Q&A』（岩波書店、1998年）、32頁。
- 10 横田清『住民投票Ⅰ』（公人社、1997年）、142—44頁。
- 11 『虹と緑』（地方議員政策情報センター）、3号、2000年6月、23—7頁。

第2章 市民参加のまちづくり

はじめに

本章は、佐賀大学経済学部地域経済研究センターにおける共同研究『市民参加のまちづくりとは何かー佐賀市の取り組み事例から考えるー』に関する一つの問題整理である。この研究は、その表題に示されるように、佐賀市の取り組み事例を、まず佐賀新聞の記事から選択して、諸事例を分類・分析する。その後、具体的な取組について聞き取り調査などを行って、今日、注目を集めている行政・市民のネットワーク形成の実態や市民参加（とくに、政策決定過程への参加）の制度・手法などについても研究を進める予定である。しかし、新聞記事から「市民参加のまちづくり」事例を引き出すにしても、何が市民参加なのか、まちづくりとは何かという決定的な概念や定義はない。

例えば、一市民が自宅周辺の汚れた水路を清掃しても、「市民参加のまちづくり」とは言われまいであろう。しかし、佐賀市において、市民総出で春秋に行われる水路の清掃活動は、「市民参加のまちづくり」の事例として広く認められている。ここには、一市民の行為か、市民総出の作業かという違いだけではなく、市民が自らの環境を整備するには共同の活動が必要であることを認め、すすんで作業に参加することをもって「市民参加のまちづくり」と位置付けていると考えられる。あるいはまた、一市民が自宅の庭の道路に面した部分を幅 50 cmだけ花壇にして四季折々の花を咲かせ、フェンスを幅 50 cm敷地内に下げて設けることによって、人々の目を楽しませる善意を提供したとすれば、それは「市民参加のまちづくり」と言えるか？ 多分、その場合には、一市民の趣味として何ほどの評価もなされないであろう。しかし、埼玉県のある分譲住宅団地では、団地全体を花で飾ろうというアイデアを住民が受け入れ、「50 cm幅の公共性」（フェンスを幅 50 cm敷地内に下げて設けることによって、私有地を公共空間として提供すること）によるフラワーベルトを生み出している。この事例は、まさに「市民参加のまちづくり」として注目されている。問題は、一市民の趣味なのか、団地全体の取り組みなのかによって、「市民参加のまちづくり」と呼ぶか否かではない。この住宅団地のフラワーベルトは、住民が団地全体の日々の生活に潤いを持たせるために、土地所有権の制限をすすんで受け入れ、しかも、①花壇のみでなくさまざまな建築行為に対して規制を実行する役割を持つ建築協定委員会(住民代表で構成)を設け、②同じく、住民代表で構成するフラワーベルト管理組合によって維持・管理し、③自治会によって、地域全体で取り組むさまざまな活動がある…という具体的な制度を住民自身が構築していることにおいて、「市民参加のまちづくり」と呼ぶにふさわしいとされるのである¹⁾。

本章では、個別事例研究の前提として、「市民参加のまちづくり」として考えるべき

問題領域などを整理したい。また、市民意識の成長や参加の現代的意義などについては、第1章に述べられている。したがって、本章では「まちづくり」に注目しながら、初期段階の問題整理としたい。

1. 「まちづくり」という問題提起

(1) 「街づくり」ではなく、「まちづくり」と表現

「まちづくり」という言葉が、何時ごろから使われはじめたかは寡聞にして知らない。

30年以上前の1967年に、神奈川県藤沢市辻堂南部地区の区画整理事業に反対を掲げて取り組み、1年後には市に区画整理計画を白紙撤回させ、「区画整理ぬきのまちづくり」をすすめてきた安藤元雄氏（区画整理・再開発対策全国連絡会議前代表世話人・現顧問）は、「まちづくり」に関わってきた経験から、次のように述べている。「ひとことで言えば、まちの運営全体を、都市開発のくろうとだの役人だの地域ボスだのの手からただの住民の手に取り戻すこと、住民の主体性においてまちのありかたを決めて行くことであり、それが『まちづくり』だと私たちは思っている」、「『まちづくり』と『街づくり』を混同してはいけない。『街』といえは市街であり、道路や橋や建物など、要するに施設としての都市だ。しかし、平仮名の『まち』、住民の考える『まち』は、地区ごとに共同で営まれる住民のくらしの集積そのものだ」と²。

いきなり区画整理や都市再開発事業に反対してきた住民の提起する「まちづくり」概念を取り上げたのは、平仮名の「まちづくり」には、行政の都市計画への批判の意味が込められていること、ハード中心ではなく、ソフトを重視すべきだという期待・希望が表現されていることをまず確認したいからである³。後にみる通り、「まちづくり」という言葉は、今日きわめて一般的に、広範に用いられており、それはまた時代の発展を意味するものと考えられるが、この言葉のおよその出自を考えると、住民のくらしに直結した問題を住民自身が考え、連帯して共通の生活領域を形成する意味が込められていることは注意しておきたい。したがって、また、ここにみる「まちづくり」には、当初から市民参加・住民参加を当然のこととして、含意されていることも確認しておきたい。以下、「まちづくり」として、「」付きで表記する場合、住民運動を出自とし、市民参加・住民参加など住民の自主的な関与を含意するものとして用いることを断っておきたい。

(2) 地域開発について

「まちづくり」という言葉が市民権を得る以前には、地域開発、都市計画、都市再開発などの言葉で、言わばハード中心の「街づくり」が語られていた。とくに、高度経済成長時代には、「地域開発」と言えば、企業誘致型の経済・産業開発、公共事業に

よる社会資本整備、とりわけ産業基盤の形成を重点とするものだと信じられていた趣きさえあった。産業基盤を整備し、大企業を誘致すれば、雇用と所得機会が確保され、地域産業に良好な波及効果が現われ関連産業が集積し、住民の経済生活の向上と地方税収入の拡大・確保によって、やがて住民福祉施設も向上する…というシナリオであった。産業基盤整備、経済・産業開発という手段の彼方に、住民生活の安定や住民福祉の向上という目的を設定したため、手段には具体的な投入がなされたが、ついに目的が達成できなかったという悲劇が各地に発生した。

加えて、地域開発政策は、行政の専権的裁量によるかの誤解が振り撒かれ、政一官一財による「鉄のトライアングル」が形成され、産業基盤重視の公共事業のみが、財政事情さえ無視してすすめられる結果となった。宮本憲一氏の地域開発政策の規定も、初期のそれは、住民の参加を保障する民主主義の重要性を強調しつつも、「生産の社会化、消費の社会化と都市化に伴って生ずる地域問題に対応して、公権力が地域社会を管理し改造しようとする政策」⁴としていた。住民の力による地域の共同性の発揮、新しい地域共同体の構築といった動向に注目すれば、地域開発政策の政策主体は「公権力」だとしても、政策形成過程への参加主体＝市民・住民の存在を強調した地域開発の概念規定を構築すべきであろう。それゆえ、「まちづくり」という言葉は、行政の専権的裁量にかわって、ハードの整備においても住民の主体性を尊重すべきこと、住民の側から公共性の在り方やその制度化が提示され始めていることを含意した概念であると考えられる。だとすれば、住民参加による「まちづくり」は、どのように一般化しているかを事例によって見ておきたい。

2. 最近の「まちづくり」の変化と特徴

(1) 社会変化と問題領域の拡大

以上に見てきたことから言えば、「まちづくり」という表現は、高度成長時代の臨海コンビナート造成や新産業都市建設を表現するものではない。今日的に言えば、これらの事業もハード中心・産業開発重点の「街づくり」と呼ばれるであろうが、場所的には既存都市を離れて展開され、また、個人的な住民生活そのものに直接関わって展開されたものでもなかったから、これらの事業に対する住民の対応も、例えば、「公害反対闘争」などと表現された。これに対して、同じく高度成長時代に都市部や都市化のすすむ地区で行われた土地区画整理事業や市街地再開発事業などは、まさに住民生活そのものに関連しており、道路や公園などの一般的生活基盤ばかりか、個人的生活条件である住宅・宅地や日々の営業の在り方や規模に直接に関わる事業であったから、住民の関心は高く、それらの事業に対抗する一部の住民運動の問題提起として、「まちづくり」という言葉が使用されるようになったと考えられる。

ところで今日、「まちづくり」という言葉は、区画整理事業に反対する住民運動など

とは関係なく、どこでも語られ取り上げられている。加えて、個人生活に直接かかわる問題だけではなく、社会生活基盤としての施設や地域コミュニティ形成にかかわる問題など広い領域の問題を含んで「まちづくり」が語られるようになった。

山崎一真氏（野村総合研究所首席研究員）は、「従前のまちづくりは、基本的には行政の仕事であり、住民・市民は規制や誘導の対象であり、また、行政サービスを受ける客体であったと思います。最近のまちづくりは、市民・住民と行政が協働して行うものであり、市民・住民も応分の参加と負担を行うという市民主体の方向が出てきたと感じます」と述べている。その上で、この変化は、都市化社会から都市型社会へという社会の潮流の影響によるとして、次のようなことを指摘している⁵。

かつてわが国は、都市化社会をたどっていた。農山村から都市への人口移動に対応して、都市近郊部に新市街地を形成し、基本的な社会資本を整備してきた。生活スタイルは職住分離で居住歴は短く、生活の場である居住地には関心が少なかった。ところが今日では、都市型社会となった。地方から都市への人口移動はわずかになり、都市や大都市の人口の多くは居住歴の長い人々で占められ（都市こそ故郷）、生活の場としての地域への関心が高まった。今や、新市街地の開発ではなく、既成市街地の充実、既存社会資本の有効活用、ソフトな施策が重要になり、ソフトな施策を市民と行政が協働して、社会実験を行ってみる成熟社会を迎えているとして、「市民協働のまちづくり手法」を紹介している。

山崎氏がいう都市化社会→短居住歴→地域無関心、都市型社会→長居住歴→地域関心の向上という図式を、そのまま受け入れるわけには行かないが、農山村の古い社会的規制や自給自足的色彩のある農山村型生活が崩壊し、社会資本整備が必要な都市生活が一般化する中で、相剋を経ながら住民が主体的に生活の場を形成する方向を見出したのが、「まちづくり」だということになる。ソフトな施策が重視されるのは、そうした文脈によると考えられよう。そしてこのことは、山崎氏の想定した世界を越えて、都市部だけではなく、現代農山漁村地域においても、深刻な「産業おこし」事業を含む「まちづくり」が、必要なものであり、「まちづくり」は、都市や大都市の専売事業ではなくなっている。

かつて土地区画整理事業や都市再開発事業が、ある日突然、住民の前に突き出され、弱小権利者は実質的に、その土地や住宅で暮らすことができなくなることを知り、そこから始まったと考えられる「まちづくり」は、いま、さまざまな分野に広がっている。山崎氏が紹介している市民協働のまちづくり手法＝社会実験によって、最近の「まちづくり」の特徴的・具体的事例を列挙すれば次のようである。

（２）最近の「まちづくり」の具体例

１）交通分野の取り組み

「鎌倉市のパーク・アンド・レイルライド」

マイカー観光客を市内に入れない工夫として、江ノ島電鉄への乗換えを呼び掛

ける。

「パーク・アンド・バスライド」＝甲府市

地方都市における交通ラッシュを緩和するためのマイカーとバスの乗継通勤の実験。

「自動車流入の抑制策」＝ノッティンガム市（イギリス）とラ・ロシエル市（フランス）

「都市の中心と周辺住宅地区を結ぶバス輸送の効果を高める実験」＝ノッティンガム市

フランスにおいては、1996年の「大気およびエネルギーの合理的利用に関する法律」によって、大気汚染の状況を判断して、知事が自動車の乗り入れを規制することができる。車のナンバープレートの偶数か奇数かで規制したようである。

「ロード・プライシング」＝アメリカ、ヨーロッパにおける実験

道路通行の利用者に、いわば「混雑料」を負担させること。

2) 環境分野の取り組み

「東京都デポジットモデル事業」

デポジットとは、容器入り商品などを売る際に、価格に一定に金額を上乗せし、消費者がその容器を返却したときに上乗せした金額が払い戻される制度である。PETボトルやビールにシールを張って実験された。言うまでもなく、ゴミの減量が目的である。

「公共レンタカー・電気自動車」＝日本とフランス

環境にやさしい電気自動車を公共レンタカーなどの方法により普及させる実験。

「エコライフ実践活動事業調査」＝東京都世田谷区

環境にやさしい暮らし（エコライフ）の実践により、その効果を電気・ガス消費量を通じて、地球温暖化の原因物質である二酸化炭素の排出削減量という具体的な数字で把握することで、日常生活と地球温暖化問題とのかかわりを実感してもらい、国民一般にも普及する目的で実施された（1997年）。

3) まちづくり分野の取り組み

「入船西ボンエルフ」＝千葉県浦安市・公団分譲住宅「入船西エステート」

路上駐車で埋めつくされた、公団分譲住宅の団地内道路の改良を目的とする小さな実験から始って、ボンエルフという新しい道路づくりの考え方を、実質上日

本で初めて導入した事例である。ボンエルフとは、オランダで 70 年代に考案された道路設計の考え方であり、オランダ語で生活の庭を意味する。歩車道の区別をなくし、道路全体を歩行者優先の道とする。道路内駐車スペースを数台分ずつ千鳥状に配置し、駐車場不足に対応しつつ、走行車の速度を抑制する。プランターを道路上に配置し、自動車の速度抑制と同時に街路景観の向上を図るという手法である。当初は住民の関心がうすかったが、社会実験と住民の意見を忠実に聴取する中で住民参加の輪が広がり、社会実験が実質的に定着した事例とされている。

「シンボルロード整備事業」＝埼玉県熊谷市

シンボルロード整備事業とは、都市の中心的な街路をその街のシンボルとして整備する事業である。これは全国的に実施されているが、熊谷市においては道路中央に貴重な用水が流れていることを活かした整備が特長である。この場合も歩道が拡幅されると車の通行が不自由になり、駐車違反も増えるという反対意見が出たが、社会実験によってシンボルロード整備事業に対する理解が促進されたという。

4) 医療・福祉分野の取り組み

「兵庫県加古川地域保険医療情報システム」＝加古川市、稲美町、播磨町

この取り組みは、社会実験そのものではなく、全国各地で取り組まれた広域の地域医療情報システムを構築する事業の一つである。

「横浜市ノンステップバス導入実験」

ノンステップバス、文字通り乗降口に階段のないバスで、高齢者や障害者など移動に制約のある人への対策の一つとして導入された。車内床面の高さが地面から 30 cm 程度と従来の路線バスに比べると非常に低く、車椅子の人も簡単な介助があれば、直接バスに乗り込むことが可能である。

以上に示した事例は、注 5 の文献を参照。

5) 地域通貨 (LETS) による地域内経済循環の取り組み

「LETS=Local Exchange Trading System」への注目⁶。

1983 年、カナダのバンクーバー島コモックス地方で始まった。特定の商店街やサークル内部で利用され、地域内部で商品やサービスの交換を濃密にする目的で取り組まれている。例えば、朝日新聞「どっこい元気だ・商店街」1999 年 12 月 11 日は、東京都世田谷区烏山駅前通り商店街「スタンプ共和国」を紹介している。

(3) 小括…諸事情の共通点

以上は、最後に示した「地域通貨」を除いて、すべて前に述べた山崎氏が取り上げた社会実験に始まる「市民協働のまちづくり手法」である。それぞれに個別性があるものの、次のような側面では共通性がある。

- ① いずれもハードな事業＝施設建設そのものではない。例えば、日本経済の高度経済成長時代であれば、「交通分野の取り組み」というタイトルを見て直ぐに連想するのは、「新幹線の建設」、「高速自動車道路の建設」、「ラッシュアワーの輸送力増強」等であったと思う。しかし、ここに紹介した事例は、むしろ余りにも氾濫した自動車交通量をいかにコントロールするかである。また、シンボルロード整備事業も街路整備そのものを目的とするのではなく、まちの景観や交通の安全などを含む取り組みであった。
- ② いずれの場合も市民・住民の理解・協力・参加なしには成立し得ないものである。取り上げた事例の中には、[行政の一方向的な提案→住民参加の要請]ではないかと思われるものもあるが、最初の提案がどのセクターから出されようと、住民の理解・協力・参加は必須の条件である。「入船西ボンエルフ」の場合も、路上駐車問題に悩んだ公団側が提起した手法を、入居した住民が自分のものとして受け止め、住民側が積極的に意見や提案を出し、試行錯誤しながら完成させようとするところに意義がある事例である。なお、本章の「はじめに」において紹介した埼玉県住宅団地の「50 cm幅の公共性」の場合も、最初に提起したのはこの団地を開発したディベロッパーであった。
- ③ 市民・住民側の生活意識や価値観の変化が、諸事例に見るような「まちづくり」をもたらしている。ゴリゴリの私利の追及はともかくとして、マイカーで走り回る、ゴミは出し放題、電気は付けっぱなし、スキ間があればどこにでも駐車など……それ自体を個別にみれば違法ではないが、そのような生活が社会的には極めて不便をもたらすことに気付いた市民・住民が新たなルールを求め始めていることである。そのためには私権の無制限な発動を相互に規制するか、共通の利益を求めて「利他的行為」をすすんで行うことである。最後の事例として掲げた「地域通貨」も、かつて農村共同体にみられた「手間がえ」とか「結い」などといった行為（農作業などの共同化や相互加勢）を、匿名性を持たせながら「現代風に仕立てた」ものとも考えることもできる。

最近の「まちづくり」の特徴について、取り上げた事例から差し当たり3点を指摘したが、これに尽きるものではないと考えている。また、上記の事例に欠けているのは、「まちづくり条例」の制定など、政治や社会システムの構築など、「ハード抜き

ソフトのみ」の「まちづくり」も大きな存在になっていることである。それらは今後の検討に待ちたい。

3. 市民参加のまちづくりについて

(1) 都市計画の策定への市民の参加

前節までの検討から明らかなように、「まちづくり」には市民参加は不可欠であったが、「まちづくり」の問題認識や取り上げた事例から、主として都市部における動向、なんらかの施設づくり事業と考えられがちであったと思われる。しかし、自ら住む市町村・地域の将来計画である、いわゆる都市計画づくりに、市民が参加するという動向はかなり以前から見られた。市民参加による都市計画マスタープランづくりの新しい動向を紹介した文書に、本節のテーマと同名の『市民参加のまちづくり』という本がある。後に、この文献に依拠しながら新しい動向を探ってみるが、まず地域総合計画、マスタープランの特質について検討してみよう。

1) 都市計画マスタープランの2類型

一般にマスタープランと呼ばれているものには、二つの種類がある。

一つは、地方自治法第2条5項に基づいて策定される、いわゆる「〇〇市総合計画」と呼ばれるものである。1969年の地方自治法の改正により、市町村は、「その地域における総合的かつ計画的な行政の運営を図るための基本構想」の策定が義務付けられている。各市町村は、計画策定について、すでに30年以上の歴史がある。

いま一つは、都市計画法に基づく「整備、開発又は保全の方針」(第7条4項)、「市町村の都市計画に関する基本的な方針」(第18条の2)として策定される、いわゆる「都市計画マスタープラン」と呼ばれるものである。都市計画法の1992年改正により、市区町村ごとに全体構想、地域別構想を策定するようになったが、さきの地方自治法に基づく総合計画に比べると、対象範囲は限られている。

2) 従来のマスタープランへの市民参加

すでに述べたように、「まちづくり」は根底的に市民・住民の側からの自主的参加を含意するものであるが、総合計画や都市計画マスタープランづくりへの市民・住民参加は、最も総合的な参加の形態であろう。とくに、ハードな諸施設の整備方針から教育・文化・福祉などソフトなシステム計画を含む地域総合計画づくりへの参加は、かなり総合的な計画への参加ということになる。それだけに参加の形式や内容も豊富化され、発展させられなければならなかった。ところが、総合計画への市民参加は、これまできわめて画一化されていた。

この画一的な市民参加は、総合計画の持つ中央集権的体系に大きく関連していると

考えられる。つまり、市町村の総合計画は、全国総合計画→都道府県総合計画→市町村総合計画という位階的序列の中であって、「末端計画」と位置づけられていたからである。全国計画・全体計画の地域計画・個別計画への押付けないしブレークダウン、それはまた逆に地域計画・下位計画のプロジェクトは、それが大規模であればあるだけ、全国計画・上位計画の中に採択されていることが前提とされたから、地域から中央への計画採択の陳情合戦となった。従来の地域総合計画は、以上のような性格であったがゆえに、市民参加は本来的に困難であり、むしろ計画された事業や制度への「参加」という名の市民への押付けであった。市町村の総合計画は、個別計画を含みながらも総花的・包括的に決定され、肝腎の重要なプロジェクトは、すでに陳情などを通じて決定されているという具合であるから、総合計画の策定に対する市民の関心は薄かった。したがって、総合計画への市民参加は重要だとされながらも、参加の形式は「市民アンケート」とか、「市民集会」あるいは「計画原案説明会」といったものにとどまっていた。また、計画を策定する審議会への市民参加も、経済団体代表や町内会長、婦人会長、老人会長などの地域名望家によって担われるというケースが一般的であった。

3) 最近の変化～最初の計画段階からの市民参加

ところが最近、総花的・包括的なマスタープランにおいても、市民参加の新しい動向がみられるようになった。そのような変化の背景には、現在の国と地方の財政事情の厳しさがある。今日、大規模公共事業をあれこれ計画して、地域総合計画の柱に据えることは簡単にはできないし、そのような手法に対して市民の承認を得られなくなったからである。市民の側でも「箱物」中心の総合計画は、将来の世代に過大な負担を押し付けること、市民の主体性を発揮しなければ、地域生活の安定を確保できないことなどに気付き、あたらしい「まちづくり」の模索を始めている。加えて、情報化時代を迎えて、市民参加の新しい手法や手段の開発も進んでいることは見逃せない。すなわち、インターネットによる市民会議や意見の交換、市民ネットワーク、ワークショップなどなどである。

さきに紹介した『市民参加のまちづくり』では、最近の市民参加の具体事例を紹介し、計画策定に関わる諸主体の現状と問題についても整理している。その詳しい内容は同書に待つとして、簡単に具体的事例を紹介しよう⁷。

神奈川県大和市では、市民参加によるマスタープラン策定のプロセスで、インターネットを活用し、策定過程を透明化することと、関心を持つ市民ならだれでも参加できる手法を開発している。

三重県伊勢市の場合、最近活用され始めたワークショップという手法を採用し、参加する市民を公募して「市民ワークショップ」と名付けた活動を5回、それに基づく取り纏め委員会を8回にもわたって実施した。ここでは、いわゆる「たたき台」を提示することなく、白紙状態から出発してワークショップで原案を策定したところに特

徴がある。

東京都日野市は、行政に対抗して「日野・まちづくりマスタープランを創る会」という市民団体が「市民版マスタープラン」を策定した。市民の中の専門家や普通の市民の協力で、普通の市民が理解できるマスタープランづくりを目指した。行政はその策定にノータッチであったし、策定の結果も無視したようであるが、まさに「ほんとうの市民参加」とは何かを考えさせる事例であったという。

東京都調布市の場合は、市役所の都市計画課を出入り自由のサロン方式（毎週水曜日、市民自由参加の会議など）に開放して、市民有志が中心になってマスタープランを策定した。ここでは、ワークショップの手法も活用されている。

千葉県流山市では、市がつくった「創生塾」の出身者を中心に、自覚的に集まった市民（約 18 名）が、自ら書き上げた市民版マスタープラン『こんなまちに住みたい』を作成した。いわゆる総合計画といわれるものは、産業計画、福祉・教育・医療分野の計画、道路・交通・状下水道などのインフラ整備といったすべての面にわたるが、この市民版マスタープランもほぼすべての分野をカバーしている。そのためには行政の全面的な協力があつたことが注目される。

以上のそれぞれの事例に共通するものは、市民の自覚的学習と参加、コンサルタントを含む専門家の協力、市民の無償の奉仕的活動、さまざまな要求の私的レベルから社会的・公共的への昇華などの作用が見られることである。また、日野市の場合を除いて、市民・行政の交流・協力関係があつた。

（２）地域社会における政策決定過程参加の市民像

「まちづくり」は、住民運動から出発したことを先に述べたが、それはまさに個人生活が公権力・行政によって踏み躪られようとする事態への対抗関係の形成であつた。ところが今日、マスタープランの策定に多様な市民が参加する事態は、どのように考えたらよいのだろうか。

中道實氏は、「地域社会における政策決定過程」に関して、次のように言う。「『住民自治』は、その担い手に『主体』としての個人を前提としている。『団体自治』とは、このような主体化された個人間の合意によって秩序（共存関係）を創出する活動である」と⁸。言われるように、「まちづくり」は主体化された個人間の合意によって秩序（共存関係）を創出する活動そのものではないか。市町村の総合計画の内容がどのような個性を持とうとも、自らが暮らす地域社会の在り方を決定するのは市民・住民に他ならない。中道氏はさらに、主体化された個人＝地域住民について「自治の最終的な担い手であり、権利の主張者、自利の追及者、行政への批判者たるのみでなく、義務の履行者、公益の負担者、建設の責任者でもある」と言う（引用は、注 8 文献の p. 200）。

その上で、このような「地域住民の内発的エネルギー」を「主体要件」と呼び、以下の 7 つの要件をあげている。

- ①自己関与性…生活上の諸困難を解決されるべき自らの問題として認識・評価する。
- ②個的問題提起性…生活上の諸困難の原因とその解決可能性・とるべき方法を検討し、個人的レベルで解決策を模索する。
- ③共同的問題提起性…私的利害の対立を止揚し共同利益を確認した地域合意にもとづいて、共同的レベルで解決策を提起する。
- ④自律性…自己の主体性を保持しつつ、行政との「協働」体制によるまちづくりに参加する。行政との「協働」関係の構築によって、生まれる「行政への信頼性」と、地域規範を分有することによって、「全体の中の個の自覚」が発達する。
- ⑤犠牲許容性…「私」＝利己性の自己規制・犠牲の許容。
- ⑥負担受容性…まちづくりのために時間や労力などの私的資源をすすんで提供する。
- ⑦公共性…調和性と秩序性を優位させた共同行為によって共同利益を実現していく。

戦後の民主主義と地方自治の展開過程で、上記にみるような主体要件を備えた市民が、各地に多数存在するようになり、これら市民・住民の手で「市民参加のまちづくり」を押し進めているものとする。

(注)

- 1 岩見良太郎「シリーズ：まちづくり運動探訪(14) 50 cm幅の公共性」『区画・再開発通信』No.353 1999年5月号
- 2 安藤元雄「住民主権のまちづくりをいかにめざすか」『区画・再開発通信』No.361 2000年1月号
- 3 岩見良太郎氏は、「まちづくり」という言葉が、行政の都市計画に批判的な意味を込め語られていたが、この言葉が市民権を持つや、すぐさま行政はそれを横取りして、住民を巻き込む戦略を練り始めていることを問題としている。「シリーズ・まちづくり考(16) 建設省の『まちづくり』」『区画・再開発通信』No.361 2000年1月号
- 4 宮本憲一著『地域開発はこれでよいか』p.226 1973年 岩波新書
- 5 山崎一真編著『社会実験・市民協働のまちづくり手法』「はしがき」1999年 東洋経済新報社
- 6 『地域開発』1998年12月 特集・地域通貨による経済循環、丸山真人「循環型経済と地域通貨」ほか
- 7 渡辺俊一編著『市民参加のまちづくり マスタープランづくりの現場から』1999

年 学芸出版社

- 8 中道實「地域社会における政策決定過程」 間場寿一編『講座 社会学9. 政治』
第5章に所収 2000年 東大出版会

第3章 佐賀県における「まちづくり」の状況と市民参加

－佐賀新聞記事データベース検索による準備的考察－

はじめに

佐賀県内における「市民参加のまちづくり」はどのように進められており、そのなかで佐賀市のとりくみはどのような状況にあるか。このことを明らかにするために、ここでは「佐賀新聞」の掲載記事のなかで「まちづくり」という言葉を含む記事を全て取り出し、それを、行政、疑似行政、市民という三つの主体別に区分してデータベース化することで、市民参加のまちづくりの全体像を明らかにすることにした。もとより、掲載記事のなかにはまちづくりにかかわる記事であってもまちづくりという言葉で直接表現されていない記事もあるし、地元紙といえども取り上げきれてないまちづくりも恐らくあることは、十分承知の上での作業であることはいうまでもない。

1. データ

(1) 対象期間

対象とした検索期間は1994年4月から99年3月末までの5カ年間である。起点を94年にしたのは佐賀新聞のインターネットによる記事検索がそれ以前は出来ないという単純な理由によるものである。

(2) データ数

当該期間において「まちづくり」に関する記事は総計771件である。但し、記事の内容の重複するものは異なる日付であっても纏めて1件として取り扱った。

2. 分析

(1) 年度別推移

年度毎のデータ件数は図1の通りである。1994年度の99件から95年の80件へと減少したあと、96年131件と増加に転じ、以後、99年の167件まで、倍増に近い増加となっている。

(2) 主体区分による分類

「まちづくり」に関わる主体を大まかに、行政、疑似行政、市民という3つに区分し、全体を纏めたのが表1である。

図1 「まちづくり」掲載件数の推移

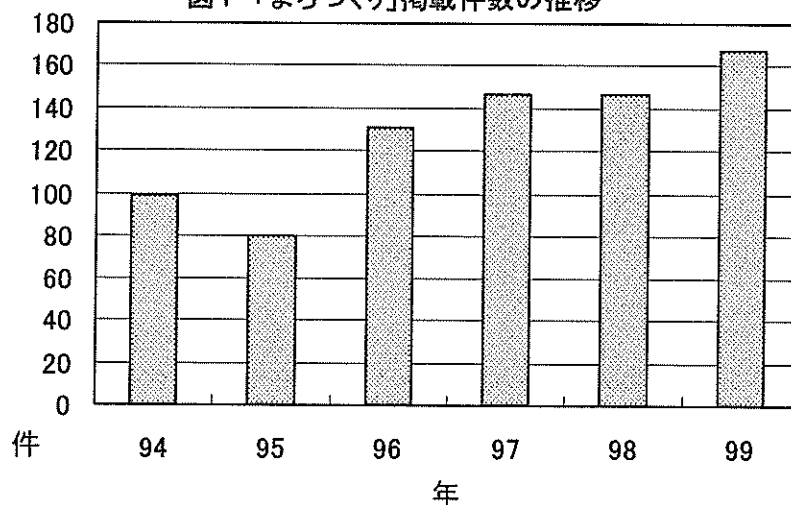


表1 主体区分別・年度別にみた「まちづくり」の件数

| | 1994年 | 1995年 | 1996年 | 1997年 | 1998年 | 1999年 | 計 |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|
| 行政 | 54 | 48 | 74 | 90 | 76 | 83 | 425 |
| 疑似行政 | 23 | 15 | 34 | 26 | 34 | 51 | 183 |
| 市民 | 18 | 16 | 20 | 27 | 32 | 28 | 141 |
| 行政と疑似行政 | 3 | 0 | 3 | 2 | 3 | 3 | 14 |
| 行政と市民 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 2 |
| 疑似行政と市民 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 2 | 6 |
| 合計 | 99 | 80 | 131 | 147 | 147 | 167 | 771 |

「行政」によるまちづくりが425件と最も多く全体の55.1%を占めており、以下、「疑似行政」183件、23.7%、「市民」141件、18.3%の順となっている。1994年/99年対比でこの間の推移を見ると、「行政」の54件から83件へ1.5倍増に対し、「疑似行政」が23件から51件へ2.2倍増、「市民」が18件から28件へ1.6倍増となっており、「疑似行政」によるまちづくりの増加が目立っている。

1) 主体の中分類

主体区分を再区分した、中分類による主体区分毎のまちづくりの事例件数を表2に掲げる。「行政」によるまちづくりの425件のうちの大半は「市町村」の292件で占められており、これに「佐賀県」の72件、「国」の54件が次いでいる。

「疑似行政」(183件)については、「商工会議所等」の62件が最も多く。「団体」44

表2 中分類でみた主体区分毎のまちづくり事例件数

| | | | |
|--------|-----|--------------|----|
| 行政 | 425 | 行政・疑似行政 | 14 |
| 国 | 54 | 県、団体 | 1 |
| 国と佐賀県 | 3 | 県、商工会議所等 | 1 |
| 佐賀県 | 72 | 県、企業 | 2 |
| 県と市町村 | 4 | 県、その他 | 1 |
| 市町村 | 292 | 市町村、団体 | 3 |
| 疑似行政 | 183 | 市町村、商工会議所等 | 4 |
| 団体 | 44 | 市町村、企業 | 2 |
| 商工会議所等 | 62 | 疑似行政・市民 | 6 |
| 商店街 | 13 | 商工会議所等、市民 | 4 |
| 企業 | 54 | 企業、市民 | 1 |
| 複数の団体 | 4 | 商工会議所等、企業、市民 | 1 |
| その他 | 3 | 行政・市民 | 2 |
| 市民 | 141 | 市町村、市民 | 2 |

件が上位に位置しているのは頷けるが、「企業」が54件で二番目に位置しているのは、少し意外だった。

2) 市町村別にみた「まちづくり」件数

総件数でみて、最も多いのは、やはり佐賀市で94件となっている。これは佐賀県の109件に匹敵する件数であり、次いで多い唐津市の44件の2倍以上と群を抜いている。以下、鳥栖市38件、伊万里市38件、武雄市32件、西有田町27件、相知町27件、鹿島市23件、多久市14件、中原町14件と続いている。佐賀市の場合は、総数94件のうち、最も多いのは「疑似行政」の44件(46.8%)で、「行政」の30件(31.9%)を大幅に上回っている。「市民」の17件は全市町村の中では数の上では最も多いが、ウエイトでは18.1%と全体のそれ(18.3%)を若干下回っている。

「疑似行政」のウエイトが最も高いのは唐津市で47.7%となっており、逆に「市民」は9.1%と低い値になっている。

「市民」のウエイトが高いのは伊万里市の14件(43.5%)で、「行政」の11件、「疑似行政」の6件を抑えて最多となっている。総数の上で27件と、鹿島、多久の両市を上回っている二町のうちの相知町も、「市民」が11件(40.7%)と最多となっている。

表3 小区分でみた「まちづくり」件数

| No. | 市町村名 | 総数 | 行政 | 疑似行政 | 市民 | 他 | No. | 市町村名 | 総数 | 行政 | 疑似行政 | 市民 | 他 |
|-----|------|-----|----|------|----|---|-----|------|----|----|------|----|---|
| 0 | 佐賀県 | 109 | 68 | 27 | 9 | 5 | 25 | 小城町 | 5 | 2 | 0 | 3 | 0 |
| 1 | 佐賀市 | 94 | 30 | 44 | 17 | 3 | 26 | 三日月町 | 12 | 4 | 0 | 8 | 0 |
| 2 | 唐津市 | 44 | 19 | 21 | 4 | 0 | 27 | 牛津町 | 7 | 5 | 0 | 2 | 0 |
| 3 | 鳥栖市 | 38 | 21 | 11 | 4 | 2 | 28 | 芦刈町 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 |
| 4 | 多久市 | 15 | 13 | 2 | 0 | 0 | 29 | 浜玉町 | 6 | 5 | 1 | 0 | 0 |
| 5 | 伊万里市 | 38 | 28 | 3 | 7 | 0 | 31 | 蔵木町 | 13 | 5 | 0 | 8 | 0 |
| 6 | 武雄市 | 32 | 11 | 6 | 14 | 1 | 32 | 相知町 | 27 | 9 | 5 | 11 | 2 |
| 7 | 鹿島市 | 23 | 10 | 2 | 9 | 2 | 33 | 北波多村 | 7 | 4 | 0 | 3 | 0 |
| 8 | 諸富町 | 3 | 1 | 0 | 1 | 1 | 34 | 肥前町 | 2 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| 9 | 川副町 | 7 | 6 | 0 | 0 | 1 | 35 | 玄海町 | 3 | 3 | 0 | 0 | 0 |
| 11 | 久保田町 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 36 | 鎮西町 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 12 | 大和町 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 37 | 呼子町 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 13 | 富士町 | 3 | 2 | 0 | 1 | 0 | 38 | 有田町 | 6 | 3 | 2 | 1 | 0 |
| 14 | 神埼町 | 11 | 9 | 1 | 1 | 0 | 39 | 西有田町 | 27 | 21 | 0 | 6 | 0 |
| 15 | 千代田町 | 2 | 1 | 1 | 0 | 0 | 40 | 山内町 | 7 | 3 | 1 | 2 | 1 |
| 16 | 三田川町 | 3 | 3 | 0 | 0 | 0 | 41 | 北方町 | 3 | 0 | 2 | 1 | 0 |
| 17 | 東脊振村 | 2 | 0 | 1 | 1 | 0 | 42 | 大町町 | 7 | 2 | 0 | 5 | 0 |
| 18 | 脊振村 | 2 | 1 | 0 | 1 | 0 | 43 | 江北町 | 2 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| 19 | 三瀬村 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 44 | 白石町 | 4 | 2 | 1 | 1 | 0 |
| 20 | 基山町 | 7 | 5 | 2 | 0 | 0 | 45 | 福富町 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| 21 | 中原町 | 14 | 9 | 4 | 0 | 1 | 46 | 有明町 | 12 | 6 | 5 | 1 | 0 |
| 22 | 北茂安町 | 3 | 3 | 0 | 0 | 0 | 47 | 太良町 | 4 | 1 | 1 | 2 | 0 |
| 23 | 三根町 | 5 | 3 | 1 | 0 | 1 | 48 | 塩田町 | 7 | 5 | 1 | 1 | 0 |
| 24 | 上峰町 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 49 | 嬉野町 | 12 | 10 | 1 | 1 | 0 |

(3) まちづくりの取り組みの内容について

1) まちづくりの分野別にみた区分

それでは、どのような分野でまちづくりの取り組みがなされているのか。興味深いところであるが、あまりにも具体的な事例が多岐に渡り過ぎていて、いざ、分類するとなると、分類の基準の立てかたが非常に難しい。個々の事例をみながらどうにか26項目に纏めたのが表4である。

最も件数が多いのは、「保健・福祉」に関わるまちづくりの記事で103件、全体の

13.9%を占めている。高齢化社会との関わりも大きいと思われるが、これに「スポーツ」16件(2.1%)、「住宅・建物」16件(2.0%)、「生活」9件(1.2%)を合わせて、全体の2割弱を生活の安寧に関わる取り組みが占めている。いま一つ、現代のキーワ

表4 分野別にみた「まちづくり」件数

| | 行政 | 疑似行政 | 市民 | 行政、 疑似行政 | 行政、 市民 | 市民、 疑似行政 | 合計 | 比率 |
|--------|-----|------|-----|-------------|-----------|-------------|-----|-------|
| 保健・福祉 | 74 | 16 | 16 | | | 1 | 107 | 13.9 |
| 環境保全 | 50 | 10 | 25 | 4 | | | 89 | 11.5 |
| 文化 | 54 | 8 | 19 | 3 | | 1 | 85 | 11.0 |
| 全般 | 28 | 24 | 20 | | | | 72 | 9.3 |
| 歴史的遺産 | 16 | 15 | 22 | | 1 | | 54 | 7.0 |
| 産業振興 | 21 | 13 | 11 | 1 | | 1 | 47 | 6.1 |
| 商店街活性化 | 11 | 22 | 0 | 1 | | | 34 | 4.4 |
| 総合計画等 | 32 | 1 | 0 | | | | 33 | 4.3 |
| 担い手育成 | 15 | 15 | 1 | | | | 31 | 4.0 |
| 市街地再開発 | 17 | 9 | 0 | 1 | | | 27 | 3.5 |
| 広域行政 | 18 | 1 | 1 | 1 | | 2 | 23 | 3.0 |
| 情報・通信 | 12 | 3 | 2 | | | | 17 | 2.2 |
| 住居・建物 | 10 | 5 | 0 | 1 | | | 16 | 2.1 |
| スポーツ | 1 | 7 | 7 | | 1 | | 16 | 2.1 |
| 市民参加 | 9 | 6 | 0 | | | 1 | 16 | 2.1 |
| 域内行政 | 4 | 9 | 2 | | | | 15 | 1.9 |
| 生涯学習 | 11 | 2 | 0 | 2 | | | 15 | 1.9 |
| 都市景観 | 5 | 6 | 3 | | | | 14 | 1.8 |
| 男女参画 | 7 | 0 | 6 | | | | 13 | 1.7 |
| 防災・防犯 | 10 | 1 | 0 | | | | 11 | 1.4 |
| 生活 | 5 | 4 | 0 | | | | 9 | 1.2 |
| 教育 | 2 | 1 | 4 | | | | 7 | 0.9 |
| 交通・安全 | 5 | 1 | 0 | | | | 6 | 0.8 |
| 国政 | 3 | 3 | 0 | | | | 6 | 0.8 |
| NPO | 3 | 0 | 2 | | | | 5 | 0.6 |
| 国際交流 | 2 | 1 | 0 | | | | 3 | 0.4 |
| 合計 | 425 | 183 | 141 | 14 | 2 | 6 | 771 | 100.0 |

ードとの関連でいえば、「環境保全」89件(11.5%)が「文化」85件(11.0%)を抑えて、二番目に位置しているのも注目に値する。「歴史的遺産」によるまちづくりが上位に位置しているのは、長崎街道に関する官民双方の取り組みが多かったことに依るところが大きい。総じて、ハード、ソフト両面における生活関連の取り組みが上位を占め、割合でみても高くなっており、産業振興や商店街の活性化といった経済活動に関わるものは、これに準じている。

市民参加のまちづくりに関していえば、まちづくりの「担い手育成」に関わる取り組みが31件(4.0%)と9番目に位置しているほか、「市民参加」そのものを取り上げた取り組みも16件(2.1%)あり、14番目に位置している。但し、「NPO」に関する取り組みは5件と少なく、これからというところであろうか。

2) 活動形態別にみた「まちづくり」

活動の形態については表5にあるように23項目に整理した。「イベント」94件(12.2%)が最も多く、以下、「セミナー等」91件(11.8%)、「シンポジウム等」71件(9.2%)、「施設・設備」51件(6.6%)、「実践活動」50件(6.5%)、「会議・委員会等」50件(6.5%)、「講演会」45件(5.8%)と続いている。「イベント」や「実践活動」が、上記の「保健・福祉」や「環境保全」その他の生活に関わる活動の具体的な姿であり、まちづくりの現場、最先端部分であるとすれば、当然のことながら、ここでは、他の項目に比べて市民サイドのウエイトが他に比べて高くなっている。行政が中心の「施設・設備」は、そのハード面からの支援策であり、「セミナー」や「シンポジウム」、「講演会」等はソフト面からの支援策といえる。

「会議・委員会等」は、まちづくりの企画・立案にかかる部分で、当然のことながら、行政サイドの取り組みがウエイトを占めているが、このなかには審議会等の委員の一部を公募した事例も含まれている。以下に続く、「計画・構想等策定」40件や「事業・制度」31件はこの「会議・委員会等」の成果物である。なお、「組織づくり」32件には、この企画立案のための委員会等の設置の他に、まちづくりの実践部隊の組織づくりも含まれている。

「募集」22件の中には、上記の委員募集のほか、まちづくりの提言やボランティア募集などが含まれており、「研究会」(ワークショップ)10件や「調査」17件などを背景に「政策提言」18件や「コンクール」25件などへの応募がなされている。行政サイドが市民サイドに仕掛ける、まちづくりのための「懇談会」10件や「意見交換」15件も、市民の声を行政に反映させるための取り組みである。

(4) 事例でみた「市民参加のまちづくり」

1) 行政による「まちづくり」への市民参加

自治体の「総合計画」へ住民の意向を反映させる取り組みとしては、

- ・ 98年に伊万里市が市内4カ所で「まちづくりを考える会」を初めて開催(No.550)

表5 活動内容別にみた「まちづくり」件数

| | 行政 | 疑似行政 | 市民 | 行政、 疑似行政 | 行政、 市民 | 市民、 疑似行政 | 合計 | 比率 |
|---------|-----|------|-----|-------------|-----------|-------------|-----|-------|
| イベント | 44 | 10 | 34 | 4 | 1 | 1 | 94 | 12.2 |
| セミナー | 47 | 32 | 12 | | | | 91 | 11.8 |
| シンポ | 28 | 26 | 13 | 3 | | 1 | 71 | 9.2 |
| 実践活動 | 14 | 20 | 13 | 2 | | 1 | 50 | 6.5 |
| 施設・設備 | 34 | 11 | 6 | | | | 51 | 6.6 |
| 会議・委員会 | 38 | 6 | 4 | 2 | | | 50 | 6.5 |
| 講演会 | 18 | 12 | 11 | 2 | 1 | 1 | 45 | 5.8 |
| 組織づくり | 14 | 7 | 11 | | | | 32 | 4.2 |
| 計画・構想策定 | 33 | 3 | 2 | 1 | | 1 | 40 | 5.2 |
| 大会 | 16 | 10 | 3 | | | | 29 | 3.8 |
| 事業・制度 | 31 | 0 | 0 | | | | 31 | 4.0 |
| 募集 | 20 | 2 | 0 | | | | 22 | 2.9 |
| 調査 | 10 | 5 | 2 | | | | 17 | 2.2 |
| 交流会 | 13 | 7 | 6 | | | | 26 | 3.4 |
| 政策提言 | 6 | 6 | 6 | | | | 18 | 2.3 |
| 研究会 | 1 | 4 | 4 | | | 1 | 10 | 1.3 |
| コンクール | 15 | 6 | 4 | | | | 25 | 3.2 |
| 条例制定 | 8 | 3 | 0 | | | | 11 | 1.4 |
| 施策 | 14 | 0 | 0 | | | | 14 | 1.8 |
| 体験学習 | 3 | 0 | 1 | | | | 4 | 0.5 |
| 意見交換 | 5 | 7 | 3 | | | | 15 | 1.9 |
| 懇談会 | 6 | 3 | 1 | | | | 10 | 1.3 |
| PR | 7 | 3 | 5 | | | | 15 | 1.9 |
| 合計 | 425 | 183 | 141 | 14 | 2 | 6 | 771 | 100.0 |

- ・ 嬉野町では、町内 34 行政区の全てで町民との懇談会を開いた町長の発案で、97 年に町民 100 人を募って「21 まちづくり委員会」を発足させ(No.343,417)、98 年に住民の視点によるさまざまな提言(No.466,578)を受けるとともに、3名の総合計画 審議会委員を公募している(No.483)。
- ・ 99 年に牛津町が町民から 50 人の委員を募り「まちづくり委員会」を新設(No.749)
- ・ 99 年に多久市が 4 名の総合計画策定審議会委員を公募(No.714)
- ・ 99 年に牛津町が 5 人以内で町民から募集(No.733)

異色なものとしては

- ・ 鹿島市が、98年に総合計画策定に向けて「21世紀のまちづくり」など6つのテーマを論文募集(No.579,616)
- ・ 神埼町が、96年に総合計画のメインテーマ「自然と歴史と未来がひびきあうまち…かんざき」に添った具体的なまちづくりの提案を募集(No.235)
- ・ 山内町が、97年に「まちづくり夢・私の提案」を募集(No.395)

また、総合計画ではないが、類似の計画への参加やまちづくりの提案を市民によびかけたものとして、

- ・ 唐津市が98年に市民に募集した「まちづくりグランプリ」(No.503)
- ・ 北波多村が村中央部の開発計画に際して住民の意向を取り入れる為に97年におこなった「アンケート調査」(No.355)
- ・ 佐賀市が92年から15人の女性を公募して行っている街角りポーター制度(No.367)
- ・ 相知町が町民から様々な意見・要望を掘り起こすために95年に設置した、議長と各種団体の長との「まちづくり懇談会」(No.102)
- ・ 有明町が町民のアイデアを募集するために94年に開催した「まちづくり懇談会」(No.6)
- ・ 川副町が住民の声をより町政に反映させようと町内3地区で開いた町政懇談会「夢おこしネット96ーみんなで集会」(No.248)
- ・ 江北町が97年に行政主導型から住民主導型のまちづくりの転換を図るために設置した36人の町民による「まちづくり協議会」、12回開催(No.388)
- ・ 市長が直接市民からの意見を聞くために唐津市が95年に開設したホットライン「ふれあいテレホン」(No.169)
- ・ 市長が各町に出かけて市民と意見交換するために武雄市が98年にスタートさせた「ふれあい市長室」(No.522)
- ・ 職員が各地域に出向き、住民の声を吸い上げる、神埼町(97年)の「まちづくり懇談会」(No.423)

などがある。

特定の分野に限ったものとしては、

- ・ 唐津市が「住宅マスタープラン」策定のために98年に実施した住民アンケート調査(No.573)
- ・ 武雄市がJR武雄温泉駅周辺の鉄道高架・区画整備事業で実施した、地区住民との「意見交換会」(No.336,434,450)
- ・ 市民参加型の街づくりを目指した佐賀市(99年)の「さがまち探検隊ワークショップ」(No.757)

などがある。

これらは、いずれも行政のプラン策定や事業実施の過程において住民の考えを反

映させ為の取り組みであるが、次に、まちづくりの担い手育成のための取り組みとして、講習会や研修会等の取り組みがなされている。

- ・「まちづくり仕掛け人養成講座」地域づくり・まちづくりの支援者養成、佐賀県(99年)(No.703)
- ・「まちづくりリーダー塾」地域づくりのリーダー研修(99年、佐賀県地域づくり団体協議会)(No.632)
- ・「まちづくり海外研修事業」三根町、95年に25人が訪中(No.158)
- ・三田川町の人材育成事業による欧州視察(まちづくり、福祉、農業など仕組みを見学)(No.723)
- ・伊万里市の海外派遣事業「グローバル伊万里」による米国の「女性やわかものが暮らしやすいまちづくり」と欧州の「地場産業振興」の視察(96年、No.226,265)
- ・太良町の「人づくり海外研修事業」による欧州3ヶ国視察(99年、No.750)
- ・牛津町が93年に、まちづくりへの町民の積極的な参画を促すために「人材育成補助金交付金要項」を設置(No.4)
- ・三日月町が98年から始めた、各集落が自主的に企画した地域おこし活動を支援する「活力と調和のとれたむらづくり事業」(98~99年)、5人以上のグループが対象の「まちづくり育成事業」(90年~)(No.460,469)

また、男女協働参画社会づくりに関わる取り組みとしては、

- ・女性の積極的な町政参画を促す、女性を対象にした「まちづくりセミナー」の開催(96年、川副町、No.245)
- ・佐賀県の「男女協働参画社会づくりモデル市町村事業」を受けた、中原町の「女性ネットワーク事業」(96年、No.180)
- ・大和町の「まちづくりフォーラム in 大和」(97年、No.442)
- ・「まちづくりフォーラム in 伊万里」(98年、No.541)
- ・女性の政治への関心を促す。女性だけの模擬議会「ウイメンズ政治ゼミナール」(96年、佐賀市、No.208)
- ・女性まちづくりセミナーの卒業論文として実施された「女性議会」(96年、川副町、No.285)

などがみられる。

2) 擬似行政によるまちづくり

分野別にみた、擬似行政によるまちづくりのなかで、最も多いのは、「商店街活性化」によるまちづくりの22件(12%)で、これに「担い手育成」15件(8.1%)、「産業振興」13件(7.1%)が次いでおり、「市街地再開発」の9件(4.9%)を含めて3分の1弱が経済活動によるまちづくりとなっている。全体では最も多かった「保健・福祉」が16件(8.7%)、二位の「環境保全」が10件(5.5%)と低いのも、商工会や青年会議所等、産業に関係の深い団体が多い、擬似行政の特色といえる。

とはいえ、市民参加によるまちづくりに関心が無いわけではない。「市民参加」そのものを前面に出した取り組みも6件と、行政のその9件に近い数となっている。

すなわち、唐津青年会議所が99年に開いた「今こそ市民参加の街づくりを考える」をテーマにしたフォーラム(No.667,671,677)や、文化財保存県協議会が96年に開いた「佐賀ん町の街づくり」(No.209)、山内町商工会が94年に開催した「自ら考え、自らおこすまちづくり」討論会(No.76)、鹿島青年会議所が98年に開いた「創立40周年記念講演会」(No.567)、同じく98年に白石町商工会が開いた「まちづくりシンポジウム」などで、市民参加を取り上げている。勿論、環境保全活動などを中心とした「実践活動」では、擬似行政20件、行政14件、市民13件と、最も精力的な取り組みが行われている。

3) 市民によるまちづくり

最後に、最も関心のある、市民自らの手によるまちづくりの取り組みについてみることにする。表6は、各市町村別に市民によるまちづくりの取り組み事例が多い順に並べ、これに主催団体の実数と取り組み分野の数を併記したものである。

表6 市民によるまちづくりの件数、団体等
(ただし、件数が2件以上の自治体)

| | 件数 | 団体 | 分野 |
|------|----|----|----|
| 佐賀市 | 17 | 15 | 9 |
| 武雄市 | 14 | 7 | 8 |
| 相知町 | 11 | 2 | 7 |
| 鹿島市 | 9 | 5 | 7 |
| 三日月町 | 8 | 6 | 4 |
| 厳木町 | 8 | 2 | 6 |
| 伊万里市 | 7 | 5 | 6 |
| 西有田町 | 6 | 5 | 4 |
| 大町町 | 5 | 4 | 4 |
| 唐津市 | 4 | 4 | 3 |
| 鳥栖市 | 4 | 4 | 4 |
| 北波多村 | 3 | 3 | 3 |
| 小城町 | 3 | 2 | 3 |
| 牛津町 | 2 | 2 | 2 |
| 山内町 | 2 | 2 | 1 |
| 太良町 | 2 | 1 | 2 |

前述のように、この5年間における佐賀新聞での掲載件数としては、佐賀市の17件が最も多く、これに武雄市の14件、相知町の11件、鹿島市の9件が続いている。主催団体の数をみると、佐賀市の15団体・個人が最も多く、以下、武雄市の7団体、三日月町の6団体の順となっている。佐賀市の場合は、11の団体で構成される「花とみどりの協議会」を始め、幾つかの団体の共催によるものが多く、延べで32団体が関わっている。以下、概ね、件数の多い自治体ほど主催団体も多くなっているが、相知町や厳木町の様に、件数としては多いが、主催団体は少ないところも例外的にはある。相知町の場合は「屋根のない博物館」(7件 6分野)が、厳木町の場合は「フォーラム風」(7件、5分野)が、一手に担った形になっているが、特定の分野に偏ることなく、多くの分野でまちづくりに関わっていることが注目される。

以上、佐賀新聞の「まちづくり」に関する771件の検索記事をデータベース化する作業のなかで見てきた、佐賀県下におけるまちづくりと市民参加の一端を記したが、もとより、整理したデータの本格的な分析はこれからで、次年度の課題としたい。

資料 1

第3章のデータとして検索された佐賀市内の団体の中から以下の6団体について、活動内容等の記事を抜粋して記載している。

1. 柳町まちづくり協議会
2. 唐人町商店街
4. 全国生涯学習まちづくり研究会
5. 新しい佐賀を考える住民会議
6. 川を生かしたまちづくり懇話会、川の街づくり委員会
7. 八戸溝女性フォーラム

また、佐賀県のホームページから県内のNPOの申請及び認定状況（1999.12.10現在）を転載した。

1. 柳町まちづくり協議会

1999年1月11日設立

会長：指山大輔、副会長：三根抱一

<http://www2.saganet.ne.jp/ebisu>

・掲載日 1998年05月31日

（4日に歴史講演会）

都市景観地区指定に取り組んでいる佐賀市と柳町まちづくりの会（政池壽三輝会長）は、6月4日に同市柳町の旧古賀家で、郷土史家の福岡博さんを講師に招き歴史講演会を開く。参加は無料。

・掲載日 1999年01月13日

〈「まちづくり協議会」設立〉

旧長崎街道の町並み保存と活用を考えようと、佐賀市柳町・千代町の住民で「柳町まちづくり協議会」が設立された。同地区は景観形成地区指定へ向けて準備が進んでおり、住民が先頭に立った歴史的景観整備の推進役として期待される。

柳町・千代町地区には旧古賀銀行など、明治から昭和初期の建物を復元整備した歴史民俗館が一昨年秋にオープン。これまでに20万人が訪れ、新たな観光スポットになった。

市は柳町かいわいの景観を守るため、景観形成の地区指定へ向け、約2年間、地元自治会と話し合ってきた。一通りの協議を終えたことから地元では、行政との調整窓口になるばかりでなく、住民が主体となって景観保存と活用を考え、イベントなども展開する母体として協議会を設立することになった。

・掲載日 1999年06月20日

〈佐賀市柳町一帯都市景観形成地区に〉

佐賀市は旧長崎街道の柳町一帯を市都市景観条例¹に基づき、「都市景観形成地区」に指定する。建物の増改築などで事前の届け出を義務付ける一方、漆喰（しっくい）壁などにする場合、市が一部を補助する。

平成4年に条例を施行して以来、地区指定は初めて。6月議会に助成費などを提案する予定で可決後、都市景観審議会（会長・杉本正美九州芸工大教授、9人）に指定を諮問、答申と公告縦覧（15日間）を経て告示する。

範囲は柳町、千代町の長崎街道沿い2.5㏍。①こう配屋根を基本とする修景基準（補助なし）②建物の壁、瓦など材料指定を伴う整備基準（補助あり）③歴史的な建物十戸を対象にした修理保全基準（同）一の三段階で町並みの保全を図る。

土地・家屋の所有者は計52人。同市は2年前から住民代表を交え研究会を開き、今年2月から全関係者を対象にした説明会を4回開き、おおむね了解を得た。一帯は旧古賀銀行など明治期から昭和初期にかけての建物群があり、平成2年のマンション建設騒動が、町並み保存の機運を高めた。

・掲載日 1999年10月17日

〈創立30年祝いガス灯も除幕〉

佐賀葉がくれライオンズクラブ（小部功会長、98人）の創立30周年式典が16日、佐賀市のマリトピアであった。～省略～

また、記念事業として、同市柳町の市歴史民俗館・旧古賀銀行前にガス灯2基を寄贈。15日夜、櫻木末光教育長や柳町まちづくり協議会の指山大輔会長ら約100人が出席し、除幕式を行った。

ガス灯は高さ約4.5m。アルミ鋳物製の二灯式で、レトロ調のデザインがレンガづくりの同行に調和している。総工費は約350万円。

2. 唐人町商店街振興組合

前身は協同組合

1990年に商店以外の住民も加盟できる振興組合に組織強化（組合員66人、加盟68店）

副理事長：小城原進

<http://www2.saganet.ne.jp/toj/index.html>

・掲載日 1997年06月12日

〈佐賀市「花物語…シンボルロード編実行委員会」〉

佐賀市のJR佐賀駅から県庁前に至るシンボルロードを花で飾ろうと、地元商店街

の人たちがボランティア団体「花物語…シンボルロード編実行委員会」（副島勉委員長）を結成して5年。会員は、毎朝の水やりや除草、花の植え替えを欠かさず、県都佐賀市を訪れた人たちを温かく迎えている。

「花物語…シンボルロード編実行委員会」は、平成4年4月に、佐賀市の「花物語推進事業」の呼び掛けにこたえて発足した。唐人町商店街振興組合、同自治会、同女性会、同長生会の4団体、132人で構成している。

県道佐賀駅末次線（シンボルロード）の旧佐賀駅から中央橋間の約1kmの歩道両側と、唐人町まちかど広場に、イタリア製の素鉢約150個を置き、佐賀郡富士町にある知的障害者施設「富士学園」の園生が育てた苗を植えている。植え替えは年3回行っており、夏はポチュラカ、秋はサルビア、冬はパンジー、チューリップなど約3,000株を植栽、会員たちは、店の前などにある鉢の水やりや除草を欠かさず、鉢のある歩道の周辺の清掃にも努めている。

こうした1年を通じての「花の絶えない町づくり」活動は、「徐福の里編」など市内十五カ所で展開しているほかの花物語事業の各団体にも受け継がれ、「市民参加型」の花いっぱい運動の“元祖的存在”として高い評価を受けている。

昨年10月には、県都市緑化功労賞知事表彰、今年4月には、第8回「みどりの愛護」功労者建設大臣表彰を受賞した。

・掲載日 1997年11月20日

（きょうから唐人町コンサート）

佐賀熱気球世界選手権を盛り上げようと、佐賀市と唐人町商店街振興組合などでつくる「97サガ・ライトファンタジー」実行委員会は20日から、同市唐人町の街かど広場でストリートコンサートを開く。

ライトファンタジーは、大会が開幕した15日にスタート。佐賀市のシンボルロードは、夜になると約58,000個のイルミネーションで彩られ、幻想的な雰囲気包まれる。

また、ライトファンタジーがある1月15日までの期間中、シンボルロード沿いのショーウインドーに、県内の作家ら18人の絵画など約30点を展示するストリートギャラリーなども開いている。

・掲載日 1999年08月06日

〈「唐人町400年祭」多彩に〉

佐賀市の唐人町が誕生してから今年で400年を迎え、地元の商店街などが「唐人町四百年祭」と名付けた多彩な記念イベントを企画している。7日の十間堀川クルージングフェスタをはじめ、中心商店街の将来を考えるシンポジウム、焼き物体験工房などさまざま、地元では「四百年祭を中心市街地の活性化につなげたい」と意気込んでいる。

唐人町は慶長4（1599）年、鍋島直茂が文禄・慶長の役で通詞役として功績のあった高麗人の李宗欽と、彼が連れ帰った高麗人の一団を住ませたことに由来する。

李宗欽は海外貿易の御用達商となり、唐物の繊維、陶器、金物類など珍しい品々を輸入、これらを扱う商人が集まってきて、今日の唐人町の基礎を形成していった。一団には鍋島更紗（さらさ）を創始した九山道清もいた。

四百年祭は、地元の約 70 店舗が加盟する唐人町商店街振興組合や唐人町自治会などが実行委員会を組織して主催する。

3. 全国生涯学習まちづくり研究会さが支部

代表：高木末子

〒840 佐賀市天神2丁目5の19 エクシーマンション 1203

オフィス TAKAGI

電話 0952-28-3614

・掲載日 1996 年 05 月 18 日

〈入門講座〉

インターネットってなんだろう？ そんな初心者、それも女性をターゲットにした「入門講座」が6月に開かれる。全国生涯学習まちづくり研究会さが支部（高木末子代表）が、アバンセとの共催で開くもので、インターネットに絞った講座。

内容は「体験編」「基礎編」「応用編」「総合編」の四回（各2時間）。アバンセを会場に6月6日から昼の部、夜の部合わせ、全部で4講座を開く。募集人員は各16人。女性ならだれでも参加できる。参加料6,000円。

・掲載日 1996 年 11 月 14 日

〈福祉のまち考える〉

「人・地域・社会イキイキ生きるまちづくり」をテーマに福祉の視点から生涯学習を考えるイベントが17日午前10時からアバンセである。寝たきりの子供を看病しそれまでの経緯をパソコン通信に連載した古閑士津子さん＝熊本市在住＝が「子供とともに育ちあう家族とは」と題し講演する。午後からは分科会もあり、県内外の12人が地域で取り組んでいる活動について発表する。問い合わせは全国生涯学習まちづくり研究会さが支部の高木さん。

・掲載日 1999 年 02 月 22 日

〈まちづくり「仕掛人」講座〉

全国生涯学習まちづくり研究会さが支部（高木末子代表）が主催する「地域づくり・まちおこし仕掛人養成講座」（佐賀新聞社など後援）が21日、佐賀市のアバンセであった。県内外から行政や市民活動でまちおこしにかかわる約70人が参加、地域を巻

き込んだ活動の手法などを学んだ。

全国で地域活性化に携わる市民活動家ら5人が「まちづくり実践活動」などのテーマで講演した。高木代表は「ネットワークの活用」という題で情報の収集法などについて「好奇心をもって動き出せば情報は入ってくるし、自ら情報発信することでネットワークは網の目のように広がる」と話し、事業についても「企画立案から多くの人が参画し、それぞれが得意分野で活躍できるようにすれば、参加した人の次への意欲が高まる」とアドバイスした。

4. 新しい佐賀を考える住民会議

1997年4月16日設立

座長：古賀醸治

・掲載日 1997年04月12日 <自>

<佐賀JC、広域行政考える住民会議設置へ>

佐賀青年会議所(武富公二理事長)は、民間の立場から広域行政について考える「新しい佐賀を考える住民会議」を16日、設立する。各分野で活躍する20~40代のメンバーが意見交換、新しい行政の枠組みなどにについて調査研究し、提言をまとめる。

効率的で質の高い行政サービスを求め、魅力あるまちづくりを進めようと同青年会議所の武富理事長、古賀醸治・窓乃梅酒造社長、田中豊治佐賀大学文化教育学部教授の3人が発起人となり呼び掛けた。

メンバーは、佐賀市をはじめ佐賀郡、小城郡、神埼郡などの商店主や大学教授、ボランティア団体会員ら23歳から49歳までの21人。16日に佐賀市で初会合を開き、その後、月1回の割合で意見交換会や、広域行政が進んでいる県外の先進地視察などをする。

・掲載日 1997年10月10日

<佐賀市郡合併45%が「賛成」>

佐賀市と佐賀郡の一市六町が合併することに「賛成」と考えている同市郡の住民は45%で、全体の半数近くになっていることが、田中豊治・佐賀大教授(組織社会学)らが行った「佐賀のまちづくりに関する住民意識調査」の結果で分かった。合併「反対」とした人は17%にとどまっている。最も「賛成」が多かったのは久保田町、逆に「反対」が多かったのは諸富町だった。この結果に、田中教授は「賛成は反対の2.6倍もある。住民レベルでは合併への潜在ニーズがあり、既に広域化しているということ。合併を進めていいととらえることができるのでは」と分析している。

調査は佐賀青年会議所を中心にした組織で、民間の立場から広域行政について考え

る「新しい佐賀を考える住民会議」から委託を受けて行った。各市町村と佐賀大生から 100 人ずつを目安に面接調査し、各 100~88 人の計 767 人から 7 月に聞き取りをした。

・掲載日 1998 年 08 月 26 日

〈佐賀広域圏まちづくりフォーラム 98〉

佐賀市および周辺市町村は全国より高齢化が進み、今後増大が見込まれる行政サービスは、はたして対応していけるのでしょうか。

佐賀の将来ビジョンを考える「佐賀広域圏まちづくりフォーラム 98」—今、どうして市町村合併なのか—を、新しい佐賀を考える住民会議、佐賀青年会議所と共催で開催します。住民生活にかかわりが深いテーマを取り上げ、市町村合併も視野にいたした報告を行い、評論家草柳大蔵氏の講演も行います。ぜひご参加ください。

▽日 時 平成 10 年 9 月 12 日 (土) 午後 1 時から

▽会 場 佐賀市文化会館中ホール

▽内 容 住民会議報告

①文化施設の現状と有効活用

②介護保険制度の問題点

③世界的に見る焼却施設と佐賀の現状

④行政改革に伴うコストの削減

住民意識調査発表 (田中豊治佐賀大学文化教育学部教授)

ショートコント—さがんまちこれが現実! (佐賀大学落語研究会)

講演 テーマ「平成ニューディールを起こせ」(草柳大蔵氏・評論家)

・掲載日 1999 年 08 月 12 日

〈町村合併考えよう〉

佐賀の街づくりを考える市民団体「新しい佐賀を考える住民会議」(古賀醸治窓乃梅酒造社長ら 19 人) は 23 日の久保田町を皮切りに、佐賀郡南部四町で町村合併をテーマにした「広域まちづくり討論会」を開く。佐賀市に隣接する各町民の合併に対するさまざまな声を拾い、年内をめどに「構想書」をまとめる。

同住民会議は平成 9 年、佐賀青年会議所に所属する若手経営者を中心に結成、昨年 9 月には佐賀市で街づくりフォーラムを開いた。

討論会は活動第二弾で、各町ごとに約 50 人の住民の参加を募り「町村合併をどう考えるか」で意見を聴き、「構想書」にまとめた上で、各自自治体の討論材料などとして役立ててもらおう考え。

各会場とも時間は午後 7 時から 9 時まで。参加は自由で事前申し込みの必要はない。詳しい問い合わせは、事務局の佐賀青年会議所、電話 0952 (32) 1565 へ。各町の日程、会場は次の通り。

【久保田町】23日＝町公民館　【東与賀町】9月9日＝町文化ホールふれあい館
【川副町】9月28日＝町民会館　【諸富町】10月15日＝町産業振興会館

・掲載日 1999年12月22日

〈住民主導で合併構想書〉

佐賀青年会議所（鳥屋正人理事長）と市民団体「新しい佐賀を考える住民会議」（古賀醸治座長）が、佐賀市郡一市六町の合併を想定した新まちづくり構想書『どがんでしょうか』こがんまち！』をまとめた。

住む、学ぶ、働く、遊ぶの四つのテーマで、住民主導型の都市の将来像を提唱している。

「住民会議」は2年前に発足、同青年会議所と共同で広域行政をテーマに調査・研究、討論会を進めてきた。構想書はこれまでの活動の集大成となる。

「住む」では「高齢者も住みたくなる都市づくり」をコンセプトに、南部に温泉付きの大規模病院をつくり、広域圏内の公的病院を軸にした福祉施設群のネットワーク化を提案している。「学ぶ」では、一番近く生活事情に合った学校に行けるように、小学校の校区制見直しや弾力運用が必要だとしている。構想書は千部を作成、関係首長に贈るとともに、ダイジェスト版の広報紙を佐賀市郡の全世帯に配布した。

・掲載日 1999年12月30日

〈合併構想書を町長に贈る〉

佐賀市郡一市六町の合併を想定したまちづくり構想書をまとめた「新しい佐賀を考える住民会議」の古賀醸治座長らがこのほど、川副町の江口善己町長を訪れ、構想書を手渡した。

6. 川を生かしたまちづくり懇話会

1998年11月発足

市民らによる佐賀市の懇話会

会長：長沼富士男

川の街づくり委員会

1999年3月発足

佐賀商工会議所内の委員会

委員長：長沼富士男・佐賀共栄銀行会長、副委員長：岸川正人・楊柳亭社長

・掲載日 1999年03月10日

〈川生かし街づくり、委員会初会合〉

佐賀市内を縦横に流れる川の魅力を観光などにつなげようと、佐賀商工会議所（田

中稔会頭)の「川の街づくり委員会」の初会合が9日、同市松原の佐賀商工会館であった。金融や観光などの業種別10部会から選ばれた委員10人が市内の川の現状を学んだ。

会合では王丸恒夫・佐賀市河川課課長が多布施川の取水量や、下水道計画の概要、水環境整備事業、河川浄化運動などを説明した。王丸課長は「川は流れることで浄化するが、水たまりにすむ水生生物など環境保全とのバランスが課題」と話した。

同委員会は、昨年11月の佐賀市の「川を生かしたまちづくり懇話会」設置を受け、行政との協力を目的に発足した。委員長に金融部会の長沼富士男・佐賀共栄銀行会長、副委員長に観光部会の岸川正人・楊柳亭社長を選任。今後、定期的に勉強会を開くことにしている。同会議所の田中会頭は「中心街を川がいくつも流れる佐賀の特色を観光に生かし、ユニークなまちづくりを目指したい」と話している。

・掲載日 1999年06月08日

(川を生かしたまちづくり歴史に学ぼう)

川を生かしたまちづくりを検討している佐賀市はこのほど、郷土史家の福岡博さんを講師に招き、佐賀の川の歴史を学ぶ講演会を開いた。昨年11月に発足させた市民らによる懇話会(長沼富士男会長、14人)の活動の一環で、中心商店街の関係者らも参加した。

佐賀商工会議所の川の街づくり委員会との合同開催。

7. 八戸溝女性フォーラム

1994年誕生

代表：三村かほる

・掲載日 1994年09月17日

(19日女性フォーラム)

八戸溝地区で地域を考え、行動しようという女性の会「八戸溝女性フォーラム」が誕生、第1回フォーラムを十九日午後八時から八戸溝公民館で開く。

テーマは「四季折々に学ぶ一お作法」。牟田ゆき衣・同着物学院長を講師に招き、十五夜を迎えての作法などを学ぶ。参加無料、男性も歓迎する。

・掲載日 1994年09月29日

(新しい女性組織八戸溝で発進 佐賀市 三村かほる)

私たちの住む八戸溝は佐賀市内でも大所帯の町区で、住宅化が進み、「隣は何をする人ぞ」といった感じの心寂しい環境となっています。そこで、心の垣根を取り払い、隣近所がもっと親しくなるために新しい女性組織をつくっては、という自治会の働きかけで「八戸溝女性フォーラム」(仮称)が発足しました。

まだネーミングも定まりませんが、婦人会組織のない八戸溝で、世代を超えた女性の集まりを育てていこうというのです。

・掲載日 1995年09月16日

（草花でブローチ作り）

身近な草花を使った「草花あそび」がこのほど、佐賀市の八戸溝公民館であった。本年度発足した地区の八戸溝女性フォーラム（三村かほり部長）が開いた。

主婦や孫の手を引いたおじいちゃんなど地区の住民ら50人が参加。

・掲載日 1996年06月26日

〈野菜を題材に絵手紙作り〉

佐賀市八戸溝地区の活性化を図ろうと活動が続けている八戸溝女性フォーラム（三村かほり代表）主催の絵手紙教室がこのほど、佐賀市の八戸溝公民館であった。

この日は、地域の住民ら約40人が参加。

・掲載日 1997年07月30日

（花瓶や皿など150点展示）

佐賀市八戸溝の地域おこしグループ「八戸溝女性フォーラム」（三村かほり会長）の「やきもの作品展」が、佐賀市役所市民ホールで開かれている。1日まで。

展示されているのは、伊万里市の陶芸家溝上藻風さんを招いて6月に開いた「やきもの教室」の参加者の作品。八戸溝地区の幼児からお年寄りまで72人が皿や花瓶、はし置きなど約150点を出品している。

・掲載日 1999年03月21日

〈佐大生の落語住民楽しむ〉

「八戸溝落語」が20日、佐賀市の八戸溝公民館であり、地元住民約40人が、佐大生の落語を楽しんだ。

地元の八戸溝女性フォーラム（三村かほり会長）主催。同フォーラムは、「強制的な活動でなく、住民自身が自分たちの意志でまちづくりをしよう」と、八戸溝地区に住む約800世帯の女性が集まり発足。年1回のミニコンサートや娯楽イベントなどを実施している。

8. 県内の NPO の申請及び認定状況

(<http://www.pref.saga.jp/seikatu/kenmin/npo/link8.html>より)

No.1 申請年月日：平成 11 年 1 月 20 日 認定年月日：平成 11 年 6 月 10 日

| | |
|--------------|---|
| 特定非営利活動法人の名称 | 特定非営利活動法人北方アマチュア無線国際交流協会 |
| 代表者の氏名 | 田中好人 |
| 主たる事務所の所在地 | 佐賀県杵島郡北方町大字大崎 5 1 3 2 番地 |
| 〈定款に記載された目的〉 | アマチュア無線を通じ災害救援に関する事業を行うことにより、災害救援と併せて国際貢献、青少年健全育成等、不特定かつ多数のものの利益の増進に寄与すること。 |

No.2 申請年月日：平成 11 年 4 月 19 日 認定年月日：平成 11 年 7 月 1 日

| | |
|--------------|---|
| 特定非営利活動法人の名称 | 特定非営利活動法人 DM ユース佐賀 |
| 代表者の氏名 | 岩永幸三 |
| 主たる事務所の所在地 | 佐賀県佐賀市鍋島五丁目 1 番 1 号 |
| 〈定款に記載された目的〉 | 若年発症糖尿病患者及びその家族に対して、糖尿病に関する正しい知識の普及啓発及び療育指導等に関する事業を行い、当該患者の自立を図り、もって公益の増進に寄与すること。 |

No.3 申請年月日：平成 11 年 4 月 20 日 認定年月日：平成 11 年 7 月 1 日

| | |
|--------------|--|
| 特定非営利活動法人の名称 | 特定非営利活動法人ほのほの通所介護サービス |
| 代表者の氏名 | 池田幸恵 |
| 主たる事務所の所在地 | 佐賀県伊万里市黒川町塩屋 5 0 9 番地 1 |
| 〈定款に記載された目的〉 | 要介護認定を受けた被保険者が質の良い充実した生活を営めるよう、通所介護サービス事業を通して社会福祉の増進を図ること。 |

No.4 申請年月日：平成 11 年 4 月 21 日 認定年月日：平成 11 年 7 月 1 日

| | |
|--------------|---|
| 特定非営利活動法人の名称 | 特定非営利活動法人たすけあい佐賀 |
| 代表者の氏名 | 西田京子 |
| 主たる事務所の所在地 | 佐賀県佐賀市長瀬町 1 0 番 3 7 号 |
| 〈定款に記載された目的〉 | お互い様を合い言葉に助け合いの精神に基づいて、地域社会で自立した生活を送ることが困難な人々に対して受け手と担い手が対等な関係を保てる福祉サービスに関する事業を行うことを通じて、健康で安心して暮らしていくことのできる地域社会の建設に努力することによって、福祉の増進に寄与すること。 |

No. 5 申請年月日：平成 11 年 6 月 21 日 認定年月日：平成 11 年 9 月 21 日

| | |
|--------------|--|
| 特定非営利活動法人の名称 | 特定非営利活動法人市民生活支援センターふくしの家 |
| 代表者の氏名 | 横尾正文 |
| 主たる事務所の所在地 | 佐賀県佐賀市南佐賀一丁目 10 番 7 号 |
| 〈定款に記載された目的〉 | 高齢者や障害者や社会的弱者などが地域で安心して生活していける社会の実現を図るため、福祉に関する事業を行い、暮らしやすいまちづくりを推進すること。 |

No. 6 申請年月日：平成 11 年 7 月 15 日 認定年月日：平成 11 年 10 月 29 日

| | |
|--------------|--|
| 特定非営利活動法人の名称 | 特定非営利活動法人 POSA |
| 代表者の氏名 | 倉富彰秀 |
| 主たる事務所の所在地 | 佐賀県神埼郡神埼町大字田道ヶ里 2 4 3 5 番地 1 |
| 〈定款に記載された目的〉 | 眼科衛生学に関する知識の普及及び白内障・緑内障に対する研究、及びその貧しさ故に適切な治療を受けられない国及び地域の人々に対するボランティア医療活動を行い、その視力回復、社会復帰と自立を促すことなどを通して国際交流に貢献する。 |

No. 7 申請年月日：平成 11 年 8 月 23 日 認定年月日：平成 11 年 11 月 18 日

| | |
|--------------|--|
| 特定非営利活動法人の名称 | 特定非営利活動法人佐賀県糖尿病協会 |
| 代表者の氏名 | 岩永幸三 |
| 主たる事務所の所在地 | 佐賀県佐賀市鍋島五丁目 1 番 1 号 |
| 〈定款に記載された目的〉 | 糖尿病に関する正しい知識の普及啓発、糖尿病患者及びその家族の療育指導、糖尿病の予防及び治療に関する調査研究等についての事業を行い、公益の増進に寄与すること。 |

No. 8 申請年月日：平成 11 年 8 月 25 日 認定年月日：平成 11 年 12 月 1 日

| | |
|--------------|---|
| 特定非営利活動法人の名称 | 特定非営利活動法人健愛会 |
| 代表者の氏名 | 園田喜美夫 |
| 主たる事務所の所在地 | 佐賀県佐賀郡川副町大字南里 3 8 2 番地 1 |
| 〈定款に記載された目的〉 | 要介護認定を受けた者に対し、健全で安定した在宅生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上を図るための通所介護に関する事業を行い、福祉の増進に寄与すること。 |

No.9 申請年月日：平成11年9月10日 認定年月日：平成11年12月1日

| | |
|--------------|---|
| 特定非営利活動法人の名称 | 特定非営利活動法人余暇センターきたじま |
| 代表者の氏名 | 北島勝郎 |
| 主たる事務所の所在地 | 鹿島市大字高津原1193番地 |
| 〈定款に記載された目的〉 | 在宅の高齢者に対して、要介護状態とならないための、デイサービス事業等自立支援活動に関する事業を行うことで、寝たきりや痴呆になることを予防し、いつまでも生きがいのある余暇生活が送れるよう支援し、福祉の増進に寄与すること。 |

(注)

1 平成4年6月26日公布(佐賀市条例第17号)

<http://www.city.saga.saga.jp/doc/054e654226db81b949256872002a628c.html>

資料2

佐賀新聞記事データベースから検索された資料1のようなデータを以下のようにまとめ、第3章の分析用データを作成した。

| No. | 掲載日 | 主体団体名 | 主体団体 | | | 内 容 | 分野 | 形態 | 対象地域名 |
|-----|----------------------------------|---|------|--------|------|---|-------|---------|-------|
| | | | 大区分 | 中区分 | 小区分 | | | | |
| 1 | 94.01.14 | 建設省 | 行政 | 国 | 建設省 | 建築分野での今後の環境政策の推進方策などを盛り込んだ「環境政策大綱」を発表 | 都市景観 | 計画・構想策定 | 全国 |
| 2 | 94.01.17 | 佐賀新聞社 | 疑似行政 | 企業 | 佐賀市 | 新成人50人にアンケートを実施(①佐賀を生き生きと輝かせるためには今、何が必要か②そのためにあなたは何かができますか) | 全般 | 調査 | 佐賀県 |
| 3 | 94.01.17 | 福富町商工会 | 疑似行政 | 商工会議所等 | 福富町 | まちづくりを模索する「地域問題懇談会」開催(福富町役場と同町商工会の意見交換) | 全般 | 懇談会 | 福富町 |
| 4 | 94.01.18 | 牛津町地域振興課 | 行政 | 市町村 | 牛津町 | 昨年、まちづくりへの町民の積極的な参画を促そうと設けた「人材育成補助金交付要綱」の交付対象事業を募集 | 担い手育成 | 募集 | 牛津町 |
| 5 | 94.01.24 | 玄海町まちづくり事業準備委員会 | 行政 | 市町村 | 玄海町 | 町内に残る狛犬などを観光資源のとして活用するための調査を開始 | 産業振興 | 調査 | 玄海町 |
| 6 | 94.01.26 | まちづくり準備委員会(昨年、町内各種団体で組織) | 行政 | 市町村 | 有明町 | 「あなたのアイデアで有明町は、今、進行形」をテーマに「まちづくり懇談会」開催 | 担い手育成 | 懇談会 | 有明町 |
| 7 | 94.01.26 | 鹿島市社会福祉協議会、鹿島市 | 行政 | 市町村 | 鹿島市 | 「地域福祉ネットワークの輪を広げよう」をテーマに「第10回鹿島市社会福祉大会」開催 | 保健・福祉 | 大会 | 鹿島市 |
| 8 | 94.02.02 | 千代田町青少年育成町民会議、同町PTA連絡協議会 | 疑似行政 | 複数の団体 | 千代田町 | 「健康な生活」などをテーマに「青少年健全育成のための講演会」開催 | 教育 | 講演会 | 千代田町 |
| 9 | 94.02.02 94.02.28 94.03.09 | 神埼町企画課。佐賀新聞社など後援 | 行政 | 市町村 | 神埼町 | 「福祉」をテーマに「第3回まちづくりシンポジウム」開催 | 保健・福祉 | シンポ | 神埼町 |
| 10 | 94.02.14 | 嬉野温泉商店街協同組合 | 疑似行政 | 商店街 | 嬉野町 | 魅力ある街並み創造へ「長崎街道」をイメージに事業展開(第1弾:「坂本竜馬」の名をつけた日本酒を会員制で販売) | 歴史的遺産 | 実践活動 | 嬉野町 |
| 11 | 94.02.14 | フォーラム風 | 市民 | 市民 | 巖木町 | 「巖木町まちづくりシンポジウム」開催 | 全般 | シンポ | 巖木町 |
| 12 | 94.02.15 | 佐賀県 | 行政 | 県 | 佐賀県 | 県庁新行政棟地下1階に、電動の空き缶回収機「カンボーイ」登場 | 環境保全 | 施設・設備 | 佐賀県 |
| 13 | 94.02.15 | 花とみどりの街づくり推進協議会(佐賀市内11地域のボランティア団体約300人) | 市民 | 市民 | 佐賀市 | 花のボランティア団体が「花とみどりの街づくり推進協議会」を組織[市は一昨年から、花とみどりいっぱい街づくり運動・花物語を展開] | 環境保全 | 組織づくり | 佐賀市 |
| 14 | 94.02.15 | 女性ネットワークづくり実行委員会 | 市民 | 市民 | 大和町 | 助成が暮らしやすい社会について考えようと「女と男のつどい94」開催 | 男女参画 | 交流会 | 大和町 |
| 15 | 94.02.16 94.03.14 | 基山町教育委員会、文化協会 | 行政 | 市町村 | 基山町 | 文化振興イベント「第4回基山・文化のまちづくり講演会」開催 | 文化 | 講演会 | 基山町 |
| 16 | 94.02.19 | 地方ゼネコン分科会、(財)ベターリビング | 疑似行政 | 複数の団体 | 県外 | 地域に根差した魅力ある集合住宅づくりについて討議するミニシンポ「地域型ハウジングの供給プロセス」開催(於佐賀市) | 住居・建物 | シンポ | 佐賀県 |
| 17 | 94.02.20 | 有明町社会福祉協議会 | 行政 | 市町村 | 有明町 | 「有明町社会福祉大会」開催し、「ふれあいのまちづくりを目指す」大会宣言を採択 | 保健・福祉 | 大会 | 有明町 |

| No. | 掲載日 | 主体団体名 | 主体団体 | | | 内 容 | 分野 | 形態 | 対象地域名 |
|-----|----------------------|-------------------------------|----------|------------|------|---|--------|--------|------------------------|
| | | | 大区分 | 中区分 | 小区分 | | | | |
| 18 | 94.03.02 | 佐賀市社会福祉協議会 | 行政 | 市町村 | 佐賀市 | 「第26回佐賀市社会福祉大会」開催 | 保健・福祉 | 大会 | 佐賀市 |
| 19 | 94.03.04 | 鳥栖市物流ネットワーク・マネジメント研究会 | 疑似行政 | 企業 | 鳥栖市 | 「第1回鳥栖市物流ネットワークシティー」マネジメント研究会開催 | 産業振興 | 研究会 | 鳥栖市 |
| 20 | 94.03.10 | 多久市社会福祉協議会 | 行政 | 市町村 | 多久市 | 空き缶拾いの参加を呼びかけている【ふるさとのまちづくり事業】（障害者、児童、青年らの社会活動参加事業として初の計画） | 環境保全 | 実践活動 | 多久市 |
| 21 | 94.03.12 | 基山町 | 行政 | 市町村 | 基山町 | 町定例議会に「基山町空き缶等の散乱防止及び環境美化に関する条例（ポイ捨て条例）」を提案 | 環境保全 | 条例制定 | 基山町 |
| 22 | 94.03.17 | 相知町まちづくりセミナー実行委員会（1985年発足） | 市民 | 市民 | 相知町 | 「相知町まちづくりセミナー」開催（昨年、中間報告をした町全体を「屋根のない博物館」とする構想を説明し、意見交換） | 歴史的遺産 | セミナー | 相知町 |
| 23 | 94.03.17 94.03.23 | 有明町産業課 | 行政 | 市町村 | 有明町 | 「花も嵐も踏み越えて」と題し「第4回有明町まちづくり講演会」開催 | 文化 | 講演会 | 有明町 |
| 24 | 94.03.18 | 北方町商工会 | 疑似行政 | 商工会議所等 | 北方町 | まちおこしについて考える「地域活性化研修会」開催 | 全般 | セミナー | 北方町 |
| 25 | 94.03.19 | 佐賀市、市環境保健推進協議会 | 行政 | 市町村 | 佐賀市 | ごみ問題をテーマにした「環境にやさしい市民の集い」開催 | 環境保全 | 交流会 | 佐賀市 |
| 26 | 94.03.19 94.03.20 | 多久市 | 行政 | 市町村 | 多久市 | 商店街の活性化を目指す「多久市商店街活性化シンポ」開催 | 商店街活性化 | シンポ | 多久市 |
| 27 | 94.03.19 94.03.23 | 牛津町 | 行政 | 市町村 | 牛津町 | 商店街の活性化を目指す「街づくりシンポ牛津」開催 | 商店街活性化 | シンポ | 牛津町 |
| 28 | 94.03.29 | 佐賀地区広域市町村圏協議会（16市町村で1970年に結成） | 行政 | 市町村 | 佐賀地区 | 一部事務組合設立を目指す佐賀地区広域市町村圏協議会の臨時総会開催 | 広域行政 | 会議・委員会 | 佐賀市、多久市、佐賀郡、小城郡、神埼郡の一部 |
| 29 | 94.03.29 | 白石町企画開発課 | 行政 | 市町村 | 白石町 | 「街づくりシンポジウムーリフレッシュ白石町商店街」開催 | 商店街活性化 | シンポ | 白石町 |
| 30 | 94.03.30 | 巖木町 | 行政 | 市町村 | 巖木町 | 農家のやる気を育てるため、「ふるさと農業活性化促進基金」設置 | 産業振興 | 事業・制度 | 巖木町 |
| 31 | 94.04.03 | 佐賀県 | 行政 | 県 | 佐賀県 | 障害者や高齢者が公共的な施設を利用しやすくするため、施設整備に対して助成する県の「ひとにやさしいまちづくり整備事業」に申込殺到 | 保健・福祉 | 施設・設備 | 佐賀県 |
| 32 | 94.04.07 | 日本建築士連合会 | 疑似行政 | 団体 | 全国 | 「有田のまちづくり」をテーマに「第2回まちづくり塾」開催（昨年開始） | 住居・建物 | セミナー | 有田町 |
| 33 | 94.04.07 | 九州電力佐賀営業所 | 疑似行政 | 企業 | 佐賀市 | 魅力あるまちづくりに役立ててと、佐賀市と佐賀市社会福祉協議会にコンサート益金46万円贈る | 全般 | イベント | 佐賀市 |
| 34 | 94.04.16 | フォーラム大町 | 市民 | 市民 | 大町町 | フォーラム大町が、まちおこしグループが活発に活動している熊本県小国町を視察 | 全般 | 交流会 | 大町町 |
| 35 | 94.04.27 | 高知青年会議所、高知のまちづくりを考える会 | 疑似行政, 市民 | 商工会議所等, 市民 | 高知県 | 住民参加型のまちづくりを考えようと「わくわくワークショップ全国交流会」開催（於高知県） | 市民参加 | 研究会 | 全国 |
| 36 | 94.04.30 | 武雄市建築関連協議会（武雄市内建築業者90社） | 疑似行政 | 団体 | 武雄市 | 武雄市建築関連協議会の設立総会開催（92,93年度に市内の事務所等が県快適建築賞の知事賞を2年連続受賞したことが契機） | 都市景観 | 組織づくり | 武雄市 |

| No. | 掲載日 | 主体団体名 | 主体団体 | | | 内 容 | 分野 | 形態 | 対象地域名 |
|-----|----------|---|------|--------|------------|--|-------|--------|--------------------|
| | | | 大区分 | 中区分 | 小区分 | | | | |
| 37 | 94.05.10 | 唐津土建工業 | 疑似行政 | 企業 | 唐津市 | 市のまちづくり基金に会社設立50周年を記念して唐津市に3百万円寄付 | 全般 | 実践活動 | 唐津市 |
| 38 | 94.05.13 | 個人：畳店経営 | 市民 | 市民 | 大町町 | 村山畳店、同工場、町商工会館で200種類のバラが見頃（6年前から趣味で、まちづくりの一環になれば） | 環境保全 | 実践活動 | 大町町 |
| 39 | 94.06.01 | 玄海町まちづくり事業準備委員会 | 行政 | 市町村 | 玄海町 | 原発誘致によるまちづくりから新しいまちおこしの方策を検討している玄海町まちづくり事業準備委員会が初年度事業の報告書をまとめた | 総合計画等 | 会議・委員会 | 玄海町 |
| 40 | 94.06.03 | 県まちづくり推進実行委員会。佐賀新聞社など後援 | 行政 | 県 | 佐賀県 | 「まちづくり月間」小中学生、高校生のポスター・作文コンクールの審査実施 | 全般 | コンクール | 佐賀県 |
| 41 | 94.06.09 | まちづくり文化講演会実行委員会（県など） | 行政 | 県 | 佐賀県 | 地域の家作り、町づくりについて「第12回県まちづくり文化講演会」開催（於佐賀市） | 住居・建物 | 講演会 | 佐賀県 |
| 42 | 94.06.17 | 中原町商工会 | 疑似行政 | 商工会議所等 | 中原町 | 町全体の活性化を踏まえた商業集積構想をまとめ、「まちづくりがパシフィック」開催 | 産業振興 | 意見交換 | 中原町 |
| 43 | 94.06.23 | ランチ佐賀さかえ会 | 疑似行政 | 企業 | 佐賀市 | 「地方の時代のまちづくり」と題し、ランチ佐賀さかえ会の6月例会開催 | 全般 | セミナー | 佐賀市 |
| 44 | 94.06.23 | 伊万里市 | 行政 | 市町村 | 伊万里市 | 地域の歴史や文化を見つめ直し、町づくりに活かすきっかけにと市が提唱する「伊万里学」を学ぶ「伊万里塾」の合同開塾式（市内全域に12塾ある） | 文化 | セミナー | 伊万里市 |
| 45 | 94.06.25 | 建設省 | 行政 | 国 | 建設省 | 唐津市の唐津城址保存事業が魅力あるまちづくりと評価され、建設大臣表彰受賞（まちづくり月間に合わせて実施、12回目） | 歴史的遺産 | コンクール | 唐津市 |
| 46 | 94.06.27 | 県身体障害者団体連合会 | 疑似行政 | 団体 | 佐賀県 | 「県身障者福祉大会」開催（於佐賀市） | 保健・福祉 | 大会 | 佐賀県 |
| 47 | 94.06.28 | 鹿島市 | 行政 | 市町村 | 鹿島市 | 鹿島市、市制40周年で「市勢要覧」を改訂（特集：桑原市長とALT、各団体代表らのまちづくり座談会、市内7小学校の子供達の夢など4企画） | 情報・通信 | PR | 鹿島市 |
| 48 | 94.07.03 | 佐賀県 | 行政 | 県 | 佐賀県 | 「見つめなおそう、ふるさと佐賀を」をテーマに「'94県青年会議」開催（於富士町） | 全般 | 会議・委員会 | 佐賀県 |
| 49 | 94.07.05 | みよぎ会 | 市民 | 市民 | 有明町 | ショッピングタウン「サンパーク」駐車場にのり船の廃船寄贈 | 産業振興 | 施設・設備 | 有明町 |
| 50 | 94.07.05 | 個人：酒店経営（フォーラム大町所屬） | 市民 | 市民 | 大町町 | 「若者に発表の場を」とロックコンサート開催 | 文化 | イベント | 大町町 |
| 51 | 94.07.07 | 県公民館連合会など | 行政 | 県 | 佐賀県 | 「いま公民館が燃えるとき・生涯学習の拠点として」を大会テーマに「第40回県公民館研究大会」開催（於嬉野町） | 生涯学習 | 大会 | 佐賀県 |
| 52 | 94.07.10 | 佐賀女子短大 | 疑似行政 | 企業 | 佐賀市 | 活力ある地方文化の創造について考えるシンポジウム「遠くへトーク、文化佐賀んウエイ」開催（於佐賀市） | 文化 | シンポ | 佐賀市 |
| 53 | 94.07.13 | 健康文化都市協議会（厚生省「健康文化と快適な暮らしのまち創造プラン事業」のモデル自治体を中心、鳥栖市など16市町） | 行政 | 市町村 | 鳥栖市他全国16市町 | 「健康」をテーマにしたまちづくりを進める自治体同士の連携を深めようと「健康文化都市協議会」が結成 | 保健・福祉 | 組織づくり | 鳥栖市、京都市、新発田市、南国市など |
| 54 | 94.07.15 | 鳥栖市企画課 | 行政 | 市町村 | 鳥栖市 | 2年ぶり「市勢要覧」を発行（内容：「人、物、情報が集まる魅力ある町づくり」として進めているプロサッカー・ホームタウン誘致など） | 情報・通信 | PR | 鳥栖市 |

| No. | 掲載日 | 主体団体名 | 主体団体 | | | 内 容 | 分野 | 形態 | 対象地域名 |
|-----|----------|--|---------|--------|----------|---|--------|---------|-------------|
| | | | 大区分 | 中区分 | 小区分 | | | | |
| 55 | 94.07.24 | 日本青年会議所 | 疑似行政 | 商工会議所等 | 全国 | 「今こそ、始めよう！地球市民と市手の行動を！」をテーマに「サマーコンファレンス」開催（於東京都） | 国際交流 | 会議・委員会 | 全国 |
| 56 | 94.07.24 | 個人：築炉業者（まちづくり委員会所属） | 市民 | 市民 | 山内町 | 町のシンボル・黒髪山の魅力をアピールして地域活性化につなげたいと、手づくりパン工房「水炎花」オープン | 産業振興 | 実践活動 | 山内町 |
| 57 | 94.07.28 | 鳥栖市社会福祉協議会 | 行政 | 市町村 | 鳥栖市 | 福祉全般のニーズをつかむ事業を展開（専門相談事業「ふれあいまちづくり事業」など） | 保健・福祉 | 事業・制度 | 鳥栖市 |
| 58 | 94.08.03 | 中原町商工会 | 疑似行政 | 商工会議所等 | 中原町 | 消費者の率直な意見を聞こうと町内に「目安箱」設置 | 商店街活性化 | 政策提言 | 中原町 |
| 59 | 94.08.03 | 上峰町商工会 | 疑似行政 | 商工会議所等 | 上峰町 | 今春「明日のまちづくりをめざして」と題した報告書作成 | 全般 | 政策提言 | 上峰町 |
| 60 | 94.08.07 | フォーラム三日月などで行く実行委員会 | 市民 | 市民 | 三日月町 | コンサート「夏だ！祭だ！ツマグロだ」開催（まちづくり育成事業の助成） | 文化 | イベント | 三日月町 |
| 61 | 94.08.12 | 建設省 | 行政 | 国 | 建設省 | 予算概算要求の重点施策決定（21世紀モデルまちづくり地区」の整備を推進する） | 全般 | 計画・構想策定 | 全国 |
| 62 | 94.08.16 | 鹿島市、市内四漁協 | 行政、疑似行政 | 市町村、団体 | 鹿島市 | 「有明海の保全と活用」をテーマにシンポジウム開催 | 環境保全 | シンポ | 鹿島市 |
| 63 | 94.08.16 | 朝日町まちづくり推進会。佐賀新聞社など後援 | 市民 | 市民 | 武雄市 | 「朝日川フェスタ・すいすいハンギー大会」開催（町づくりコミュニティ事業費でハンギー製作） | スポーツ | イベント | 武雄市 |
| 64 | 94.08.21 | 伊万里市文化のまちづくり推進室 | 行政 | 市町村 | 伊万里市 | 海外派遣事業「グローバル伊万里」の参加者（今年は福祉と図書館のボランティア活動の研修）募集（ふるさと創生資金1億円の利子を活用し、地域の人材育成にと毎年開催） | 保健・福祉 | セミナー | 伊万里市 |
| 65 | 94.08.22 | まちづくり協議会（松浦町の各種団体でつくる） | 市民 | 市民 | 伊万里市 | 町の基幹産業の農業を軸に、住民にまちづくりを考えてもらうきっかけにと、講演会開催 | 産業振興 | 講演会 | 伊万里市 |
| 66 | 94.08.28 | 共同通信社 | 疑似行政 | 企業 | 県外 | 全国各地で福祉、環境保護などの活動をしている市民グループに、住民参加や地方分権についてのアンケート調査の結果まとまる | 市民参加 | 調査 | 全国 |
| 67 | 94.08.30 | 鳥栖市 | 行政 | 市町村 | 鳥栖市 | 一般会計補正予算案（町並み・まちづくり総合支援事業など） | 市街地再開発 | 事業・制度 | 鳥栖市 |
| 68 | 94.09.04 | ふるさと21健康長寿のまちづくり事業検討委員会 | 行政 | 市町村 | 伊万里市 | 厚生省「ふるさと21健康長寿のまちづくり事業」の指定を受け、市が元気なお年寄りに生きがいを与える拠点整備に向け回検討委員会を発足 | 保健・福祉 | 組織づくり | 伊万里市 |
| 69 | 94.09.06 | 唐津商工会議所 | 疑似行政 | 商工会議所等 | 唐津市 | 唐津商工会議所60周年記念式典開催（唐津らしい日常を見つめ直し、活気あるまちづくりを目指そうと「ニューカジュアル（新しい日常性）宣言」） | 生活 | 計画・構想策定 | 唐津市 |
| 70 | 94.09.13 | 県生活学校（女性で構成、県内21団体）・生活会議（県内7団体）連絡協議会など | 疑似行政 | 団体 | 佐賀県 | 「花いっぱい運動とまちづくり」をテーマに「第28回県生活学校・生活会議交流会」開催（毎年開催） | 環境保全 | 交流会 | 佐賀県 |
| 71 | 94.09.14 | 鳥栖市 | 行政 | 市町村 | 鳥栖市 | JR鳥栖駅前に花壇を設置【花と緑のまちづくり景観整備事業、本年度から5ヶ年計画】 | 環境保全 | 実践活動 | 鳥栖市 |
| 72 | 94.09.19 | 長崎街道ネットワークの会（6月に発足） | 市民 | 市民 | 福岡、佐賀、長崎 | 鎖国時代、海外の窓口だった長崎・出島から入った文化や世界情報を全国に伝え栄えた長崎街道を見直す「長崎街道シンポジウム」開催（於長崎市） | 歴史的遺産 | シンポ | 長崎県、佐賀県、福岡県 |
| 73 | 94.09.27 | 佐賀県 | 行政 | 県 | 佐賀県 | 21世紀を展望した河川整備のあり方をめぐって、行政と住民の意見交換会開催（於伊万里市） | 環境保全 | 意見交換 | 伊万里市 |

| No. | 掲載日 | 主体団体名 | 主体団体 | | | 内 容 | 分野 | 形態 | 対象地域名 |
|-----|----------------------|-----------------------------------|---------|--------|---------|---|-------|------|-------|
| | | | 大区分 | 中区分 | 小区分 | | | | |
| 74 | 94.09.29 94.10.02 | 伊万里市社会教育課 | 行政 | 市町村 | 伊万里市 | 「美しく住みよい自然環境づくり」をテーマに「伊万里学ゼミナール」の特別講演会開催（一般市民対象に初めて） | 環境保全 | 講演会 | 伊万里市 |
| 75 | 94.10.03 | 佐賀市など | 行政 | 市町村 | 佐賀市 | 清潔で美しいまちづくりを目指す「第4回市民一斉清掃の日」実施 | 環境保全 | 実践活動 | 佐賀市 |
| 76 | 94.10.04 | 山内町商工会 | 疑似行政 | 商工会議所等 | 山内町 | 「自ら考え、自らおこすまちづくり」をテーマに、討論会開催 | 市民参加 | 意見交換 | 山内町 |
| 77 | 94.10.05 | 県婦人団体連絡会など25の県内婦人団体でつくる同実行委員会 | 市民 | 市民 | 佐賀県 | 「ささやき、つぶやき、女性の時代」と題し講演会開催（於佐賀市） | 男女参画 | 講演会 | 佐賀県 |
| 78 | 94.10.09 | 武雄木曜会、武雄区など。佐賀新聞社など後援 | 市民 | 市民 | 武雄市 | 自然と人間の共生を学びあう「第5回木に会う日」開催 | 環境保全 | イベント | 武雄市 |
| 79 | 94.10.10 | わらび座を楽しむ会 | 市民 | 市民 | 唐津市 | 松の廃材を利用して、「わらび座」公演のチケットづくり（益金の一部は虹の松原基金に寄付する） | 環境保全 | イベント | 唐津市 |
| 80 | 94.10.12 | 佐賀市 | 行政 | 市町村 | 佐賀市 | 都市緑化月間にちなんで「小中学生のポスター展」と「花のまちづくり写真展」開催 | 環境保全 | イベント | 佐賀市 |
| 81 | 94.10.22 | 鳥栖市、鳥栖市文化連盟 | 行政,疑似行政 | 市町村,団体 | 鳥栖市 | 「第33回鳥栖市文化祭」開催（文化講演会「ぬむもりのまちづくり」など） | 文化 | 講演会 | 鳥栖市 |
| 82 | 94.10.23 | 神埼郡郵政まちづくり協議会（神埼郡内8郵便局） | 行政 | 国 | 郵政省 | 郵便貯金月間に合わせて「趣味の園芸教室」開催（昨年から、2回目） | 環境保全 | セミナー | 神埼郡 |
| 83 | 94.10.23 | 伊万里市 | 行政 | 市町村 | 伊万里市 | 「心豊かな長寿のまちづくり」をテーマに、高齢社会での地域の在り方や住民の役割を考えるシンポジウム開催（毎年開催） | 保健・福祉 | シンポ | 伊万里市 |
| 84 | 94.10.25 | 佐賀県 | 行政 | 県 | 佐賀県 | 佐賀のよさを再認識してもらおうと「ふるさとづくりフェア'94」開催（於有明町） | 全般 | イベント | 佐賀県 |
| 85 | 94.10.26 | 県、県住宅供給公社、佐賀新聞社など | 行政,疑似行政 | 県,企業 | 佐賀県 | 21世紀の住まいづくりをテーマに「県ゆとりある住生活推進シンポジウム」開催（於佐賀市） | 住居・建物 | シンポ | 佐賀県 |
| 86 | 94.10.30 | 唐津市 | 行政 | 市町村 | 唐津市 | 唐津藩400年祭記念式典で、唐津市と熊本県苓北町が姉妹都市締結式実施 | 広域行政 | 施策 | 唐津市 |
| 87 | 94.11.02 | 浜玉町 | 行政 | 市町村 | 浜玉町 | 自然や快適な住環境等から健康について考える「健康と文化のまちづくりフェア94」開催 | 保健・福祉 | イベント | 浜玉町 |
| 88 | 94.11.06 | 佐賀大学科学技術共同開発センター、佐賀県、佐賀産業技術情報センター | 行政 | 国,県 | 文部省、佐賀県 | 「暮らしと環境・エネルギー」をテーマに「科学技術公開講演会」開催（例年開催）（於佐賀市） | 生活 | 講演会 | 佐賀市 |
| 89 | 94.11.08 | 鳥栖市社会福祉協議会 | 行政 | 市町村 | 鳥栖市 | 福祉ボランティアを育てる「福祉入門教室」の参加者募集 | 保健・福祉 | セミナー | 鳥栖市 |
| 90 | 94.11.09 | 鳥栖市社会福祉協議会 | 行政 | 市町村 | 鳥栖市 | 高齢化社会の到来を前に、在宅福祉の担い手を育てる「ふれあい地域福祉講座」スタート【ふれあいのまちづくり事業、今年から】 | 保健・福祉 | セミナー | 鳥栖市 |
| 91 | 94.11.09 | 三田川町教育委員会 | 行政 | 市町村 | 三田川町 | 吉野ケ里遺跡を通して町の歴史文化を学んでもらう「第7回歴史講座」開催 | 歴史的遺産 | セミナー | 三田川町 |
| 92 | 94.11.21 | まちづくりセミナー実行委員会 | 市民 | 市民 | 相知町 | 「第5回まちづくり交流大会」開催（町民の目から見た今後の「相知」について意見交換） | 全般 | 交流会 | 相知町 |
| 93 | 94.11.23 | 佐賀県 | 行政 | 県 | 佐賀県 | 「福祉でまちづくり」と題して「あすの佐賀を創る県民運動県交流大会」開催（於佐賀市） | 保健・福祉 | 大会 | 佐賀県 |

| No. | 掲載日 | 主体団体名 | 主体団体 | | | 内 容 | 分野 | 形態 | 対象地域名 |
|-----|----------------------------------|--|------|--------|--------|--|--------|--------|---------|
| | | | 大区分 | 中区分 | 小区分 | | | | |
| 94 | 94.11.29 | 唐津市 | 行政 | 市町村 | 唐津市 | 景観保護か、福祉優先かの唐津城のEVA設置問題で、舞鶴公園にEVAを設置することに決定【高齢者・障害者にやさしいまちづくり事業】 | 保健・福祉 | 施設・設備 | 唐津市 |
| 95 | 94.11.30 | 佐賀市まちづくり課 | 行政 | 市町村 | 佐賀市 | 大和紡績跡地の愛称募集 | 市街地再開発 | 募集 | 佐賀市 |
| 96 | 94.12.04 | 鳥栖市田代地区社会福祉協議会 | 行政 | 市町村 | 鳥栖市 | 鳥栖市田代地区社会福祉協議会発足【ふれあいのまちづくり事業】 | 保健・福祉 | 組織づくり | 鳥栖市 |
| 97 | 94.12.13 | 県教育委員会 | 行政 | 県 | 佐賀県 | 「ボランティアのつどい」開催（生涯学習ボランティア養成講座で学んでいる高校生やお年寄りなどの連携を深める）（於佐賀市） | 保健・福祉 | 交流会 | 佐賀県 |
| 98 | 94.12.17 | グループS（白石町の若者グループ） | 市民 | 市民 | 白石町 | 社会福祉施設「めぐみ園」を慰問（於佐賀市） | 保健・福祉 | 実践活動 | 佐賀市 |
| 99 | 94.12.31 | 江北町と福富町の商工会青年部。ムラおこしグループ、農協青年部・婦人部後援 | 疑似行政 | 商工会議所等 | 江北、福富町 | 両町をつなぐ「新渡大橋」の開通をきっかけに、「新渡大橋開通記念ロードレース大会」の出場者募集 | スポーツ | コンクール | 江北町、福富町 |
| 100 | 95.01.03 | 佐賀県企画局生活文化課（佐賀市職員、旅館業者、イベント関係者、タウン誌編集者なども） | 行政 | 県 | 佐賀県 | 「佐賀を"おもしろいまち"にするために」をテーマにした「94企画交流会議」の報告書完成 | 総合計画等 | 会議・委員会 | 佐賀県 |
| 101 | 95.01.22 | 佐賀市ふれあいまちづくり課 | 行政 | 市町村 | 佐賀市 | 佐賀市の犬大和紡績跡地に、愛犬家に警告の大胆看板登場「見せかけでビニール袋やショベルを持って散歩している方！糞の後の始末をしてください」 | 環境保全 | 実践活動 | 佐賀市 |
| 102 | 95.01.22 | 相知町 | 行政 | 市町村 | 相知町 | 昨年の「町づくり交流会」で町民からさまざまな意見・要望が出たことから「町づくり懇談会」開催 | 全般 | 懇談会 | 相知町 |
| 103 | 95.01.23 | まちづくり事業実行委員会 | 行政 | 市町村 | 有明町 | 「有明町特産加工品コンクール」開催（最優秀賞は「いちごようかん」）（3ヶ年計画で特産品開発などのまちおこし事業を進めている） | 産業振興 | コンクール | 有明町 |
| 104 | 95.01.24 | 佐賀県 | 行政 | 県 | 佐賀県 | 「世界・炎（ほのお）博街かど花壇」設置（於鳥栖市）（同博覧会に向けた県民運動・ふるさと緑と花いっぱい運動）【市の花と緑のまちづくり景観事業】 | 環境保全 | 実践活動 | 鳥栖市 |
| 105 | 95.02.04 95.02.08 | 九州経済調査協会、九州電力 | 疑似行政 | 企業 | 県外 | 「21世紀の町づくりの夢ー明日の佐賀広域圏を考える」をテーマに「第10回九州まちづくりシンポジウム」開催 | 域内行政 | シンポ | 佐賀市 |
| 106 | 95.02.16 | 鹿島市、鹿島市教育委員会 | 行政 | 市町村 | 鹿島市 | 人生経験をまちづくり、活力維持に生かしてもらおうと「第3回65歳・盛年の集い」開催 | 保健・福祉 | 交流会 | 鹿島市 |
| 107 | 95.02.18 | 唐津地区精神保健協会、唐津保健所 | 行政 | 市町村 | 唐津市 | 「はぐくもう心の健康、まちづくり」をテーマに「第24回唐津地区精神保健大会」開催 | 保健・福祉 | 大会 | 唐津市 |
| 108 | 95.02.20 | 武雄まちなみ研究会など | 市民 | 市民 | 武雄市 | 「如蘭塾」設計者をしのぶ学習会「今なぜ遠藤新か」開催（歴史的遺産をまちづくりに同調和させるかなど） | 歴史的遺産 | セミナー | 武雄市 |
| 109 | 95.02.22 95.03.15 95.03.18 | 佐賀県立女性センター・生涯学習センター（アバンセ） | 行政 | 県 | 佐賀県 | アバンセ完成記念イベント（県生涯学習まちづくりフォーラムなど）（於佐賀市） | 生涯学習 | シンポ | 佐賀県 |
| 110 | 95.02.25 | 武雄市 | 行政 | 市町村 | 武雄市 | 平成7年度当初予算案発表（市文化会館と市庁舎へのエレベータ設置など福祉のまちづくりなど） | 保健・福祉 | 施設・設備 | 武雄市 |

| No. | 掲載日 | 主体団体名 | 主体団体 | | | 内 容 | 分野 | 形態 | 対象地域名 |
|-----|----------------------------------|--------------------------|---------|--------|----------|---|--------|--------|-------|
| | | | 大区分 | 中区分 | 小区分 | | | | |
| 111 | 95.03.03 95.03.30 | 唐津青年会議所 | 疑似行政 | 商工会議所等 | 唐津市 | 「唐松地域のまちづくり」を基本テーマに、まち未来について考える公開セミナー参加申込み受付(市長選出馬候補4氏の講演) | 域内行政 | セミナー | 唐津市 |
| 112 | 95.03.08 | 基山町教育委員会、基山町文化協会 | 行政 | 市町村 | 基山町 | 「子供にとって大事なもの」と題し、文化振興イベント「第5回基山文化のまちづくり講演会」開催 | 文化 | 講演会 | 基山町 |
| 113 | 95.03.11 | 国土庁 | 行政 | 国 | 総理府(国土庁) | 「人と水の共生」や「水を生かしたまちづくり」に成果を挙げている自治体に国土庁「水の郷(さと)」を認定(うち、神埼町の水車の里が認定) | 環境保全 | 事業・制度 | 基山町 |
| 114 | 95.03.11 | 国土庁 | 行政 | 国 | 総理府(国土庁) | 「人と水の共生」や「水を生かしたまちづくり」に成果を挙げている自治体に国土庁「水の郷(さと)」を認定(うち、佐賀市のとんぼ王国が認定) | 環境保全 | 事業・制度 | 佐賀市 |
| 115 | 95.03.12 95.03.15 | 佐賀新聞社 | 疑似行政 | 企業 | 鳥栖市 | 「大型店進出とまちづくり」をテーマに「鳥栖政経セミナー3月例会」開催 | 産業振興 | セミナー | 鳥栖市 |
| 116 | 95.03.15 95.03.17 | 唐津市都市計画課 | 行政 | 市町村 | 唐津市 | 「ふくおか・からつ・女性の目」をテーマに「まちづくり菜の花シンポジウム」開催 | 環境保全 | シンポ | 唐津市 |
| 117 | 95.04.02 | 自治省 | 行政 | 国 | 自治省 | 地方自治制度の大改革で、政令指定都市に準じた権限を持たせる「中核市」制度が施行 | 域内行政 | 事業・制度 | 全国27市 |
| 118 | 95.04.06 | 中原町商工会青年部 | 疑似行政 | 商工会議所等 | 中原町 | 「神社全体をひとつのギャラリーに」と綾部神社で風のギャラリー(町では新しいまちづくりとして「風」をテーマに取り組んでいる) | 歴史的遺産 | イベント | 中原町 |
| 119 | 95.04.06 | 特別養護老人ホーム真心の園、鳥栖市内婦人会 | 疑似行政,市民 | 民間,市民 | 鳥栖市 | 特別老人ホーム真心の園でお年寄りによる野外の会食会「ふれあいのまちづくり事業」 | 保健・福祉 | イベント | 鳥栖市 |
| 120 | 95.04.19 | 唐津市 | 行政 | 市町村 | 唐津市 | 市役所ーJR唐津駅を結ぶシンボルロード整備事業完成を記念してブロンズ像(市のまちづくり基金を利用) | 市街地再開発 | 施設・設備 | 唐津市 |
| 121 | 95.04.27 | 伊万里商店連合会(伊万里市中心商店街約140店) | 疑似行政 | 商店街 | 伊万里市 | 伊万里商店連合会の総会開催 | 商店街活性化 | 会議・委員会 | 伊万里市 |
| 122 | 95.04.29 95.06.08 95.06.21 | 佐賀新聞社など九州の7新聞社 | 疑似行政 | 企業 | 九州 | 「動きを作る」をテーマに、次代を担う九州の若手リーダーを育成する「'95九州平成義塾」開催(於佐賀市) | 担い手育成 | セミナー | 九州 |
| 123 | 95.05.09 | 伊万里市 | 行政 | 市町村 | 伊万里市 | 厚生省の「ふるさと21健康長寿のまちづくり」事業の指定を受け、施設整備計画がまとまる | 保健・福祉 | 施設・設備 | 伊万里市 |
| 124 | 95.05.09 95.05.15 | 日本青年会議所佐賀ブロック協議会 | 疑似行政 | 商工会議所等 | 佐賀県 | 「第21回佐賀ブロック協議会会員大会」で、演題「人が輝くまちづくり」で萩原さん(日本ふるさと塾主宰)が記念講演 | 担い手育成 | 講演会 | 有明町 |
| 125 | 95.05.13 | 特別養護老人ホーム真心の園 | 疑似行政 | 企業 | 鳥栖市 | 特別養護老人ホーム真心の園で、阿蘇猿まわし劇場公演「ふれあいまちづくり事業」 | 保健・福祉 | イベント | 鳥栖市 |
| 126 | 95.05.19 | 唐津市 | 行政 | 市町村 | 唐津市 | 「市民みんなで、やさしい活力あるまちづくり」をスローガンに、市長が直接市民からの意見を聞くホットライン「ふれあいテレホン」開設(tel72-3001) | 情報・通信 | 政策提言 | 唐津市 |
| 127 | 95.05.21 | 建設省 | 行政 | 国 | 建設省 | 震災に強いまちづくり構想の一環で、河川の水を消火用水として利用できる「階段護岸」を全国に設置 | 防災・防犯 | 施設・設備 | 全国 |
| 128 | 95.05.22 95.07.18 | 陶都有田青年会議所 | 疑似行政 | 商工会議所等 | 有田町 | 有田川の記録映画製作 | 環境保全 | 実践活動 | 有田町 |

| No. | 掲載日 | 主体団体名 | 主体団体 | | | 内 容 | 分野 | 形態 | 対象地域名 |
|-----|----------|----------------------------------|------|--------|----------|--|--------|---------|-----------|
| | | | 大区分 | 中区分 | 小区分 | | | | |
| 129 | 95.05.30 | 佐賀県 | 行政 | 県 | 佐賀県 | 県「地域づくり推進事業」に県内16事業を採択 | 全般 | 事業・制度 | 川添町、芦刈町など |
| 130 | 95.06.05 | 県まちづくり推進実行委員会、佐賀新聞社など後援 | 行政 | 県 | 佐賀県 | 「まちづくり月間」の小中学生ポスター・作文コンクール審査実施 | 全般 | コンクール | 佐賀県 |
| 131 | 95.06.05 | 唐津市 | 行政 | 市町村 | 唐津市 | 唐津市一般会計補正予算案（やさしいまちづくり事業費など） | 全般 | 事業・制度 | 唐津市 |
| 132 | 95.06.05 | 鳥栖歴史研究会 | 市民 | 市民 | 鳥栖市 | 「基肆養父の石像物を見る」を企画 [まちづくりと文化講座]（7年前から毎月実施） | 歴史的遺産 | イベント | 鳥栖市 |
| 133 | 95.06.17 | 神埼町企画課住みたいまちづくり係 | 行政 | 市町村 | 神埼町 | 料理を通して国際交流を楽しんでもらおうと「国際料理教室」開催 | 国際交流 | セミナー | 神埼町 |
| 134 | 95.06.17 | 国土庁 | 行政 | 国 | 総理府（国土庁） | 地震に強いまちづくりなど抜本的な災害対策の見直しを求めた「平成7年版防災白書」了承 | 防災・防犯 | 計画・構想策定 | 全国 |
| 135 | 95.06.18 | 佐賀県商工会青年部連合会 | 疑似行政 | 商工会議所等 | 佐賀県 | 「若い経営者の主張・杵藤地区大会」開催（於白石町） | 担い手育成 | 大会 | 杵藤地区 |
| 136 | 95.06.20 | 国土庁 | 行政 | 国 | 総理府（国土庁） | 地域づくり表彰に8候補（1984年から個性ある町づくりや村づくりに取り組んでいる優良団体を選んでいる） | 全般 | コンクール | 全国 |
| 137 | 95.06.21 | 唐津市 | 行政 | 市町村 | 唐津市 | まちづくりについて市民から幅広く意見を聞くため、新たに「街並み整備懇話会」（既存の「唐津城址保存懇話会」と「市まちづくり懇話会」を統合）設置 | 市議地再開発 | 交流会 | 唐津市 |
| 138 | 95.07.04 | 佐賀県立有田窯業大学校 | 行政 | 県 | 佐賀県 | 「町づくりと都市デザイン」と題して「第52回公開講座」開催 | 都市景観 | セミナー | 有田町 |
| 139 | 95.07.12 | 佐賀市兵庫校区社会福祉協議会 | 行政 | 市町村 | 佐賀市 | 「第1回介護教室」開催 | 保健・福祉 | セミナー | 佐賀市 |
| 140 | 95.07.16 | 鳥栖市社会福祉協議会 | 行政 | 市町村 | 鳥栖市 | 市内のボランティア団体会員の「宿泊研修交流会」開催 [ふれあいまちづくり] | 保健・福祉 | セミナー | 鳥栖市 |
| 141 | 95.07.18 | 二里町をなんとかしゅう会（町内の20～40代の若手で構成） | 市民 | 市民 | 伊万里市 | 「第3回有田川カワニバル」開催 | 環境保全 | イベント | 伊万里市 |
| 142 | 95.07.21 | 全国知事会 | 行政 | 県 | 全国都道府県 | 「全国知事会総会」開催（①地方分権推進計画の早期作成②災害に強いまちづくりなど25項目の要望を決めた）（於大分県別府市） | 広域行政 | 会議・委員会 | 全国都道府県 |
| 143 | 95.07.24 | 佐賀医科大学学生5人 | 疑似行政 | 企業 | 佐賀市 | 車椅子に乗って、JR佐賀駅周辺の福祉問題をチェック | 保健・福祉 | 施設・設備 | 佐賀市 |
| 144 | 95.07.25 | フォーラム鹿島。鹿島市教育委員会後援 | 市民 | 市民 | 鹿島市 | 「人が輝く心のまちづくり」の演題で、萩原さん（日本ふるさと塾主宰）の講演会開催 | 保健・福祉 | 講演会 | 鹿島市 |
| 145 | 95.07.27 | 堀越え問題研究会（佐賀大学の教官で構成） | 市民 | 市民 | 佐賀市 | 都市空間のあり方をまちづくりの視点から考察する「堀越え問題の公開研究会」開催 | 都市景観 | 政策提言 | 佐賀市 |
| 146 | 95.07.30 | 相知町役場職員（24歳未満の運転免許証取得者、男女14人で構成） | 行政 | 市町村 | 相知町 | 若者の交通事故防止を図るため、ヤングドライバークラブ結成 | 交通・安全 | 組織づくり | 相知町 |
| 147 | 95.08.08 | 政治倫理110番市民の会など市民グループ9団体 | 市民 | 市民 | 佐賀市 | 「市民&市議わいわいトーク」開催 | 域内行政 | 意見交換 | 佐賀市 |
| 148 | 95.08.08 | おはなし会・三日月（1984年発足） | 市民 | 市民 | 三日月町 | 発足10周年記念誌「子どもたちとともに」発行 | 文化 | PR | 三日月町 |

| No. | 掲載日 | 主体団体名 | 主体団体 | | | 内 容 | 分野 | 形態 | 対象地域名 |
|-----|----------------------|---|------|--------|--------------------|---|--------|--------|-------|
| | | | 大区分 | 中区分 | 小区分 | | | | |
| 149 | 95.08.19 95.08.21 | 朝日町まちづくり推進会、 佐賀新聞社など後援 | 市民 | 市民 | 武雄市 | 「第4回朝日川フェスタ・すいすいハンギング大会」開催 | スポーツ | イベント | 武雄市 |
| 150 | 95.08.22 | バリアフリーデザイン交流会（県内の医療、製造、行政の有志） | 市民 | 市民 | 佐賀県 | 「人に優しいものづくり」を当面のテーマに「バリアフリーデザイン交流会」結成 | 保健・福祉 | 交流会 | 佐賀県 |
| 151 | 95.08.25 | 建設省 | 行政 | 国 | 建設省 | 防災まちづくりを進めるため、既存建築物の耐震改修制度の新法案を提出 | 防災・防犯 | 事業・制度 | 全国 |
| 152 | 95.08.25 | 建設省 | 行政 | 国 | 建設省 | 災害に強いまちづくりを軸にした、1996年度予算の概算要求 | 防災・防犯 | 事業・制度 | 全国 |
| 153 | 95.09.01 | 北茂安町 | 行政 | 市町村 | 北茂安町 | 個性あるまちづくりをめざして、町花スイセンを活用した「水仙の里づくり」を計画（1986年に町花に決定、4年前から全都に球根を配布） | 環境保全 | 施策 | 北茂安町 |
| 154 | 95.09.05 | まちづくり協議会（伊万里市松浦町内の各種団体） | 市民 | 市民 | 伊万里市 | 住民自身がまちづくりに寄せる思いを交わそうと「公開討論会」開催 | 全般 | 意見交換 | 伊万里市 |
| 155 | 95.09.13 | 西日本文化協会 | 疑似行政 | 企業 | 県外 | 世界・ほのおの博覧会を機に、西日本文化協会月刊誌「西日本文化」で、有田町特集 | 情報・通信 | PR | 西日本 |
| 156 | 95.09.29 95.10.10 | 地域づくり団体佐賀県協議会杵藤広域部会（六角川・塩田川流域と有明海沿岸の28まちづくり団体で組織） | 行政 | 県 | 佐賀県 | ワークショップ「緑のまちづくり学」開催（6年前から開催している「木に会う日」とドッキング） | 環境保全 | 研究会 | 杵藤地区 |
| 157 | 95.10.04 | 唐津市 | 行政 | 市町村 | 唐津市 | 緑豊かな潤いのあるまちづくりを推進するため、緑花祭「花と緑がいっぱい祭」開催 | 環境保全 | イベント | 唐津市 |
| 158 | 95.10.04 | 三根町 | 行政 | 市町村 | 三根町 | まちづくり海外研修事業で20人が訪中 | 担い手育成 | セミナー | 三根町 |
| 159 | 95.10.08 95.10.13 | 鳥栖青年会議所 | 疑似行政 | 商工会議所等 | 鳥栖市 | 21世紀を見据えた街づくりとなる新しいものを見つけようと、10月例会を公開して「どげんすっかい 駅前ば...95」開催 | 市街地再開発 | シンポ | 鳥栖市 |
| 160 | 95.10.09 | B Rカンパニー | 市民 | 市民 | 鳥栖市 | 洋服や日用雑貨などのガレージセール開催（昨年に続き第2弾） | 環境保全 | イベント | 鳥栖市 |
| 161 | 95.10.10 | 埼玉県、国際環境自治体協議会/神奈川県、環境庁 | 行政 | 国、県 | 総理府(環境庁)、埼玉、神奈川県など | 各国の自治体が環境問題への取り組みを考える国際会議開催（於埼玉県、神奈川県） | 環境保全 | 会議・委員会 | 全国 |
| 162 | 95.10.14 | 三根町 | 行政 | 市町村 | 三根町 | 合併40周年を記念して「首都圏三根会」（仮称）設立準備 | 広域行政 | 組織づくり | 三根町 |
| 163 | 95.10.15 | 塩田塾 | 市民 | 市民 | 塩田町 | ふるさとの歴史を見つめ直し、地域づくりの指針を探る「塩田・志田焼フォーラム」開催 | 産業振興 | シンポ | 塩田町 |
| 164 | 95.10.18 | 佐賀県 | 行政 | 県 | 佐賀県 | 県と市町村の首長が健康づくり対策について意見交換する「健康のまちづくりサミット95」開催 | 保健・福祉 | 会議・委員会 | 佐賀県 |
| 165 | 95.10.21 | 浜玉町 | 行政 | 市町村 | 浜玉町 | 「健康と文化のまちづくりフェア95」開催 | 保健・福祉 | イベント | 浜玉町 |
| 166 | 95.10.30 | 佐賀いのちを大切にする会 | 市民 | 市民 | 佐賀市 | 胎児の小さな命を見つめ直し、生命尊重の社会づくりを目指す「佐賀いのちを大切にする会」の発足記念講演会開催（於佐賀市） | 保健・福祉 | 講演会 | 佐賀県 |
| 167 | 95.11.03 95.11.06 | 白石町 | 行政 | 市町村 | 白石町 | 「見よう・語ろう・わが郷土」をテーマに「生涯学習推進大会」開催 | 生涯学習 | 大会 | 白石町 |

| No. | 掲載日 | 主体団体名 | 主体団体 | | | 内 容 | 分野 | 形態 | 対象地域名 |
|-----|----------------------|---|------|--------|----------------|--|--------|--------|-----------------|
| | | | 大区分 | 中区分 | 小区分 | | | | |
| 168 | 95.11.09 | 伊万里市 | 行政 | 市町村 | 伊万里市 | 市政に対する住民の要望を受付ける「伊万里っ子ポスト」を市役所ロビーに設置 | 全般 | 施設・設備 | 伊万里市 |
| 169 | 95.11.15 | 県窯業技術センター | 行政 | 県 | 佐賀県 | 「やきもの・そのデザインの展開」をテーマに「有田国際やきものフォーラム95」開催（於有田町） | 産業振興 | シンポ | 佐賀県 |
| 170 | 95.11.16 | 佐賀大学金澤成保さん、デザイン工房「H20」を主宰するインテリア・プロデューサーの関光信也さん、建築家の山口美由起さん | 市民 | 市民 | 佐賀市 | 「暮らしとデザイン」をテーマに「まちづくりセミナー」開催（於佐賀市） | 文化 | セミナー | 佐賀県 |
| 171 | 95.11.17 | まちづくりセミナー実行委員会 | 市民 | 市民 | 相知町 | 「まちづくり交流大会」開催（美しい郷土づくりなどに貢献してきた人達を「まちづくり大賞」として独自に表彰） | 環境保全 | コンクール | 相知町 |
| 172 | 95.11.20 | 佐賀女性会議'95 | 市民 | 市民 | 佐賀県 | 「第4回世界女性会議」の成果を地域に結び付ける「佐賀女性会議'95」開催（就職と女性、農業と女性、まちづくりと女性など）（於佐賀市） | 男女参画 | 会議・委員会 | 佐賀県 |
| 173 | 95.11.22 | 中原町 | 行政 | 市町村 | 中原町 | 「風」をテーマに町のPRポスター作製 | 情報・通信 | PR | 中原町 |
| 174 | 95.12.12 | 海洋クラスター都市構想実現推進協議会（佐賀県、長崎県の4市17町1村） | 行政 | 市町村 | 佐賀長崎両県の4市17町1村 | 伊万里湾沿岸の両県にまたがる地域が機能分担しながら連携し広域経済圏づくりを目指す「海洋クラスター都市構想」の実現推進協議会の設立総会 | 広域行政 | 会議・委員会 | 佐賀県、長崎県の4市17町1村 |
| 175 | 95.12.13 | 唐津市 | 行政 | 市町村 | 唐津市 | 舞鶴公園のエレベーターの完成が遅れる（来年6月頃）【高齢者・障害者にやさしいまちづくり事業】 | 保健・福祉 | 施設・設備 | 唐津市 |
| 176 | 95.12.19 | 鳥栖市社会福祉協議会 | 行政 | 市町村 | 鳥栖市 | 目の不自由な人達を介護する「ガイドヘルパー養成講座」の修了式 | 保健・福祉 | セミナー | 鳥栖市 |
| 177 | 95.12.27 | 有明町まちづくり事業実行委員会 | 疑似行政 | 商工会議所等 | 有明町 | 特産品を生かした加工品コンクールの出品募集（3ヶ年計画でまちおこし事業推進中） | 産業振興 | コンクール | 有明町 |
| 178 | 95.12.27 | 肥前歴史街道いきいき道中推進協議会（長崎街道の沿線15市町、佐賀新聞社） | 疑似行政 | 団体 | 県内15市町村 | 長崎街道にスポットを当て、これからのまちづくりを探る「肥前歴史街道いきいき道中シンポジウム」開催（於佐賀市） | 歴史的遺産 | シンポ | 佐賀県 |
| 179 | 95.12.29 | 国土庁 | 行政 | 国 | 総理府(国土庁) | 芸術文化活動を通じてうるおいのある農村づくりをしようとして「芸術のかおる里づくり」調査を開始 | 文化 | 調査 | 全国 |
| 180 | 96.01.06 | 中原町 | 行政 | 市町村 | 中原町 | 「女性の視点を行政に活かそう」と女性ネットワーク事業スタート【県の補助を受けて】 | 男女参画 | 会議・委員会 | 中原町 |
| 181 | 96.01.07 | 伊万里市推進委員会（連絡：伊万里市文化のまちづくり推進室） | 行政 | 市町村 | 伊万里市 | 小中学生を対象に、ほのお博にちなんだポスター作品募集 | 文化 | 募集 | 伊万里市 |
| 182 | 96.01.09 | 鎮西町教育委員会など | 行政 | 市町村 | 鎮西町 | 男女を問わず自分の能力を発揮できる家庭づくりやまちづくりについて考えようと「女性と女性が気になる男性のための講演会」開催 | 男女参画 | 講演会 | 鎮西町 |
| 183 | 96.01.21 | 鳥栖市 | 行政 | 市町村 | 鳥栖市 | 「サンメッセ鳥栖」オープン後3ヶ月経過【国の定住拠点緊急整備事業（街並み・まちづくり総合支援事業）】 | 市街地再開発 | 施設・設備 | 鳥栖市 |
| 184 | 96.01.21 96.01.22 | 山内町 | 行政 | 市町村 | 山内町 | 「みんないきいき助け合い 心身ともに健康なまちづくり」をテーマに「山内町健康と福祉のつどい」開催 | 保健・福祉 | 交流会 | 山内町 |
| 185 | 96.01.23 | おはなし会・三日月 | 市民 | 市民 | 三日月町 | おはなしキャラバンの浜島さんを招き講演会開催【三日月町まちづくり事業】 | 文化 | 講演会 | 三日月町 |

| No. | 掲載日 | 主体団体名 | 主体団体 | | | 内 容 | 分野 | 形態 | 対象地域名 |
|-----|----------------------------------|--------------------------------------|---------|------------|---------|---|--------|---------|----------------------|
| | | | 大区分 | 中区分 | 小区分 | | | | |
| 186 | 96.01.23 96.01.28 | 有明町まちづくり事業委員会 | 疑似行政 | 商工会議所等 | 有明町 | 同町名を縁にネットワークを結び"有明町"を全国に広めるのが狙いで、「第1回九州4県有明町交流会～人・物・事が結ぶネットワーク有明」開催（於有明町） | 広域行政 | 会議・委員会 | 佐賀県、長崎県、熊本県、鹿児島県の有明町 |
| 187 | 96.01.24 | 中原町、中原町商工会 | 行政、疑似行政 | 市町村、商工会議所等 | 中原町 | 中原町と同商工会の「賀詞交換会」開催（初めて） | 文化 | イベント | 中原町 |
| 188 | 96.01.27 | 東松浦農業改良普及センターなど | 疑似行政 | 団体 | 東松浦郡 | 「第3回さわやか村づくり女性フォーラム」開催（各地で取り組むおいしい食の情報について意見交換） | 文化 | シンポ | 唐津市 |
| 189 | 96.01.27 | 相知町公共施設等整備計画推進委員会 | 行政 | 市町村 | 相知町 | 「相知町公共施設等整備計画推進委員会」設置、初会合 | 公共施設 | 組織づくり | 相知町 |
| 190 | 96.01.30 | 小城町 | 行政 | 市町村 | 小城町 | 「小城町教育講演会」と「まちづくり講演会」開催 | 環境保全 | 講演会 | 小城町 |
| 191 | 96.01.30 | 建設省、通産省 | 行政 | 国 | 建設省、通産省 | 衰退気味の中心商店街の再生策の調査開始(モデル都市を10箇所程度選択) | 商店街活性化 | 調査 | 全国 |
| 192 | 96.01.31 | 佐賀市都市宣言制定委員会 | 行政 | 市町村 | 佐賀市 | 佐賀市総合都市宣言を「いきいき人間都市宣言」に決定 | 保健・福祉 | 施策 | 佐賀市 |
| 193 | 96.02.03 | 鳥栖市社会福祉協議会 | 行政 | 市町村 | 鳥栖市 | 「第21回鳥栖市社会福祉大会」開催 | 保健・福祉 | 大会 | 鳥栖市 |
| 194 | 96.02.17 96.02.20 96.03.24 | フォーラム風 | 市民 | 市民 | 厳木町 | 「水を守る森づくり川づくり」をテーマに、水源地と水の消費者とが意見を交わす「第3回厳木町まちづくりシンポジウム」開催 | 環境保全 | シンポ | 厳木町 |
| 195 | 96.02.21 | 三田川町健康福祉フェスタ実行委員会（連絡：三田川町総合福祉保健センター） | 行政 | 市町村 | 三田川町 | 「広がれ健康と福祉」をキャッチフレーズに、町制施行30周年記念を兼ねた「第2回三田川町健康福祉フェスタ」開催 | 保健・福祉 | イベント | 三田川町 |
| 196 | 96.02.21 | 三根町、商工会青年部・婦人部などによる委員会 | 行政、疑似行政 | 市町村、商工会議所等 | 三根町 | 「町商業活性化報告書」まとめる（1998年オープンを目指して地域コミュニティーを備えた商業活性化地域を作り上げる計画） | 商店街活性化 | 計画・構想策定 | 三根町 |
| 197 | 96.02.22 | まちづくり佐賀 | 疑似行政 | 企業 | 佐賀市 | 県都・佐賀市の活性化を目指そうと、第三セクター「(株)まちづくり佐賀」発足 | 商店街活性化 | 組織づくり | 佐賀市 |
| 198 | 96.02.24 | 全国有線テレビ協議会 | 疑似行政 | 団体 | 全国 | 全国有線テレビ協議会の「中国・四国・九州地区のブロック会議」と研修会開催（於浜玉町） | 情報・通信 | セミナー | 中国、四国、九州 |
| 199 | 96.02.25 | 鳥栖駅周辺開発推進協議会 | 疑似行政 | 商店街 | 鳥栖市 | JR鳥栖駅西の京町と本鳥栖地区で「鳥栖駅西商店街」（仮称）結成準備 | 商店街活性化 | 組織づくり | 鳥栖市 |
| 200 | 96.02.28 | 北波多村 | 行政 | 市町村 | 北波多村 | 河童の里づくりを進める北波多村で、新たに河童の石像5体登場 | 文化 | 施設・設備 | 北波多村 |
| 201 | 96.02.29 | 唐津市 | 行政 | 市町村 | 唐津市 | 平成8年度一般会計予算案（高齢者施策の充実など福祉予算に重点を置いた「やさしいまちづくり」への方向性を示した） | 保健・福祉 | 事業・制度 | 唐津市 |
| 202 | 96.03.02 96.03.11 | J R九州唐津鉄道事業部 | 疑似行政 | 企業 | 相知町 | 「相知あじさいまつり」の主会場・見帰りの滝にアザサイ植栽（相知町はまちづくりの一環で、10万本のアザサイによるアザサイランドを目指している） | 環境保全 | 実践活動 | 相知町 |
| 203 | 96.03.07 | 企業メセナ連絡協議会（首都圏の約170者）呼びかけ | 疑似行政 | 企業 | 全国 | 文化活動を資金面などで支援する、地域の企業が中心になってつくる「メセナ」活動の交流を深めるのを目的に「全国メセナ組織連絡会」発足 | 文化 | 組織づくり | 全国 |
| 204 | 96.03.07 | 浜玉町 | 行政 | 市町村 | 浜玉町 | 特産のフルーツを生かして地域発展と農業振興を図る「フルーツランド構想」まとまる | 産業振興 | 計画・構想策定 | 浜玉町 |

| No. | 掲載日 | 主体団体名 | 主体団体 | | | 内 容 | 分野 | 形態 | 対象地域名 |
|-----|----------------------------------|-------------------------------------|------|--------|-----------|---|-------|---------|-------------|
| | | | 大区分 | 中区分 | 小区分 | | | | |
| 205 | 96.03.16 | 全国生涯学習まちづくり研究会さが事務局 | 市民 | 市民 | 佐賀市 | 情報化の中で女性の社会進出の支援になることを目的に「インターネットってなあに？」セミナー開催 | 男女参画 | セミナー | 佐賀市 |
| 206 | 96.03.20 | 佐賀市社会福祉協議会 | 行政 | 市町村 | 佐賀市 | 「ふれあいのまちづくり推進会議」開催（「ふれあいまちづくり事業」の指定が本年度で終了、96年度に限定した継続・新奇時牛王計画を検討） | 保健・福祉 | 会議・委員会 | 佐賀市 |
| 207 | 96.03.24 96.03.28 | 商工会や江北町などをつくる同シンポ実行委員会 | 疑似行政 | 団体 | 江北町 | 講演やパネル討議を通し、町の将来像を探る「地域づくりシンポジウム江北」開催（初めて） | 全般 | シンポ | 江北町 |
| 208 | 96.03.31 | 佐賀市教育委員会女性室 | 行政 | 市町村 | 佐賀市 | 女性だけの模擬議会実施「ウイメンズ政治ゼミナール」 | 男女参画 | 体験学習 | 佐賀市 |
| 209 | 96.03.31 96.04.25 96.04.28 | 文化財保存県協議会 | 疑似行政 | 団体 | 佐賀県 | 「佐賀ん町の街づくり」のテーマで3月公開講座開催（於佐賀市） | 市民参加 | セミナー | 佐賀市 |
| 210 | 96.04.02 | 北茂安町 | 行政 | 市町村 | 北茂安町 | 皿山地区を「観光の核に」と「第1回春まつり」開催（「町花・水仙によるまちづくり」とタイアップ） | 産業振興 | イベント | 北茂安町 |
| 211 | 96.04.03 | 「長崎街道ネットワークの会」（長崎市）呼び掛け | 市民 | 市民 | 福岡、佐賀、長崎県 | 広域的なネットワークを目指し「長崎街道まちづくり推進協議会」発足（旧長崎街道町づくり団体35グループ） | 歴史的遺産 | 組織づくり | 長崎県、佐賀県、福岡県 |
| 212 | 96.04.08 | 鳥栖市観光協会 | 行政 | 市町村 | 鳥栖市 | 「第9回とす弥生まつり」開催（安永田遺跡などの発掘で「古代のテクノポリス」と位置づけられ、まちづくりにもこれらの歴史を活かそうと始まった） | 歴史的遺産 | イベント | 鳥栖市 |
| 213 | 96.04.17 | 中原町 | 行政 | 市町村 | 中原町 | 「風の館」完成（「風」をテーマに新しいまちづくりを進める町の核となる施設） | 文化 | 施設・設備 | 中原町 |
| 214 | 96.04.17 | 脊振村広滝地区の住民 | 市民 | 市民 | 脊振村 | 「水仙の里づくり」で植えていた水仙が咲き始めた【県のグリーンいっぱい推進事業】 | 環境保全 | 実践活動 | 脊振村 |
| 215 | 96.04.17 | さざんか塾など | 市民 | 市民 | 東脊振村 | 東脊振バンブーオーケストラの竹楽器の製作開始（材料は村産の竹） | 文化 | 実践活動 | 東脊振村 |
| 216 | 96.04.18 | 佐賀青年会議所 | 疑似行政 | 商工会議所等 | 佐賀市 | 「もっと楽しいSaga教室」をメインテーマに、みんなで佐賀の街づくりを考える「21世紀ふるさと塾」受講者募集（例年開催、4回シリーズ）（於佐賀市） | 全般 | 募集 | 佐賀県 |
| 217 | 96.04.18 | 建設省 | 行政 | 国 | 建設省 | 住宅や道路の建設、河川改修などを行う際、計画地域内で発見された埋蔵文化財などの保存についての指針となる「文化政策大綱」づくりに着手 | 歴史的遺産 | 計画・構想策定 | 全国 |
| 218 | 96.04.28 | 長崎街道まちづくり推進協議会 | 市民 | 市民 | 広域 | 「長崎街道まちづくり推進協議会」設立記念フォーラム開催（於北九州市） | 歴史的遺産 | シンポ | 長崎県、佐賀県、福岡県 |
| 219 | 96.04.30 | 佐賀市、花とみどりの街づくり推進協議会 | 行政 | 市町村 | 佐賀市 | 佐賀市の自然と歴史に触れる「さが花とみどりの探検隊」実施 | 環境保全 | イベント | 佐賀市 |
| 220 | 96.05.01 | 中原町商工会青年部 | 疑似行政 | 商工会議所等 | 中原町 | 町に伝わる風伝説を基に歴史や史跡を紹介した物語「風が見た町」出版 | 歴史的遺産 | PR | 中原町 |
| 221 | 96.05.03 | 三日月町 | 行政 | 市町村 | 三日月町 | 生涯学習センター、図書館、ふれあい後援が一体となった「ドゥイング三日月」オープン【県の人にやさしいまちづくり整備指針】 | 生涯学習 | 施設・設備 | 三日月町 |
| 222 | 96.05.06 | 厳木町防犯推進協議会（95年3月に制定した町防犯推進条例を受けて発足） | 行政 | 市町村 | 厳木町 | 厳木町防犯推進協議会と防犯推進員の初会合（青少年の非行や自転車盗難などの防止に努め、明るいまちづくりを目指す） | 防災・防犯 | 会議・委員会 | 厳木町 |
| 223 | 96.05.15 | 佐賀新聞社 | 疑似行政 | 企業 | 佐賀市 | 「地域づくり～大山町の体験から」と題し、武雄・鹿島政経セミナー5月例会開催 | 全般 | セミナー | 武雄市、鹿島市 |

| No. | 掲載日 | 主体団体名 | 主体団体 | | | 内 容 | 分野 | 形態 | 対象地域名 |
|-----|----------------------------------|--|------|--------|-----------|--|--------|---------|------------|
| | | | 大区分 | 中区分 | 小区分 | | | | |
| 224 | 96.05.15 | 東脊振村商会など | 疑似行政 | 商工会議所等 | 東脊振村 | 健康と福祉のまちづくりを考える「第19回文化講演会」開催 | 保健・福祉 | 講演会 | 東脊振村 |
| 225 | 96.05.18 96.05.25 96.06.04 | 肥前歴史街道いきいき道中推進協議会(長崎街道の沿線15市町、佐賀新聞社)。佐賀県など後援 | 疑似行政 | 団体 | 県内15市町など | 「長崎街道－歴史を生かしたまちづくり」のテーマで「街道宿場シンポジウム」開催(3年掛かりで進めてきた「肥前歴史街道いきいき道中」の最終年度)(於中原町) | 歴史的遺産 | シンポ | 長崎街道沿線15市町 |
| 226 | 96.05.20 | 伊万里市 | 行政 | 市町村 | 伊万里市 | 海外派遣事業「グローバル伊万里」の参加者募集(「海外の女性や若者が暮らしやすいまちづくり」をテーマに女性が対象) | 担い手育成 | セミナー | 伊万里市 |
| 227 | 96.05.23 | 地域づくり団体佐賀県協議会 | 行政 | 県 | 佐賀県 | 地域づくり団体佐賀県協議会の総会(各団体が実施する地域再発見事業に助成制度を設けた)(於佐賀市) | 担い手育成 | 会議・委員会 | 佐賀県 |
| 228 | 96.05.29 | 産学官の検討委員会 | 行政 | 市町村 | 伊万里市 | 東アジアを睨んだ交易拠点を目指して動き出す伊万里湾開発に対応するため、地元独自のビジョンづくりに取り組む産学官の検討委員会の初会合 | 産業振興 | 計画・構想策定 | 伊万里市 |
| 229 | 96.06.04 | 佐賀県、市町村 | 行政 | 県、市町村 | 佐賀県、県内市町村 | 「ひとにやさしいまちづくり事業」の補助金制度の活用が広がっている(1992年度から) | 保健・福祉 | 事業・制度 | 佐賀県 |
| 230 | 96.06.05 | 県測量・設計業協会。佐賀県後援 | 疑似行政 | 団体 | 佐賀県 | 「人にやさしいまちづくりをめざして」を総合コンセプトに「第8回測量の日」記念技術講演会開催(於佐賀市) | 保健・福祉 | 講演会 | 佐賀県 |
| 231 | 96.06.06 | 佐賀県。佐賀新聞社など後援 | 行政 | 県 | 佐賀県 | 「県まちづくり文化講演会」開催(地域内で連携するまちづくりの構想、中心市街地復活へのプロセスなど)(於嬉野町) | 全般 | 講演会 | 佐賀県 |
| 232 | 96.06.12 | 北茂安町 | 行政 | 市町村 | 北茂安町 | 白石焼きの窯元が立ち並ぶ皿山地域一帯に「陶器のふるさと作り事業」を今夏から着手[観光開発事業] | 産業振興 | 施設・設備 | 北茂安町 |
| 233 | 96.06.12 | 鳥栖市観光協会 | 行政 | 市町村 | 鳥栖市 | 夏の恒例イベント「まつり鳥栖」の参加者募集 | 文化 | 募集 | 鳥栖市 |
| 234 | 96.06.13 96.06.15 | 佐賀新聞社 | 疑似行政 | 企業 | 佐賀市 | 「まちづくりと観光振興－伊万里・有田を中心に」をテーマに伊万里・有田政経セミナーの6月例会開催 | 産業振興 | セミナー | 伊万里市、有田町 |
| 235 | 96.06.18 | 神埼町企画課21未来づくり係 | 行政 | 市町村 | 神埼町 | 長期総合計画のメインテーマ「自然と歴史と未来がひびきあうまち...かんざき」にそった具体的なまちづくりの提案を募集 | 総合計画等 | 募集 | 神埼町 |
| 236 | 96.06.19 96.06.23 | 唐津青年会議所 | 疑似行政 | 商工会議所等 | 唐津市 | 広域行政の必要性をテーマにまちづくりの公開セミナー開催 | 域内行政 | セミナー | 唐津市 |
| 237 | 96.06.21 | 塩田リバーサイドショッピングセンター協同組合 | 疑似行政 | 商店街 | 塩田町 | 初の共同店舗を建設(塩田町が土地を貸す) | 商店街活性化 | 施設・設備 | 塩田町 |
| 238 | 96.06.23 | 塩田町 | 行政 | 市町村 | 塩田町 | 昭和初期の焼物製造の全工程をとどめる「志田陶磁器株式会社旧工場」整備保存へ[志田焼博物館整備事業] | 歴史的遺産 | 施設・設備 | 塩田町 |
| 239 | 96.06.26 96.06.28 | 佐賀新聞社 | 疑似行政 | 企業 | 佐賀市 | 「暮らしの舞台としてのまちづくり」をテーマに、唐津政経懇話会6月例会開催 | 生活 | セミナー | 唐津市 |
| 240 | 96.06.28 | 町内のあらゆる団体 | 疑似行政 | 複数の団体 | 太良町 | 町の基幹産業である農漁業を取り巻く環境が厳しい中、新たなまちづくりを考えようと「太良町まちおこし講演会」開催 | 産業振興 | 講演会 | 太良町 |
| 241 | 96.06.28 | 佐賀県まちづくり推進実行委員会 | 行政 | 県 | 佐賀県 | 「まちづくり月間」小中学生ポスター・作文コンクールの審査実施 | 全般 | コンクール | 佐賀県 |
| 242 | 96.06.28 96.06.28 | 武雄青年会議所 | 疑似行政 | 商工会議所等 | 武雄市 | 武雄青年会議所の創立30周年記念式典及び「心のネットワークをもつまちづくり」をテーマに記念講演会開催 | 保健・福祉 | 講演会 | 武雄市 |

| No. | 掲載日 | 主体団体名 | 主体団体 | | | 内 容 | 分野 | 形態 | 対象地域名 |
|-----|----------------------|--|---------|--------|----------|--|-------|---------|-------------|
| | | | 大区分 | 中区分 | 小区分 | | | | |
| 243 | 96.07.04 96.08.11 | 伊万里市社会福祉協議会 | 行政 | 市町村 | 伊万里市 | 障害者の立場で市街地をウォークリ-形式で歩く「まちななか探検隊」の参加者と運営を手伝うボランティアを募集（毎年開催の「福祉スクール」第3弾） | 保健・福祉 | セミナー | 伊万里市 |
| 244 | 96.07.10 | 神埼町 | 行政 | 市町村 | 神埼町 | 「自然と歴史と未来がひびきあうまち...かんざき」を基本テーマに第3次長期総合計画「ハーモニープラン」完成 | 総合計画等 | 計画・構想策定 | 神埼町 |
| 245 | 96.07.10 | 川副町企画課 | 行政 | 市町村 | 川副町 | 女性の積極的な町政への参画を促すため、町内在住の女性を対象にした「まちづくりセミナー」参加者募集 | 男女参画 | セミナー | 川副町 |
| 246 | 96.07.10 | 中原町企画振興課 | 行政 | 市町村 | 中原町 | 町のイメージキャラクターを募集 | 文化 | 募集 | 中原町 |
| 247 | 96.07.12 | 九州北部地域連携軸構想委員会、(財)九州地域産業活性化センター | 疑似行政 | 複数の団体 | 九州 | 九州北部地域連携軸のあり方や戦略を提案した「九州北部地域連携軸」報告書をまとめた | 域内行政 | 計画・構想策定 | 福岡県、佐賀県、長崎県 |
| 248 | 96.07.16 | 川副町 | 行政 | 市町村 | 川副町 | 住民の声をより町政に反映させようと町政懇談会「夢おこしネット96-みんなて集会」開催（町内3地区） | 市民参加 | 懇談会 | 川副町 |
| 249 | 96.07.17 96.07.23 | 県生涯学習センター・アバンセ | 行政 | 県 | 佐賀県 | 「生きがい発見、まちづくり」と題した「まちづくり講演会」開催（於佐賀市） | 生活 | 講演会 | 佐賀県 |
| 250 | 96.07.17 96.07.28 | 唐津市、港湾関係団体 | 行政,疑似行政 | 市町村,団体 | 唐津市 | 第4回唐津港まつり「海のカーニバルinからつ」開催 | 産業振興 | イベント | 唐津市 |
| 251 | 96.07.21 | 神埼町 | 行政 | 市町村 | 神埼町 | 「水と緑の環境フェスタ'96」開催（町は「水の郷」の認定を受け、水と緑をテーマにしたまちづくりをすすめている） | 環境保全 | イベント | 神埼町 |
| 252 | 96.07.21 | | 市民 | 市民 | 県外 | まちづくりにおける市民や行政の役割などを考える「地域ネットワークフォーラム」開催（於東京都） | 全般 | シンポ | 全国 |
| 253 | 96.07.24 | 基山町 | 行政 | 市町村 | 基山町 | 「第3次総合計画」策定（住民参加型まちづくり計画など6つの計画） | 総合計画等 | 計画・構想策定 | 基山町 |
| 254 | 96.07.24 | 脊振村社会福祉協議会 | 行政 | 市町村 | 脊振村 | 「老いを楽しく」と題し「第3回脊振村社会福祉大会」開催 | 保健・福祉 | 大会 | 脊振村 |
| 255 | 96.07.24 | 千代田町企画課 | 行政 | 市町村 | 千代田町 | 「第8回掘デーちよだ」開催 | 歴史的遺産 | イベント | 千代田町 |
| 256 | 96.07.24 | 伊万里ブルーの会（文化、情報、都市環境等の専門家5人） | 市民 | 市民 | 伊万里市 | 市政運営について、幅広い視点から提言する政策懇話会「伊万里ブルーの会」発足 | 域内行政 | 組織づくり | 伊万里市 |
| 257 | 96.07.24 | 鳥栖三養基地区BBS会（Big Brothers and Sisters movement） | 市民 | 市民 | 鳥栖市、三養基郡 | 「明るい社会づくり」をテーマに積極的に活動 | 全般 | 組織づくり | 鳥栖市、三養基郡 |
| 258 | 96.07.30 | 久保田町企画課 | 行政 | 市町村 | 久保田町 | 「太陽とみどりの町-あふれる清流とさわやかな緑のまちづくり」をテーマに「第4次総合計画」完成 | 総合計画等 | 計画・構想策定 | 久保田町 |
| 259 | 96.08.08 | 国土庁「MONO（もの）まちづくり」研究会 | 行政 | 国 | 総理府(国土庁) | 地場産業を核にした地方中小都市の活性化策などを示した報告書をまとめた | 産業振興 | 計画・構想策定 | 全国 |
| 260 | 96.08.14 96.08.17 | 太良シトラス会（太良町のミカン農家グループ） | 市民 | 市民 | 太良町 | ふるさとの財産を見直そうと「多良岳に学ぼう」という初のシンポジウム開催 | 環境保全 | シンポ | 太良町 |
| 261 | 96.08.18 96.08.26 | 肥前歴史街道いきいき道中推進協議会（県内の旧長崎街道沿線15市町、佐賀新聞社） | 疑似行政 | 団体 | 県内15市町など | 「長崎街道サミット」開催（3ヶ年事業の集大成）（於武雄市） | 歴史的遺産 | 会議・委員会 | 広域 |

| No. | 掲載日 | 主体団体名 | 主体団体 | | | 内 容 | 分野 | 形態 | 対象地域名 |
|-----|--|---|------|--------|--------------|---|--------|---------|--------------|
| | | | 大区分 | 中区分 | 小区分 | | | | |
| 262 | 96.08.21 | 文化庁 | 行政 | 国 | 文部省(文化庁) | 来年度から、内外の芸術家がある地域に一定期間滞在して創作活動を行う「芸術家村」の試みを支援 [アーティスト・イン・レジデンス事業] | 文化 | 事業・制度 | 国 |
| 263 | 96.08.25 | 同実行委員会（鹿島市議会、鹿島市など） | 行政 | 市町村 | 鹿島市 | 鹿島のまちづくりを考えようと「ふるさとづくり講演会」開催（初めて開催） | 全般 | 講演会 | 鹿島市 |
| 264 | 96.09.02 96.09.07 96.09.09 96.09.17 | 肥前歴史街道いきいき道中推進協議会（県内の旧長崎街道沿線15市町、佐賀新聞社） | 疑似行政 | 団体 | 県内15市町など | 「街道宿場シンポジウム」開催（「肥前歴史街道いきいき道中」の最終イベント）（於神埼町） | 歴史的遺産 | シンポ | 佐賀市、神埼町、千代田町 |
| 265 | 96.09.04 | 伊万里市 | 行政 | 市町村 | 伊万里市 | 海外派遣事業「グローバル伊万里」参加者への激励会（米国「女性や若者が暮らしやすいまちづくり」、欧州「地場産業の振興」） | 担い手育成 | セミナー | 伊万里市 |
| 266 | 96.09.08 | 長崎街道まちづくり推進協議会（旧長崎街道の地域づくり団体のネットワーク組織） | 市民 | 市民 | 福岡、佐賀、長崎県 | イベント列車「長崎街道“長崎奉行列車”」を企画 | 歴史的遺産 | イベント | 福岡県、佐賀県、長崎県 |
| 267 | 96.09.16 | 佐賀青年会議所（1956年10月佐賀市で創立） | 疑似行政 | 商工会議所等 | 佐賀市 | 佐賀JC創立40周年記念「佐賀JCオールメンバーの集い」開催 | 全般 | 交流会 | 佐賀市 |
| 268 | 96.09.17 | 有明町 | 行政 | 市町村 | 有明町 | 「緑あふれる明るい豊かなまちづくり」をテーマに「第3次総合計画」作成 | 総合計画等 | 計画・構想策定 | 有明町 |
| 269 | 96.09.17 | 大町町。佐賀新聞社など後援 | 行政 | 市町村 | 大町町 | 「第10回大町・長崎街道かごかき競争」のポスター完成 | 歴史的遺産 | イベント | 大町町 |
| 270 | 96.09.22 96.09.28 96.09.30 96.10.08 | 肥前歴史街道いきいき道中推進協議会（県内の旧長崎街道沿線15市町、佐賀新聞社） | 疑似行政 | 団体 | 県内15市町など | 「街道宿場シンポジウム」開催（於牛津町） | 歴史的遺産 | シンポ | 久保田町、牛津町、江北町 |
| 271 | 96.09.23 | 相知町 | 行政 | 市町村 | 相知町 | 萩（はぎ）園のハギ満開（相知町は花のまちづくりを進めている） | 環境保全 | 実践活動 | 相知町 |
| 272 | 96.09.23 | 伊万里市 | 行政 | 市町村 | 伊万里市 | 国内外で「伊万里」の名称を使った企業や飲食店の経営者らを集めた「世界伊万里さんネットワーク会議」開催（世界炎博開催を機に、初めて） | 広域行政 | 会議・委員会 | 全国 |
| 273 | 96.09.27 | 基山・鳥栖・中原ブロック推進委員会 | 行政 | 市町村 | 基山、鳥栖、中原ブロック | 「長崎街道まちづくりサミット」事業の基山・鳥栖・中原ブロック推進委員会初会合（於鳥栖市） | 歴史的遺産 | 会議・委員会 | 基山・鳥栖・中原ブロック |
| 274 | 96.10.01 | 佐賀市都市計画課 | 行政 | 市町村 | 佐賀市 | 「都市緑化月間」に合わせ、「花とみどりの街づくり推進協議会素岡井」開催 | 環境保全 | 会議・委員会 | 佐賀市 |
| 275 | 96.10.02 | 鳥栖商工会議所。佐賀県、鳥栖市後援 | 疑似行政 | 商工会議所等 | 鳥栖市 | 「生涯学習フェア」開催 | 生涯学習 | イベント | 鳥栖市 |
| 276 | 96.10.02 | 三瀬村 | 行政 | 市町村 | 三瀬村 | 村のコスモスロード見頃（コスモスロードづくりは、村花コスモスで村をいっぱいにしようと1986年から実施） | 環境保全 | 実践活動 | 三瀬村 |
| 277 | 96.10.02 | 神埼町 | 行政 | 市町村 | 神埼町 | 神崎駅北まちづくり（ハーモニータウン）の基本構想がまとまる | 市街地再開発 | 計画・構想策定 | 神埼町 |
| 278 | 96.10.04 | 多久市社会福祉協議会 | 行政 | 市町村 | 多久市 | 第7回ボランティア養成教室の開講式（半年間学ぶ） | 保健・福祉 | セミナー | 多久市 |

| No. | 掲載日 | 主体団体名 | 主体団体 | | | 内 容 | 分野 | 形態 | 対象地域名 |
|-----|--|--|------|--------|-----------|---|--------|---------|-------------|
| | | | 大区分 | 中区分 | 小区分 | | | | |
| 279 | 96.10.05 | 塩田町 | 行政 | 市町村 | 塩田町 | 「暮らし充実、誇りのもてるまちづくり」をスローガンに第3次総合計画を策定 | 総合計画等 | 計画・構想策定 | 塩田町 |
| 280 | 96.10.08 | 酒蔵通りを生かしたまちづくりに取り組む地元の若者らで組織する同実行委員会 | 市民 | 市民 | 鹿島市 | 「400年前の何番到来を呼び起こそう」と「スペインの夕べ」開催 | 文化 | イベント | 鹿島市 |
| 281 | 96.10.11 | 相知町商工会青年部 | 疑似行政 | 商工会議所等 | 相知町 | 商店街に活気を呼び戻そうと「コスモスフェスタ」開催 | 商店街活性化 | イベント | 相知町 |
| 282 | 96.10.24 | 世界地方都市十字路会議実行委員会 | 行政 | 市町村 | 世界10大都市 | 特色ある街づくりを実践している世界10都市による「リゾートを生かしたまちづくり」をテーマに「第5回世界地方都市十字路会議」開催（於宮崎市） | 産業振興 | 会議・委員会 | 全国 |
| 283 | 96.10.25 | 佐賀県 | 行政 | 県 | 佐賀県 | 県と市町村が健康施策などについて意見交換する「健康のまちづくりサミット96」開催（1994年から実施） | 保健・福祉 | 会議・委員会 | 佐賀県 |
| 284 | 96.10.26 | 佐賀新聞社 | 疑似行政 | 企業 | 佐賀市 | 「糞（ほのお）博の遺産を生かせ」と題して、伊万里・有田政経セミナー10月例会開催 | 文化 | セミナー | 伊万里市、有田町 |
| 285 | 96.10.27 | 川副町 | 行政 | 市町村 | 川副町 | 町内の女性が1日議員を務め、町執行部側も女性が答弁する「女性議会」実施（女性まちづくりセミナーの卒業論文） | 男女参画 | 体験学習 | 川副町 |
| 286 | 96.10.27 | 同運営協議会（地元竹内町の区長会など11団体） | 行政 | 市町村 | 武雄市 | 「世界・炎の博覧会」の記念事業として建設した世界最大級登り窯「飛龍窯」などがある「竹古場キルンの森公園」の運営協議会発足 | 文化 | 組織づくり | 武雄市 |
| 287 | 96.10.28 | 肥前歴史街道いきいき道中推進協議会 | 疑似行政 | 団体 | 県内15市町など | 「長崎街道宿場シンポジウム」開催（於北方町） | 歴史的遺産 | シンポ | 北方町、大町町、武雄市 |
| 288 | 96.11.02 | 塩田町 | 行政 | 市町村 | 塩田町 | 塩田町合併40周年記念式典開催 | 域内行政 | イベント | 塩田町 |
| 289 | 96.11.05 | 全国生涯学習フェスティバル実行委員会など（連絡：筑後市教育委員会社会教育課など） | 行政 | 市町村 | 筑後市など | これからの生涯学習とまちづくりの推進について研究協議する「全国生涯学習まちづくりサミット」開催（於筑後市など） | 生涯学習 | 会議・委員会 | 全国 |
| 290 | 96.11.06 | 自然と健康文化のまちづくり実行委員会（コメや野菜の無農薬栽培農家を含めた主婦ら） | 市民 | 市民 | 鳥栖市 | 「第2回健康セミナー」開催 | 保健・福祉 | セミナー | 鳥栖市 |
| 291 | 96.11.07 | 長崎街道ネットワークの会 | 市民 | 市民 | 福岡、佐賀、長崎県 | 長崎街道の史跡などをまとめた「平成ロマンの旅 長崎街道」の第3版を出版 | 歴史的遺産 | PR | 全国 |
| 292 | 96.11.09 | 相知町飲食業組合 | 疑似行政 | 商店街 | 相知町 | 相知町飲食業組合発足30周年記念式典 | 産業振興 | イベント | 相知町 |
| 293 | 96.11.09 | 佐賀県 | 行政 | 県 | 佐賀県 | 商業者と行政、消費者が一体となって取り組む商店街づくりをテーマに「商店街活性化セミナー」開催（於佐賀市） | 商店街活性化 | セミナー | 佐賀県 |
| 294 | 96.11.10 96.11.16 96.11.18 96.11.26 | 肥前歴史街道いきいき道中推進協議会 | 疑似行政 | 団体 | 県内15市町など | 「街道宿場シンポジウム in 嬉野」開催 | 歴史的遺産 | シンポ | 嬉野町、鹿島市、塩田町 |
| 295 | 96.11.14 | 佐賀県、佐賀県教育委員会など | 行政 | 県 | 佐賀県 | 「未知との出会い 人とのふれあい 学ぶ喜び新発見」をテーマに「第2回県生涯学習フェスタ」開催（於佐賀市） | 生涯学習 | イベント | 佐賀県 |
| 296 | 96.11.16 | 佐賀農業・農村むらぐるみ発展運動三養基実践本部 | 行政 | 市町村 | 三養基郡 | 農業の枠を超えて地域が一体となってまちづくりを進める「佐賀農業・農村むらぐるみ発展運動三養基実践本部」の第1回推進大会開催 | 産業振興 | 大会 | 三養基郡 |

| No. | 掲載日 | 主体団体名 | 主体団体 | | | 内 容 | 分野 | 形態 | 対象地域名 |
|-----|----------------------|--|------|--------|-----------------|---|--------|--------|------------------|
| | | | 大区分 | 中区分 | 小区分 | | | | |
| 297 | 96.11.18 | 長崎街道まちづくり推進協議会（旧長崎街道の地域づくり団体のネットワーク組織） | 市民 | 市民 | 福岡、佐賀、長崎県 | イベント列車「長崎街道“長崎牽行列車”」実施 | 歴史的遺産 | イベント | 福岡県、佐賀県、長崎県 |
| 298 | 96.11.19 96.11.24 | 大和全国連絡協議会（通称・まほろば連邦）／大和町商工観光課 | 行政 | 市町村 | 大和の名がつく全国12の自治体 | まちづくりについて意見交換を交わす「第8回まほろばサミット」開催（於大和町） | 全般 | 会議・委員会 | 「大和」と名がつく全国12自治体 |
| 299 | 96.11.21 | 相知町まちづくりセミナー実行委員会 | 市民 | 市民 | 相知町 | 「まちづくり交流大会」開催 | 環境保全 | 大会 | 相知町 |
| 300 | 96.11.22 | 国土庁 | 行政 | 国 | 総理府（国土庁） | 「第11回農村アメニティ・コンクール」で相知町が優秀賞受賞（東予賀街と千代田町が優良賞） | 環境保全 | コンクール | 全国 |
| 301 | 96.11.23 | フォーラム大町 | 市民 | 市民 | 大町町 | 「大町・長崎街道かこかき競争」開催（10周年） | 歴史的遺産 | イベント | 大町町 |
| 302 | 96.11.24 | 地域づくり団体県協議会杵島藤津地区会 | 行政 | 県 | 佐賀県 | まちづくりについての意見交換「杵藤サミット28」開催（於塩田町） | 担い手育成 | 会議・委員会 | 杵藤地区 |
| 303 | 96.11.27 | 相知町商工会婦人部 | 疑似行政 | 商工会議所等 | 相知町 | 「第1回花のまち相知フラワーコンテスト」優秀作品決定 | 環境保全 | コンクール | 相知町 |
| 304 | 96.11.28 | 世界・爨（ほのお）博伊万里市推進委員会 | 行政 | 市町村 | 伊万里市 | 世界・爨（ほのお）博伊万里市推進委員会の解散総会 | 文化 | イベント | 伊万里市 |
| 305 | 96.11.28 96.12.01 | 佐賀県 | 行政 | 県 | 佐賀県 | 県観光のあり方をさまざまな角度から検討し、今後の展開に生かす「佐賀県観光シンポジウム」開催 | 産業振興 | シンポ | 佐賀県 |
| 306 | 96.12.06 | まちづくり佐賀 | 疑似行政 | 企業 | 佐賀市 | 「佐賀中央再開発ビル」の商業床のテナント募集説明会 | 商店街活性化 | 実践活動 | 佐賀市 |
| 307 | 96.12.10 | 武雄夢づくり実行委員会（武雄青年会議所が中心） | 市民 | 市民 | 武雄市 | 武雄温泉駅南口とJA武雄西川登支所前にイルミネーションを点灯 | 都市景観 | 施設・設備 | 武雄市 |
| 308 | 96.12.10 | まちづくり長崎街道会議（武雄市内の8民間団体で構成） | 市民 | 市民 | 武雄市 | 旧田代酒造母屋を武雄市が買収、保存する要望書を市長に提出 | 歴史的遺産 | 政策提言 | 武雄市 |
| 309 | 96.12.15 | 建設省武雄工事事務所 | 行政 | 国 | 建設省 | 管轄する有明海岸四工区の環境を生かした自然観察や住民憩いの場づくりを練る「有明海岸整備計画検討委員会」を発足 | 環境保全 | 施設・設備 | 有明町、福富町など |
| 310 | 96.12.28 | 多久市消防署 | 行政 | 市町村 | 多久市 | 「小型動力ポンプを備えた軽4輪駆動積載車を配置〔防災まちづくり事業、1994年度から〕 | 防災・防犯 | 施設・設備 | 多久市 |
| 311 | 97.01.06 97.01.15 | 伊万里市保健センター | 行政 | 市町村 | 伊万里市 | 「老人性痴ほう」をテーマに「第1回健康で幸福なまちづくり推進大会」開催 | 保健・福祉 | 大会 | 伊万里市 |
| 312 | 97.01.08 97.01.16 | 九州郵政局 | 行政 | 国 | 郵政省 | 旧長崎街道沿いに明治初期のポスト復元（県内は鳥栖市） | 歴史的遺産 | 施設・設備 | 福岡県、佐賀県、長崎県内4ヶ所 |
| 313 | 97.01.10 97.01.21 | 長崎街道まちづくり推進協議会（3県の商工関係者ら）。九州郵政局などが後援 | 市民 | 市民 | 福岡、佐賀、長崎県 | 長崎街道を地域の活性化に役立てようと「みせづくりはまちづくり」をテーマに「長崎街道まちづくりサミットin佐賀」開催 | 歴史的遺産 | 会議・委員会 | 福岡県、佐賀県、長崎県 |
| 314 | 97.01.11 | 鳥栖市教育委員会文化財係 | 行政 | 市町村 | 鳥栖市 | 「地域の歴史と文化を新しいまちづくりに生かそう」とスタートした「鳥栖のまちづくりと歴史文化講座」が好評 | 歴史的遺産 | セミナー | 鳥栖市 |
| 315 | 97.01.14 | 伊万里市 | 行政 | 市町村 | 伊万里市 | 市役所フロアに設置した点字ブロックに賛否両論（お年寄りなどが躓くなど） | 保健・福祉 | 施設・設備 | 伊万里市 |

| No. | 掲載日 | 主体団体名 | 主体団体 | | | 内 容 | 分野 | 形態 | 対象地域名 |
|-----|----------------------------------|--|----------|------------|------|--|--------|---------|-------|
| | | | 大区分 | 中区分 | 小区分 | | | | |
| 316 | 97.01.15 97.01.21 97.01.28 | 北方町商工会 | 疑似行政 | 商工会議所等 | 北方町 | 「今頑張らずにいつ頑張る」と題し、地域振興を目指した「北方町まちづくりシンポジウム」開催 | 担い手育成 | シンポ | 北方町 |
| 317 | 97.01.17 | 県豊かな長寿社会づくり推進本部（県庁の各部局で構成） | 行政 | 県 | 佐賀県 | 「県豊かな長寿社会づくり推進本部」の会議（長寿時代の担い手づくりの推進などを柱にした1997年度の取り組み方針を確認） | 保健・福祉 | 会議・委員会 | 佐賀県 |
| 318 | 97.01.18 | 建設省 | 行政 | 国 | 建設省 | 地震や火事の際に危険性が高い木造住宅の密集地などの再開発を促進する「密集市街地防災街区整備促進法案」を通常国会に提出 | 防災・防犯 | 事業・制度 | 全国 |
| 319 | 97.01.21 97.01.29 | 県企業メセナ協議会（県生活文化課） | 行政 | 県 | 佐賀県 | 「まちづくりと文化振興」と題し「文化講演会」開催 | 文化 | 講演会 | 佐賀県 |
| 320 | 97.01.24 | 西唐津商店街振興組合 | 疑似行政 | 商店街 | 唐津市 | 建物の景観統一を図る「唐津市西唐津地区建築協定書」作成 | 都市景観 | 条例制定 | 唐津市 |
| 321 | 97.01.28 | 夢風、山内町商工会有志 | 疑似行政, 市民 | 商工会議所等, 市民 | 山内町 | 古代米の黒米を使った酒「黒髪米酒」づくり計画（町内の景勝地・黒髪山にちなんで命名） | 産業振興 | 実践活動 | 山内町 |
| 322 | 97.01.28 | 浜玉町 | 行政 | 市町村 | 浜玉町 | ファッションでまちづくりをと「97デコ・スガイ浜玉ファッションショー」開催（7回目） | 文化 | イベント | 浜玉町 |
| 323 | 97.01.28 97.02.11 | まちづくり長崎街道・柄崎宿会議（8民間団体で構成） | 市民 | 市民 | 武雄市 | 旧長崎街道沿いの新町界隈の保存方法を論議する「まちづくりワークショップ・新年に新町を考える会」開催 | 歴史的遺産 | 研究会 | 武雄市 |
| 324 | 97.01.31 | 鳥栖市 | 行政 | 市町村 | 鳥栖市 | 鳥栖市宿町に200年以上伝わる「鉦（かね）浮立」が市の重要無形民俗文化財に指定 | 文化 | 条例制定 | 鳥栖市 |
| 325 | 97.01.31 | 鳥栖市社会福祉協議会 | 行政 | 市町村 | 鳥栖市 | 「第22回鳥栖市社会福祉大会」開催 | 保健・福祉 | 大会 | 鳥栖市 |
| 326 | 97.02.03 | 厳木町 | 行政 | 市町村 | 厳木町 | 「第3次総合計画」策定（若者定住促進や旧産炭地区再開発など6つの柱からなる「風のシンフォニープロジェクト」） | 総合計画等 | 計画・構想策定 | 厳木町 |
| 327 | 97.02.04 | フォーラム鹿島（主要4団体：商工会青年部、青年会議所、農協青年部、七青会（七浦地区の若者組織）） | 市民 | 市民 | 鹿島市 | フォーラム鹿島が組織改革（従来の団体主導型から個人々の能力を活用する個人中心の組織へ） | 全般 | 組織づくり | 鹿島市 |
| 328 | 97.02.06 | 佐賀県立唐津商業高校 | 行政 | 県 | 佐賀県 | まちづくりや観光戦略、福祉などをテーマに取り組んできた3年生の課題研究発表会 | 生涯学習 | 政策提言 | 唐津市 |
| 329 | 97.02.15 97.02.18 | フォーラム風 | 市民 | 市民 | 厳木町 | 「地域づくりは人づくりから」をテーマに教育問題について意見を交わす「第4回きゅうらぎ町まちづくりシンポジウム」開催 | 教育 | シンポ | 厳木町 |
| 330 | 97.02.16 | 鹿島市 | 行政 | 市町村 | 鹿島市 | 65歳以上の市民を対象にした「第5回盛年の集い」開催 | 保健・福祉 | 交流会 | 鹿島市 |
| 331 | 97.02.20 | 伊万里市社会福祉協議会など | 行政 | 市町村 | 伊万里市 | 住民自身が福祉を担うきっかけづくりにと「福祉入門教室」開催 | 保健・福祉 | セミナー | 伊万里市 |
| 332 | 97.02.20 97.02.23 97.03.11 | 武雄商工会議所青年部 | 疑似行政 | 商工会議所等 | 武雄市 | 公開例会「どがんする 北部市街地」開催（武雄市は温泉を中心に旧長崎街道をよみがえらせるまちづくり機運が盛り上がっている） | 市街地再開発 | セミナー | 武雄市 |
| 333 | 97.02.21 | 富士町 | 行政 | 市町村 | 富士町 | 「ダムを活かしたまちづくり」をテーマに、恒例の「村づくり集会97一夜なべ小屋で大いに語ろう会」開催 | 環境保全 | 交流会 | 富士町 |

| No. | 掲載日 | 主体団体名 | 主体団体 | | | 内 容 | 分野 | 形態 | 対象地域名 |
|-----|----------|--|---------|--------|-----------|---|--------|-------|--------------------------|
| | | | 大区分 | 中区分 | 小区分 | | | | |
| 334 | 97.02.23 | 佐賀県 | 行政 | 県 | 佐賀県 | 中山間地域の活性化の方向を探る「視点と知恵を活かした農山村（むら）づくりシンポジウム」開催【県中山間地域農業・農村活性化ビジョン】 | 産業振興 | シンポ | 佐賀県 |
| 335 | 97.02.25 | 松浦川21世紀構想検討委員会（建設省武雄工事事務所が設置） | 行政 | 国 | 建設省 | 松浦川整備構想まとまる（自然環境の保全・再生、水辺空間の整備などを進め、5～10年後を目標に「安心して夢あふれる川づくり」を目指す） | 環境保全 | 施策 | 松浦川の下流・中流・上流と支流の徳須恵川、巖木川 |
| 336 | 97.02.27 | 武雄市議会高架・北部市街地調査特別委員会 | 行政 | 市町村 | 武雄市 | 武雄温泉駅周辺鉄道高架・区画整理事業で、市が提示した約8ha縮小見直し案に対する市民の声を聞く「街づくり意見交換会」開催 | 市街地再開発 | 意見交換 | 武雄市 |
| 337 | 97.02.28 | 自治省 | 行政 | 国 | 自治省 | フォーラム大町（かごかき競争）（地域づくり団体部門、1994年から全国の10団体に限り選定）と武雄市（ケーブルテレビ）（優良情報化公共団体部門）に自治大臣表彰 | 全般 | コンクール | 大町町、武雄市など |
| 338 | 97.03.01 | 唐津市 | 行政 | 市町村 | 唐津市 | 自分達の住む町を再発見する「歩こう会」実施（於唐津市半田）【農村アメニティ・アドバイザー派遣事業（国土庁）】 | 環境保全 | イベント | 唐津市 |
| 339 | 97.03.09 | 武雄市 | 行政 | 市町村 | 武雄市 | 「福祉のまちづくり宣言」（1995年）をした武雄市で事業進む | 保健・福祉 | 施策 | 武雄市 |
| 340 | 97.03.11 | 唐津市、JR唐津鉄道事業部 | 行政,疑似行政 | 市町村,企業 | 相知町 | 10万本のアジサイランドづくりを目指して、見帰りの滝周辺にアジサイ1,200本植栽 | 環境保全 | 実践活動 | 相知町 |
| 341 | 97.03.12 | 山本地区街創りコンペティション実行委員会（唐津市、JR唐津鉄道事業部） | 疑似行政 | 団体 | 唐津市 | JR山本駅の利用が多い唐津工業高校の生徒に、まちづくりのアイデアを募り、入賞者を表彰 | 全般 | 募集 | 唐津市 |
| 342 | 97.03.12 | 西有田町 | 行政 | 市町村 | 西有田町 | 「球界の英雄たち・スポーツマンシップと個性」をテーマに「まちづくり講演会」開催 | スポーツ | 講演会 | 西有田町 |
| 343 | 97.03.13 | 嬉野町 | 行政 | 市町村 | 嬉野町 | 町民の声を町政に繁栄させようと「百人委員会」を新年度に発足（町内34行政区全てで町民との懇談会を開いた町長の発案） | 市民参加 | 組織づくり | 嬉野町 |
| 344 | 97.03.16 | 警察官を励ます会多久支部 | 疑似行政 | その他 | 多久市 | 明るく住みよいまちづくりに貢献した警察官に感謝状（毎年） | 防災・防犯 | コンクール | 多久市 |
| 345 | 97.03.16 | 長崎街道まちづくり推進協議会（著者：河島悦子・旧長崎街道をあるく会代表・福岡市） | 市民 | 市民 | 福岡、佐賀、長崎県 | 「伊能図」を基に旧長崎街道の道筋を現代の地図に完全に再現した「伊能図で甦（よみがえ）る古（いにしえ）の夢・長崎街道」刊行 | 歴史的遺産 | PR | 福岡県、佐賀県、長崎県 |
| 346 | 97.03.17 | 呼子町 | 行政 | 市町村 | 呼子町 | 咲き誇るスイセンを見ながら島内を散策する「加部島水仙郷ウォークラリー」開催（町は2年前から3万球の水仙を植えて花のまちづくりを進めている） | 環境保全 | イベント | 呼子町 |
| 347 | 97.03.17 | ふくし佐賀（さと）づくりの会 | 市民 | 市民 | 佐賀市 | 障害者や高齢者に優しいバリアフリーのまちづくりを目指す「ふくし佐賀（さと）づくりの会」の発起人会 | 保健・福祉 | 組織づくり | 佐賀県 |
| 348 | 97.03.18 | 日本生涯教育学会中国・四国・九州支部 | 疑似行政 | 団体 | 中国、四国、九州 | 「第16回中国・四国・九州地区生涯学習実践研究交流会」での発表グループ募集（地域で生涯学習・社会教育の実践やユニークな「まちづくり」「ひとづくり」に取り組む人々の自主的な交流会の場） | 生涯学習 | 交流会 | 中国・四国・九州 |
| 349 | 97.03.19 | 鳥栖市観光協会 | 行政 | 市町村 | 鳥栖市 | 「第10回とす弥生まつり」開催（安永田遺跡などの発掘で「古代のテクノポリス」と位置づけられ、まちづくりにもこれらの歴史を活かそうと始まった） | 歴史的遺産 | イベント | 鳥栖市 |

| No. | 掲載日 | 主体団体名 | 主体団体 | | | 内 容 | 分野 | 形態 | 対象地域名 |
|-----|----------------------|--------------------------------|------|--------|------|--|--------|-------|-------------------|
| | | | 大区分 | 中区分 | 小区分 | | | | |
| 350 | 97.03.20 | 佐賀市環境基本計画策定委員会 | 行政 | 市町村 | 佐賀市 | 環境基本計画最終案まとまる（環境版「マスタープラン」で、今後のまちづくりなどの施策の指針になる） | 環境保全 | 施策 | 佐賀市 |
| 351 | 97.03.20 | 西有田町 | 行政 | 市町村 | 西有田町 | 新年度から5カ年計画で「文化のまちづくり事業」に取り組む（「やきもの」「稲作文化」「アジア」がテーマで、住民参加のまちづくりを展開する） | 文化 | 事業・制度 | 西有田町 |
| 352 | 97.03.20 | 佐賀県 | 行政 | 県 | 佐賀県 | 2月定例県議会高齢者福祉推進特別委員会で、県が「福祉のまちづくり条例」（仮称）を新たに制定する考えを明らかにした | 保健・福祉 | 条例制定 | 佐賀県 |
| 353 | 97.03.23 | 唐津青年会議所 | 疑似行政 | 商工会議所等 | 唐津市 | 「地域（まち）の未来を考えよう」をテーマに「第3回まちづくり公開セミナー」開催（年1回） | 全般 | セミナー | 唐津市 |
| 354 | 97.03.23 | 佐賀県、囊の博覧会実行委員会 | 行政 | 県 | 佐賀県 | 博覧会閉会後の地域づくりを考える「世界・囊（ほのお）の博覧会シンポジウム」開催（於佐賀市） | 文化 | シンポ | 佐賀県 |
| 355 | 97.03.26 | 北波多村 | 行政 | 市町村 | 北波多村 | 西九州自動車道に連結するアクセス道周辺の村中央部の開発計画を進める中で、住民の意向を取り入れようと、住民にアンケート調査 | 総合計画等 | 調査 | 北波多村 |
| 356 | 97.03.29 | 三根町地域商業ビジョン実現化委員会（委員長・納富政宏町助役） | 行政 | 市町村 | 三根町 | 第3セクター方式の「街づくり会社」設立し、新たに商業集積の核となるショッピングセンターを建設する方針を決めた | 商店街活性化 | 施策 | 三根町 |
| 357 | 97.04.04 | 佐賀郵政まちづくり懇話会 | 疑似行政 | 団体 | 佐賀県 | 住民の声をくみ上げ、今後の郵政事業に繁栄しようと「佐賀郵政まちづくり懇話会」開催（於佐賀市） | 国政 | セミナー | 佐賀県 |
| 358 | 97.04.08 | 鳥栖コンベンションシティ委員会（会長・中富博隆、85人） | 行政 | 市町村 | 鳥栖市 | 鳥栖市に提言書を提出（福岡との広域視野に立った行政サービスの実施や積極的な情報公開を求めるなど9項目） | 産業振興 | 政策提言 | 鳥栖市 |
| 359 | 97.04.08 | 中原町観光協会 | 行政 | 市町村 | 中原町 | 町の四季や伝統芸能を素材にした「絵はがき」と「テレホンカード」を製作 | 文化 | PR | 中原町 |
| 360 | 97.04.08 | CRNきたはた（会長・堤幸久、25人） | 市民 | 市民 | 北波多村 | 休耕田を活用した菜の花園4.3haが満開（5年目） | 環境保全 | 実践活動 | 北波多村 |
| 361 | 97.04.12 97.04.18 | 佐賀青年会議所（理事長・竹富公次）の呼び掛け | 疑似行政 | 商工会議所等 | 佐賀市 | 民間の立場から広域行政について考える「新しい佐賀を考える住民会議」設立（座長・古賀稔治/窓の梅酒造社長、21人） | 域内行政 | 組織づくり | 佐賀市、佐賀郡、小城郡、神埼郡など |
| 362 | 97.04.15 | 大串ふるさとカンパニー（代表・田中薫） | 市民 | 市民 | 富士町 | 恒例「ふうそう祭り」（ふうそうは地元のことでレンゲのこと）の参加者募集 | 環境保全 | イベント | 富士町 |
| 363 | 97.04.18 97.04.20 | 共産党鳥栖市委員会 | 行政 | 国 | 政党 | 鳥栖のまちづくりを考えるシンポジウム開催 | 全般 | シンポ | 鳥栖市 |
| 364 | 97.04.20 | 西有田町 | 行政 | 市町村 | 西有田町 | 田植唄アジアフェスティバル10年の歩みを記録した記念誌「アジアの風」（A4版、23頁）を製作 | 文化 | イベント | 西有田町 |
| 365 | 97.04.20 97.04.28 | れんげ塾（会長・福田静雄） | 市民 | 市民 | 西有田町 | 「第3回これがれんげ草祭97」開催（レンゲ草は町花、田植え時期の早期化などで姿を消しつつあるれんげ草を蘇らそうと） | 環境保全 | イベント | 西有田町 |
| 366 | 97.04.22 | 芦刈町 | 行政 | 市町村 | 芦刈町 | 電子案内板と有明海の珍しい生態の標本18体を役場玄関口に設置【知られざるふるさと芦刈インフォメーション事業】 | 情報・通信 | 施設・設備 | 芦刈町 |
| 367 | 97.04.26 | 佐賀市 | 行政 | 市町村 | 佐賀市 | 佐賀市街角りポーターと佐賀市長の懇談会（街角りポーター制度は1992年から、女性15人を公募） | 全般 | 懇談会 | 佐賀市 |

| No. | 掲載日 | 主体団体名 | 主体団体 | | | 内 容 | 分野 | 形態 | 対象地域名 |
|-----|----------------------------------|---------------------------------------|------|--------|----------|---|-------|---------|---------------|
| | | | 大区分 | 中区分 | 小区分 | | | | |
| 368 | 97.04.30 | 佐賀市、花とみどりの街づくり推進協議会 | 行政 | 市町村 | 佐賀市 | 市内を散策しながらふるさとのよさを再発見する「さが花とみどりの探検隊」開催 | 環境保全 | イベント | 佐賀市 |
| 369 | 97.05.04 | 芦刈町 | 行政 | 市町村 | 芦刈町 | 芦刈町制30周年記念式典開催 | 域内行政 | イベント | 芦刈町 |
| 370 | 97.05.04 | 屋根のない博物館（館長・佐伯岳歩、13人） | 市民 | 市民 | 相知町 | 相知町のまちづくりを考える「屋根のない博物館」ホームページ開設 http://www2.saganet.ne.jp/benk/yanel.htm | 情報通信 | 施設・設備 | 相知町 |
| 371 | 97.05.10 | 多久市商工観光課 | 行政 | 市町村 | 多久市 | 定住人口の増加を目的に造成してた住宅団地「メイプルタウン北原」完成、分譲申込受付開始 | 住居・建物 | 施設・設備 | 多久市 |
| 372 | 97.05.19 | 三田川町企画課 | 行政 | 市町村 | 三田川町 | 欧州を視察する海外派遣団員募集（まちづくり、福祉、農業などの仕組みを見学）【人材育成事業】 | 担い手育成 | セミナー | 三田川町 |
| 373 | 97.05.19 | 佐賀市道路課（建設省依頼） | 行政 | 市町村 | 佐賀市 | JR佐賀駅周辺でバリアフリー点検実施 | 保健・福祉 | 施設・設備 | 佐賀市 |
| 374 | 97.05.23 | 相知町 | 行政 | 市町村 | 相知町 | 花のあるまちづくり事業「フラワーおうち21」開始（本年度から、アジサイやコスモスで知名度アップを進める） | 環境保全 | 実践活動 | 相知町 |
| 375 | 97.05.26 | 唐津市身障者福祉協会 | 疑似行政 | 団体 | 唐津市 | 「第15回唐津市身体障害者福祉大会」開催 | 保健・福祉 | 大会 | 唐津市 |
| 376 | 97.05.26 | 佐賀セラミックロード車いすマラソン大会実行委員会。佐賀新聞社など後援 | 市民 | 市民 | 西有田町 | 「佐賀セラミックロード車いすマラソン大会97」開催 | 保健・福祉 | 大会 | 西有田町 |
| 377 | 97.06.01 | 文化庁 | 行政 | 国 | 文部省（文化庁） | 西有田町「舞（ほのお）と音のシンフォニー事業（本年度から）」が文化庁「文化のまちづくり事業」に認定（1996年度から、県内で初めて） | 文化 | 事業・制度 | 西有田町など全国10市町村 |
| 378 | 97.06.03 | 佐賀中央第一地区市街地再開発組合、まちづくり佐賀 | 疑似行政 | 商店街,企業 | 佐賀市 | 「商店街活性化のための人づくり講話」開催（佐賀市白山の再開発ビルのオープンを来春に控え、中心商店街全体の活性化についての意見交換） | 担い手育成 | 意見交換 | 佐賀市 |
| 379 | 97.06.03 | 個人：唐津市新興町東島吉隆さん | 市民 | 市民 | 唐津市 | 父の遺志を受け230万円寄付（唐津市まちづくり基金200万円、同市福祉基金30万円） | 保健・福祉 | 実践活動 | 唐津市 |
| 380 | 97.06.08 | 県商工会連合会、県商工会青年部連合会 | 疑似行政 | 商工会議所等 | 佐賀県 | 「県若い経営者の主張・三神地区大会」開催（青年部活動の充実と部員の資質向上を目的、毎年開催） | 担い手育成 | 大会 | 三神地区 |
| 381 | 97.06.10 | 屋根のない博物館（館長・佐伯岳歩、13人） | 市民 | 市民 | 相知町 | あじさいまつりに合わせて、広報紙「滝とあじさい」発行 | 環境保全 | PR | 相知町 |
| 382 | 97.06.12 97.06.14 97.06.22 | 県まちづくり推進実行委員会 | 行政 | 県 | 佐賀県 | 「県まちづくり文化講演会—風土とまちづくり」開催（於佐賀市） | 全般 | 講演会 | 佐賀県 |
| 383 | 97.06.13 | 西有田町、西有田アジアフェスティバル実行委員会（連絡：西有田町生涯学習課） | 行政 | 市町村 | 西有田町 | アジアの生活文化や各国の抱える問題などを学んでアジアについて理解を深める公開講座「アジア生活文化大学校」開校【文化のまちづくり事業】 | 文化 | セミナー | 西有田町 |
| 384 | 97.06.14 | 北波多村振興対策審議会（会長・脇山義行、30人） | 行政 | 市町村 | 北波多村 | 村中央部振興計画をまとめた | 総合計画等 | 計画・構想策定 | 北波多村 |
| 385 | 97.06.15 | 佐賀県商工会青年部連合会 | 疑似行政 | 商工会議所等 | 佐賀県 | 「若い経営者の主張・杵藤地区大会」開催 | 担い手育成 | 大会 | 杵藤・藤津郡 |
| 386 | 97.06.19 | 佐賀県まちづくり推進実行委員会。佐賀新聞社など後援 | 行政 | 県 | 佐賀県 | 「まちづくり月間」小中学生ポスター・作文コンクールの審査 | 全般 | コンクール | 佐賀県 |

| No. | 掲載日 | 主体団体名 | 主体団体 | | | 内 容 | 分野 | 形態 | 対象地域名 |
|-----|--|----------------------------------|------|--------|-------|---|--------|--------|-------|
| | | | 大区分 | 中区分 | 小区分 | | | | |
| 387 | 97.06.25 | 萌 | 市民 | 市民 | 佐賀市 | 「今時の政治と女性」と題した住民の政治意識に関する調査結果まとまる（「女のネットワークさが例会」で詳しく報告する） | 男女参画 | 調査 | 佐賀市 |
| 388 | 97.06.28 | まちづくり協議会 | 行政 | 市町村 | 江北町 | よりよいまちづくりを目指し、一般市民が知恵を出し合う「まちづくり協議会」初会合（12回実施） | 市民参加 | 会議・委員会 | 江北町 |
| 389 | 97.07.04 | 佐賀新聞社 | 疑似行政 | 企業 | 佐賀市 | 「21世紀に支持される勝ち残る商店街とは－内外事情に見る魅力あるまちづくり－」と題して「唐津政経懇話会七月例会」再生 | 商店街活性化 | セミナー | 唐津市 |
| 390 | 97.07.04 | 佐賀県公民館連合会など | 行政 | 市町村 | 県内市町村 | 「公民館活動とまちづくり」をテーマに「県公民館研究大会」開催（於三日月町） | 生活 | 大会 | 佐賀県 |
| 391 | 97.07.10 | 武雄商工会議所青年部 | 疑似行政 | 商工会議所等 | 武雄市 | 武雄温泉駅周辺鉄道高架・区画整理事業を考える「公開例会」開催 | 市街地再開発 | 研究会 | 武雄市 |
| 392 | 97.07.13 97.07.18 97.07.20 97.08.03 | 有田町、自治省など | 行政 | 市町村 | 有田町 | 世界・炎の博開催1周年を記念した「潤いのあるまちづくりシンポジウム」開催 | 文化 | シンポ | 有田町 |
| 393 | 97.07.17 | まちづくり佐賀 | 疑似行政 | 企業 | 佐賀市 | エスプラッツ北側に併設する立体駐車場の起工式[国の補助事業] | 商店街活性化 | 施設・設備 | 佐賀市 |
| 394 | 97.07.22 | 肥前町商工会婦人部 | 疑似行政 | 商工会議所等 | 肥前町 | 肥前町万賀川の町道沿いに花の苗を植えた[花いっぱい運動事業] | 環境保全 | 実践活動 | 肥前町 |
| 395 | 97.07.22 | 山内町 | 行政 | 市町村 | 山内町 | 第3次町総合計画づくりに向けて「まちづくり夢・私の提案」募集 | 総合計画等 | 募集 | 山内町 |
| 396 | 97.07.22 | 河童共和国（九州の河童に関係する団体でつくる、24人） | 市民 | 市民 | 九州 | 河童共和国の河童芸術大賞に、北波多村かっぱ連邦笑和国代表・原田清人さんら10人が受賞（河童伝説を通して河川の環境を考えてきた） | 文化 | コンクール | 九州 |
| 397 | 97.07.26 | サガン鳥栖後援会 | 市民 | 市民 | 鳥栖市 | まつり鳥栖で、ミニFM局を開局（「サッカー」と「情報発信拠点」という市のまちづくりのテーマをミックス） | 情報通信 | イベント | 鳥栖市 |
| 398 | 97.07.31 | 西有田町企画情報課など。佐賀新聞社など後援 | 行政 | 市町村 | 西有田町 | アジア6ヶ国から農民らを招いて交流を深める「田植唄アジアフェスティバル97」開催[文化のまちづくり事業の柱として] | 国際交流 | イベント | 西有田町 |
| 399 | 97.08.06 97.08.12 | まちづくり・長崎街道柄崎宿会議（武雄市内の民間8団体で構成） | 市民 | 市民 | 武雄市 | まちづくりワークショップ「夏に温泉を考える会」開催 | 産業振興 | 研究会 | 武雄市 |
| 400 | 97.08.13 | アクティブ21文化部会（町の人づくり・まちづくり事業を推進する） | 行政 | 市町村 | 中原町 | 新図書館会館記念で開催する展示会「私の一冊」の原稿募集 | 文化 | イベント | 中原町 |
| 401 | 97.08.13 | フロンティア22 | 市民 | 市民 | 西有田町 | 地域の文化振興と住民交流を目的に「夏のあとさきコンサート97」開催（初めて） | 文化 | イベント | 西有田町 |
| 402 | 97.08.14 | 巖木町 | 行政 | 市町村 | 巖木町 | 巖木高美術部に依頼し、中島潔さんの「待ちぼうけ」の模写を道の駅巖木に展示「まちづくり事業」 | 文化 | 施設・設備 | 巖木町 |
| 403 | 97.08.15 | 自治省 | 行政 | 国 | 自治省 | 本年度のふるさと事業に、ポンポン井樋整備（佐賀市）など県内10事業が指定 | 環境保全 | 事業・制度 | 全国 |

| No. | 掲載日 | 主体団体名 | 主体団体 | | | 内 容 | 分野 | 形態 | 対象地域名 |
|-----|----------------------------------|--|-------------|--------------|------|---|--------|-------------|-------------|
| | | | 大区分 | 中区分 | 小区分 | | | | |
| 404 | 97.08.20 97.08.25 | 朝日町まちづくり推進会。 佐賀新聞社など後援 | 市民 | 市民 | 武雄市 | 「第5回朝日川フェスタ・すいすいハンギー大会」開催 | スポーツ | イベント | 武雄市 |
| 405 | 97.08.21 | 市町村クリエイター塾（三 重県の自治体職員の研修組 織） | 行政 | 市町村 | 三重県 | 三重県の自治体職員の研修組織がフォーラム鹿島にまちづく りのあり方などを学ぶ | 市民参加 | セミナー | 三重県、鹿島 市 |
| 406 | 97.08.21 | 鳥栖市社会福祉協議会 | 行政 | 市町村 | 鳥栖市 | 65歳以上の男性を対象にした「高齢者料理教室」開催〔ふれ あいのまちづくり事業、昨年度から〕 | 保健・福祉 | セミナー | 鳥栖市 |
| 407 | 97.08.24 | 通産省 | 行政 | 国 | 通産省 | 廃棄物を産業資源に有効利用し、ごみが出ないまちづくりを 目指す「エコタウン事業（本年度開始）」を来年度大幅に拡 充 | 環境保全 | 事業・制度 | 全国 |
| 408 | 97.08.28 | 佐賀県 | 行政 | 県 | 佐賀県 | 住宅施策の指針となる「県住宅マスタープラン」策定（県す まいづくりまちづくりセンター）（仮称）の設立構想など、 意見募集 http://www.pref.saga.jp/doboku/kenchiku/jyutaku.html | 住居・建物 | 計画・構想 策定 | 佐賀県 |
| 409 | 97.08.30 | 多久市。佐賀新聞社など後 援 | 行政 | 市町村 | 多久市 | 福祉サービスの向上と市民に健康で楽しい老後を過ごして もらおうと「第2回多久市健康づくり福祉交流大会」開催 | 保健・福祉 | 大会 | 多久市 |
| 410 | 97.09.04 97.09.07 97.09.21 | 佐賀県建築士会唐津支部 | 疑似行政 | 団体 | 唐津市 | 旧佐賀銀行唐津支店の保存と活用を考えるシンポジウム「歴 史を活かした街づくり」開催 | 歴史的遺産 | シンポ | 唐津市 |
| 411 | 97.09.06 | 佐賀県 | 行政 | 県 | 佐賀県 | 「さがふるさと未来塾」本年度第2回講座開催（1993年度か ら）（於中原町） | 全般 | セミナー | 佐賀県 |
| 412 | 97.09.07 | 西有田アジアフェスティバル 実行委員会（連絡：西有 田町企画情報課） | 行政 | 市町村 | 西有田町 | 唐津焼きの窯元などを訪れる「窯元体験ツアー」の参加者募 集〔文化のまちづくり事業〕 | 文化 | 募集 | 西有田町 |
| 413 | 97.09.07 | 二里町をなんとかしゆう会 など | 市民 | 市民 | 伊万里市 | 「第5回有田川カワニバル」開催 | 環境保全 | イベント | 伊万里市 |
| 414 | 97.09.09 | 佐賀県社会福祉士会 | 疑似行政 | 団体 | 佐賀県 | 「高齢者・障害者のまちづくりを考える」をテーマに公開講 座開催（於佐賀市） | 保健・福祉 | セミナー | 佐賀県 |
| 415 | 97.09.11 | 小城町 | 行政 | 市町村 | 小城町 | 小城出身の書聖・中林悟竹を顕彰するシンボルロード「梧竹 通り」の整備開始〔ふるさと事業〕 | 市議地再開発 | 施設・設備 | 小城町 |
| 416 | 97.09.13 | アクティブ21文化部会（町 の人づくり・まちづくり事 業を推進する） | 行政 | 市町村 | 中原町 | 新図書館落成記念イベント「私の一冊」展開催 | 文化 | イベント | 中原町 |
| 417 | 97.09.18 | 嬉野町 | 行政 | 市町村 | 嬉野町 | 住民参加のまちづくりを目指す「嬉野町21まちづくり委員 会」発足（委員100人） | 市民参加 | 組織づくり | 嬉野町 |
| 418 | 97.09.19 | 中原町 | 行政 | 市町村 | 中原町 | 新庁舎核に「自治体ネットワーク事業」開始（郵政省の補 助、町の「情報の森」構想） | 情報・通信 | 施設・設備 | 中原町 |
| 419 | 97.09.20 97.09.23 | 地域づくり団体県協議会杵 藤広域部会、鹿島青年会議 所など | 行政、疑似行 政 | 県、商工会議 所等 | 杵藤地区 | 「ふるさとネットワークづくり交流会議」開催（初めて） （於鹿島市） | 広域行政 | 会議・委員 会 | 杵藤地区 |
| 420 | 97.09.28 | さが国際音楽祭実行委員会 | 行政 | 県 | 佐賀県 | 「97さが国際音楽祭」開催 | 文化 | イベント | 佐賀県 |
| 421 | 97.10.01 97.10.04 | 武雄商工会議所青年部（山 崎好行、43人） | 疑似行政 | 商工会議所 等 | 武雄市 | 発足10周年記念シンポジウム「在るものを磨くまちづくり～ 若者が描く北部市街地」開催 | 市街地再開発 | シンポ | 武雄市 |

| No. | 掲載日 | 主体団体名 | 主体団体 | | | 内 容 | 分野 | 形態 | 対象地域名 |
|-----|----------------------|---------------------------------|------|--------|-----------|---|--------|---------|-----------------|
| | | | 大区分 | 中区分 | 小区分 | | | | |
| 422 | 97.10.02 | 川副町など | 行政 | 市町村 | 川副町 | 「第1回福祉・健康まちづくり」開催（昨年までの「福祉・健康まつり」を継承するイベント） | 保健・福祉 | イベント | 川副町 |
| 423 | 97.10.04 | 神埼町 | 行政 | 市町村 | 神埼町 | 町職員が各地域に出向き、住民の声を吸い上げる「第2回まちづくり懇談会」開催 | 市民参加 | 懇談会 | 神埼町 |
| 424 | 97.10.06 | 佐賀いのちを大切にす る会、ワン&オンリーの会 | 市民 | 市民 | 佐賀市 | 「今一度、家庭からの子どもの心育ちを！」をテーマに秋の地域講演会開催（於県内3会場） | 教育 | 講演会 | 佐賀県 |
| 425 | 97.10.07 | 中国・連雲港市長ら友好訪問団 | 行政 | 市町村 | 中国・連雲港市長ら | 徐福伝説を通じて交流のある中国・連雲港市長の友好訪問団が表敬訪問 | 文化 | 交流会 | 佐賀市、諸富町、中国・連雲港市 |
| 426 | 97.10.07 | 北波多村 | 行政 | 市町村 | 北波多村 | 村立病院に河童の似顔絵がついたスリッパ作製〔河童の里づくり〕 | 文化 | 施設・設備 | 北波多村 |
| 427 | 97.10.07 | フォーラム風 | 市民 | 市民 | 厳木町 | 町道厳木ダム線と道の駅そばに、ケイトウの花を植栽（フラワーロードづくりを目指す） | 環境保全 | 実践活動 | 厳木町 |
| 428 | 97.10.10 | 県内地方6団体でつくる同法施行50周年記念事業実行委員会 | 疑似行政 | 団体 | 県内地方6団体 | 地方自治法50周年記念「地方自治アカデミー」開催（於佐賀市） | 域内行政 | セミナー | 佐賀県 |
| 429 | 97.10.10 | 田中豊治・佐賀大教授ら | 市民 | 市民 | 佐賀市 | 「佐賀のまちづくりに関する住民意識調査」結果まとまる | 全般 | 調査 | 佐賀県 |
| 430 | 97.10.16 | 佐賀県 | 行政 | 県 | 佐賀県 | 知事と市町村長が意見交換する「健康のまちづくりサミット97」開催 | 保健・福祉 | 会議・委員会 | 佐賀県 |
| 431 | 97.10.17 | 3県の商工会議所など11団体が連携 | 疑似行政 | 商工会議所等 | 福岡、佐賀、長崎県 | 3県を結ぶ広域的な地域経済の活性化の在り方を検討する「長崎街道まちづくりサミット」開催（1996年度から）（於小城町） | 歴史的遺産 | 会議・委員会 | 福岡県、佐賀県、長崎県 |
| 432 | 97.10.21 | 佐賀県 | 行政 | 県 | 佐賀県 | 職員に分権時代の自治体改革の取組みを考えてもらおうと「地方分権・行政改革セミナー」開催（於佐賀市） | 広域行政 | セミナー | 佐賀県 |
| 433 | 97.10.25 | 佐賀県 | 行政 | 県 | 佐賀県 | 障害者や高齢者に配慮したまちづくりの実現を目指す「福祉のまちづくり条例」（仮称）2月議会に提出 | 保健・福祉 | 条例制定 | 佐賀県 |
| 434 | 97.10.26 | 武雄市議会高架・北部市街地調査特別委員会 | 行政 | 市町村 | 武雄市 | JR武雄温泉駅周辺の鉄道高架・区画整備事業について、計画区域内の住民と武雄市議会の意見交換会 | 市街地再開発 | 意見交換 | 武雄市 |
| 435 | 97.10.26 | 佐賀県、佐賀県教育委員会 | 行政 | 県 | 佐賀県 | 第3回県生涯学習フェスタ「マナビィひろば97」開催（於佐賀市） | 生涯学習 | イベント | 佐賀県 |
| 436 | 97.10.26 | 長崎街道まちづくり推進協議会（会長・田中丸善昌）などが呼びかけ | 市民 | 市民 | 福岡、佐賀、長崎県 | 3県の15市長による「長崎街道・地域連携会議」開催（初めて）（於佐賀市） | 歴史的遺産 | 会議・委員会 | 福岡県、佐賀県、長崎県 |
| 437 | 97.10.29 | 多久市社会福祉協議会など | 行政 | 市町村 | 多久市 | 郵便局でホームヘルパー養成研修が始まる〔郵政省のケアタウン構想〕（於多久市） | 保健・福祉 | セミナー | 多久市 |
| 438 | 97.11.04 | 小城町、鹿児島県知覧町 | 行政 | 市町村 | 小城町、知覧町 | 九州の小京都とされる小城町と知覧町の友好姉妹都市提携5周年記念式典（於小城町） | 広域行政 | イベント | 小城町、鹿児島県知覧町 |
| 439 | 97.11.08 | 武雄市都市計画審議会 | 行政 | 市町村 | 武雄市 | JR武雄温泉駅周辺の鉄道高架化・北部市街地区画整備事業が原案通り承認 | 市街地再開発 | 計画・構想策定 | 武雄市 |
| 440 | 97.11.14 | 諸富町 | 行政 | 市町村 | 諸富町 | 地元の農産物を使ったアイデア商品「ふるさとの味伝承道場」開催〔農村女性チャレンジ21事業〕 | 産業振興 | セミナー | 諸富町 |
| 441 | 97.11.14 97.11.16 | アバンセ事業部 | 行政 | 県 | 佐賀県 | 「よかばんだ、ふるさと学in唐津」と題した講演とミニシンポジウム（於唐津市）〔県ふるさと学推進事業〕 | 全般 | 講演会 | 佐賀県 |

| No. | 掲載日 | 主体団体名 | 主体団体 | | | 内 容 | 分野 | 形態 | 対象地域名 |
|-----|----------------------|--------------------------------------|-------|--------|---------|---|--------|---------|-----------|
| | | | 大区分 | 中区分 | 小区分 | | | | |
| 442 | 97.11.14 97.11.19 | 県教育委員会、大和町教育委員会 | 行政 | 県,市町村 | 佐賀県、大和町 | 「男女共同参画社会づくりを目指して」をテーマに「まちづくりフォーラムin大和」開催【県の男女共同参画社会づくりモデル市町村事業】（於大和町） | 男女参画 | シンポ | 佐賀県 |
| 443 | 97.11.18 97.11.24 | 神埼町企画課。佐賀新聞社などが後援 | 行政 | 市町村 | 神埼町 | 若者の住みたいまちづくりを考える「チャレンジ・21世紀へはばたく神埼町シンポジウム」開催 | 生活 | シンポ | 神埼町 |
| 444 | 97.11.20 | (社)民間活力開発機構（理事長・里敏行、自治体や企業約500団体で組織） | 行政 | 国 | 通産省 | 小規模な温泉宿を持つ地方自治体の「温泉療養の宿事業」に(社)民間活力開発機構が取り組み始める。シンポジウム開催（於東京都） | 産業振興 | シンポ | 温泉街を持つ自治体 |
| 445 | 97.11.20 | 武雄市観光振興懇話会（座長・森戸勇/官崎産業経営大学教授） | 行政 | 市町村 | 武雄市 | 21世紀を展望した市の観光ビジョンを策定する「武雄市観光振興懇話会」発足 | 産業振興 | 計画・構想策定 | 武雄市 |
| 446 | 97.11.22 | 川端ほんぼり商店会 | 疑似行政 | 商店街 | 武雄市 | JR武雄温泉駅周辺の鉄道高架・区画整備事業に対し、区画整理区域内の川端ほんぼり商店会が白紙撤回を求める意見書提出 | 市街地再開発 | 政策提言 | 武雄市 |
| 447 | 97.11.24 | 肥前浜宿まちなみ保存研究会、鹿島市教育委員会 | 行政、市民 | 市町村、市民 | 鹿島市 | 初の「肥前浜宿まちなみフェスタ」開催 | スポーツ | イベント | 鹿島市 |
| 448 | 97.11.24 | フォーラム三日月 | 市民 | 市民 | 三日月町 | 人気アカベラグループ「モア・ベター」のコンサート開催【三日月町まちづくり育成事業ほか】 | 文化 | イベント | 三日月町 |
| 449 | 97.11.26 | 三根町ボランティア連絡協議会（会長・水町三郎） | 疑似行政 | 団体 | 三根町 | 三根町ボランティア連絡協議会の設立総会（三根町社会福祉協議会が中心となって） | 保健・福祉 | 組織づくり | 三根町 |
| 450 | 97.12.02 | 武雄市 | 行政 | 市町村 | 武雄市 | 武雄市が川端ほんぼり商店会に対し、JR武雄温泉駅周辺の鉄道高架・区画整備事業が不可欠である回答を文書で手渡す | 市街地再開発 | 意見交換 | 武雄市 |
| 451 | 97.12.02 | 佐賀県 | 行政 | 県 | 佐賀県 | 障害者や高齢者などの来訪のために、店舗や事務所を改造する事業所に新しい融資制度を来年度創設 | 保健・福祉 | 事業・制度 | 佐賀県 |
| 452 | 97.12.05 | 武雄市武雄町老人クラブ連合会、同町婦人会 | 市民 | 市民 | 武雄市 | 定期的な情報交換の場を持ちながら住みやすいまちづくりを目指す「老後と少子化を考える交流会」開催 | 全般 | 交流会 | 武雄市 |
| 453 | 97.12.12 | 有明町まちづくり実行委員会（有明町商工会） | 疑似行政 | 商工会議所等 | 有明町 | 「ふるさとコンサートin有明—大石正治独唱会」開催 | 文化 | イベント | 有明町 |
| 454 | 97.12.14 98.02.15 | 西有田アジアフェスティバル実行委員会（連絡：西有田町企画課） | 行政 | 市町村 | 西有田町 | 「新春寄席」開催【文化のまちづくり事業】 | 文化 | イベント | 西有田町 |
| 455 | 97.12.19 | 市町村合併検討委員会 | 行政 | 市町村 | 浜玉町 | 唐津市と東松浦郡の合併の是非を住民の立場から考える町の「市町村合併検討委員会」発足 | 広域行政 | 組織づくり | 唐津市、東松浦郡 |
| 456 | 97.12.28 | 伊万里経済研究会（伊万里市内の企業の有志で構成） | 疑似行政 | 団体 | 伊万里市 | 伊万里市の南北道路計画に関連し、独自の伊万里駅周辺開発プランをまとめた | 市街地再開発 | 計画・構想策定 | 伊万里市 |
| 457 | 97.12.28 | 国際交流アミゴス倶楽部（代表・藤泰治）など | 市民 | 市民 | 西有田町 | 知的障害者更正施設「あすなろの里」にクリスマスプレゼント | 保健・福祉 | 実践活動 | 西有田町 |
| 458 | 98.01.10 98.01.14 | 浜地区活性化懇談会（代表・池田章、町並み保存に取り組む） | 市民 | 市民 | 鹿島市 | 酒蔵を核にしたまちづくり講演会開催 | 歴史的遺産 | 講演会 | 鹿島市 |
| 459 | 98.01.13 | 有田小学校 | 行政 | 市町村 | 有田町 | 有田小4年生が、社会科学習で取り組んだまちづくりプランを有田町に提出 | 全般 | 政策提言 | 有田町 |
| 460 | 98.01.13 | 三日月町 | 行政 | 市町村 | 三日月町 | 各集落が自主的に企画した地域おこし活動を支援する「活力と調和のとれたむらづくり事業」開始（来年度まで）、5人以上の「まちづくり育成事業」もある | 担い手育成 | 事業・制度 | 三日月町 |

| No. | 掲載日 | 主体団体名 | 主体団体 | | | 内 容 | 分野 | 形態 | 対象地域名 |
|-----|----------------------------------|---|---------|-------|-------------|---|-------|--------|---------------------------------|
| | | | 大区分 | 中区分 | 小区分 | | | | |
| 461 | 98.01.17 | 有明町、有明町社会福祉協議会 | 行政 | 市町村 | 有明町 | 福祉や健康への関心を高めようと「福祉と健康のつどい」開催 | 保健・福祉 | 交流会 | 有明町 |
| 462 | 98.01.19 | 相知町消防団 | 行政 | 市町村 | 相知町 | 相知町消防団出初め式（今年も災害のないまちづくりに貢献しよう） | 防災・防犯 | 実践活動 | 相知町 |
| 463 | 98.01.20 | 長崎県、英国克蘭フィールド大 | 行政,疑似行政 | 県,その他 | 長崎県、英国大学 | 太陽光発電を生かした街づくりを考える「国際環境シンポジウム」開催（長崎県） | 環境保全 | シンポ | 長崎県、英国 |
| 464 | 98.01.22 | 蛸会（会長・小松輝義/相知町町長、1995年結成、60歳以下の県内町村長8人でつくる） | 行政 | 市町村 | 県内8市町村 | 「蛸会」の定例会（県知事を迎え、県政が抱える重要課題について認識を深めた） | 広域行政 | 会議・委員会 | 神埼町、中原町、山内町、江北町、嬉野町、相知町、福富町、大町町 |
| 465 | 98.01.22 98.01.31 98.02.09 | 屋根のない博物館 | 市民 | 市民 | 相知町 | まちを全国にPRしようと、特産のスタチにちなんで人生のさまざまな巣立ちのエピソードを募集「相知すだち文学賞」に2カ月で600点の作品が送られる | 産業振興 | PR | 相知町 |
| 466 | 98.01.24 | まちづくり委員会 | 行政 | 市町村 | 嬉野町 | 嬉野町まちづくり委員会（町が有志100人で発足）の各部会による熱心なまちづくりの議論が続いている | 市民参加 | 会議・委員会 | 嬉野町 |
| 467 | 98.01.25 | 鹿島市浜地区活性化懇談会（連絡：肥前浜宿吟醸の会） | 市民 | 市民 | 鹿島市 | 「酒蔵トラスト方式」によるまちづくりに乗り出す（会員を募って歳元に「こだわりの酒」を作ってもらおうという運動） | 歴史的遺産 | 実践活動 | 鹿島市 |
| 468 | 98.01.26 | 佐賀新聞社 | 疑似行政 | 企業 | 佐賀市 | 「今後のまちづくりのモデル、目標としたい自治体」を全国の首長が選ぶ、元気な自治体番付発表（唐津市が広域行政の展開が評価され番付に） | 全般 | コンクール | 唐津市など173自治体 |
| 469 | 98.01.28 | 三日月町企画財政課 | 行政 | 市町村 | 三日月町 | まちづくりに努める団体を財政面で支援する「まちづくり育成事業（1990年度から）」報告書（「こころ豊かな町をめざして」1996年度版）まとまる | 担い手育成 | 事業・制度 | 三日月町 |
| 470 | 98.01.29 | 県福祉のまちづくり推進協議会 | 行政 | 県 | 佐賀県 | 「福祉のまちづくり条例」（仮称）の内容について意見集約 | 保健・福祉 | 条例制定 | 佐賀県 |
| 471 | 98.02.01 | 文化財保存県協議会（会長・石戸敏治） | 疑似行政 | 団体 | 佐賀県 | 「吉野ヶ里遺跡－保存と活用への道」と題し、第27回公開講座開催（於佐賀市） | 文化 | セミナー | 佐賀県 |
| 472 | 98.02.10 | 嬉野町 | 行政 | 市町村 | 嬉野町 | 長崎新幹線のルートに、嬉野温泉駅の設置決定 | 交通・安全 | 施策 | 嬉野町 |
| 473 | 98.02.10 | まちおこしグループ（連絡：山内町商工会） | 市民 | 市民 | 山内町 | 古代米と呼ばれる黒米「黒髪米」で「黒髪米酒」の新酒の仕込み開始（2年目） | 産業振興 | 実践活動 | 山内町 |
| 474 | 98.02.10 | フォーラム風 | 市民 | 市民 | 厳木町、九重町、小国町 | まちづくり先進地研修で、大分県九重町と熊本県小国町と交流（初めて） | 全般 | 交流会 | 厳木町、大分県九重町、熊本県小国町 |
| 475 | 98.02.12 | 佐賀県 | 行政 | 県 | 佐賀県 | 「福祉のまちづくり」について、県政モニターに対するアンケート調査実施 | 保健・福祉 | 調査 | 佐賀県 |
| 476 | 98.02.13 | （社）民間活力開発機構（通産省の外郭団体） | 行政 | 国 | 通産省 | 「自治体のまちづくり現状調査」まとまる（小規模の地方自治体は、自然環境を核に地場産品や観光などを活用したまちづくりを施行しているなど） | 全般 | 調査 | 全国 |
| 477 | 98.02.14 98.02.17 | フォーラム風 | 市民 | 市民 | 厳木町 | 「厳木（げんき）のでるまちづくり」をテーマに「第5回きゅうらぎ町まちづくりシンポジウム」開催 | 全般 | シンポ | 厳木町 |

| No. | 掲載日 | 主体団体名 | 主体団体 | | | 内 容 | 分野 | 形態 | 対象地域名 |
|-----|----------------------------------|-----------------------------------|------|--------|----------|---|--------|--------|----------|
| | | | 大区分 | 中区分 | 小区分 | | | | |
| 478 | 98.02.15 | 西有田アジアフェスティバル実行委員会 | 行政 | 市町村 | 西有田町 | 生活に密着した焼物にスポットを当てる「『やきもの文化』シンポジウム」開催「文化のまちづくり事業」 | 文化 | シンポ | 西有田町 |
| 479 | 98.02.15 98.03.03 98.03.08 | 有田商工会議所（会頭・深川明、970事業所） | 疑似行政 | 商工会議所等 | 有田町、西有田町 | 「有田焼の伝統と将来」をテーマに創立50周年記念フォーラム開催 | 産業振興 | シンポ | 有田町、西有田町 |
| 480 | 98.02.16 | 有田町社会福祉協議会 | 疑似行政 | 団体 | 有田町 | 「ボランティア教室」終了 | 保健・福祉 | セミナー | 有田町 |
| 481 | 98.02.17 98.02.18 98.02.22 | 佐賀県、佐賀市 | 行政 | 県、市町村 | 佐賀県、佐賀市 | 「佐賀空港シンポジウム—佐賀空港とまちづくりを考える」開催 | 交通・安全 | シンポ | 佐賀県 |
| 482 | 98.02.19 98.02.21 | 佐賀市 | 行政 | 市町村 | 佐賀市 | 県の出資補助を受け「まちづくり佐賀」へ佐賀市は増資の方針 | 商店街活性化 | 事業・制度 | 佐賀市 |
| 483 | 98.02.22 | 嬉野町 | 行政 | 市町村 | 嬉野町 | 第4次町総合計画の審議会委員の一部を町民から公募（20人のうち3人） | 総合計画等 | 募集 | 嬉野町 |
| 484 | 98.02.26 | 県町村議会議長会 | 行政 | 県 | 佐賀県 | 県町村議会議長会の第51回定例総会開催（地方分権に備え議会機能の強化や財政基盤の確立に努めるなど10項目）（於佐賀市） | 広域行政 | 会議・委員会 | 佐賀県 |
| 485 | 98.02.27 | 屋根のない博物館 | 市民 | 市民 | 相知町 | 菓立ちをテーマに募集していた「第1回相知すだち文学賞」決定 | 文化 | コンクール | 相知町 |
| 486 | 98.02.28 | 佐賀郵政まちづくり懇話会（県内の自治体や民間企業の代表者らで構成） | 疑似行政 | 団体 | 佐賀県 | 「第2回佐賀郵政まちづくり懇話会」開催（於佐賀市） | 国政 | セミナー | 佐賀県 |
| 487 | 98.02.28 | 国土庁 | 行政 | 国 | 総理府(国土庁) | 産業振興、まちづくりなどの活動をしているNPOを対象にしたアンケート調査結果まとまる | NPO | 調査 | 全国 |
| 488 | 98.03.04 | 国土庁（連絡：伊万里商工会議所） | 行政 | 国 | 総理府(国土庁) | 「地域情報化」をテーマに「地域連携フォーラム『ひと・まち・くらし』をつなぐもの」開催（於伊万里市） | 情報・通信 | シンポ | 佐賀県 |
| 489 | 98.03.05 | 多久市商工会 | 疑似行政 | 商工会議所等 | 多久市 | お年寄りや障害者ら社会的弱者を対象に商店街全体でFAX注文をとり宅配する「商店街FAX宅配システム」づくり（多久市京町商店街）に県の助成（新年度から3年計画） | 保健・福祉 | 実践活動 | 多久市 |
| 490 | 98.03.07 | 佐賀新聞社 | 疑似行政 | 企業 | 佐賀市 | 「21世紀の活力商店街を創造する」をテーマに、佐賀政経懇話会三月例会開催 | 商店街活性化 | セミナー | 佐賀市 |
| 491 | 98.03.07 98.03.10 | 屋根のない博物館 | 市民 | 市民 | 相知町 | 「第10回相知町まちづくりセミナー」開催（相知を愛でる見返り美人サミット、まちづくり大賞の発表、すだち文化賞表彰式など） | 全般 | セミナー | 相知町 |
| 492 | 98.03.08 | まちづくり塾夢ネット21 | 市民 | 市民 | 諸富町 | 環境問題と地域づくりをテーマに講演会開催 | 環境保全 | 講演会 | 諸富町 |
| 493 | 98.03.10 | 相知町観光協会 | 行政 | 市町村 | 相知町 | 見帰りの滝周辺にアジサイ苗500本植栽（10万本のアジサイランドを目指す恒例行事で、12回目） | 環境保全 | 実践活動 | 相知町 |
| 494 | 98.03.14 | 牛津町女性ネットワーク | 市民 | 市民 | 牛津町 | 「まちづくり—女性からの提言」をテーマに講演、シンポジウム開催 | 男女参画 | シンポ | 牛津町 |
| 495 | 98.03.15 | 西有田アジアフェスティバル実行委員会（連絡：西有田町生涯学習課） | 行政 | 市町村 | 西有田町 | 「アジア生活文化大学校」最終講座開催〔西有田町文化とまちづくり事業〕 | 文化 | セミナー | 西有田町 |

| No. | 掲載日 | 主体団体名 | 主体団体 | | | 内 容 | 分野 | 形態 | 対象地域名 |
|-----|----------------------|---|------|--------|-----------|--|--------|---------|-------------|
| | | | 大区分 | 中区分 | 小区分 | | | | |
| 496 | 98.03.16 | 鳥栖市地域振興財団 | 疑似行政 | 団体 | 鳥栖市 | 「スポーツを通じてのまちづくり」と題して講演会開催〔スポーツコンベンションの一環〕 | スポーツ | 講演会 | 鳥栖市 |
| 497 | 98.03.25 98.03.28 | まちづくり・長崎街道柄崎宿会議（武雄市内の民間8団体で構成）、佐賀大学都市工学科三島研究室 | 市民 | 市民 | 武雄市 | 「まちづくり会議—好きヤン温泉界わい」開催 | 歴史的遺産 | 会議・委員会 | 武雄市 |
| 498 | 98.03.26 | 太良シトラス会（ミカン農家で構成） | 市民 | 市民 | 太良町 | ヨーロッパのかんきつをテーマにしたオープンセミナー開催 | 産業振興 | セミナー | 太良町 |
| 499 | 98.03.27 98.03.30 | 白石町商工会 | 疑似行政 | 商工会議所等 | 白石町 | 「みんなでつくろう万葉の里」をテーマに「まちづくりシンポジウム」開催 | 全般 | シンポ | 白石町 |
| 500 | 98.03.28 | 県社会福祉協議会 | 行政 | 県 | 佐賀県 | 1998年度から「新県福祉マップ」作製 | 保健・福祉 | PR | 佐賀県 |
| 501 | 98.03.29 | 神埼ライオンズクラブ（会長・野口守、64人） | 疑似行政 | その他 | 神埼町 | 結成30周年記念式典 | 環境保全 | イベント | 神埼町 |
| 502 | 98.03.29 | 西有田町 | 行政 | 市町村 | 西有田町 | 「農と心と地域活性化」と題し「西有田町地域活性化講演会」開催 | 文化 | 講演会 | 西有田町 |
| 503 | 98.04.07 | 唐津市 | 行政 | 市町村 | 唐津市 | 市民から募集した「まちづくりグランプリ」受賞者発表 | 総合計画等 | 募集 | 唐津市 |
| 504 | 98.04.07 | 鹿島市桜樹保存会（市民から寄付を募って植樹運動に取り組んでいる、85年発足） | 市民 | 市民 | 鹿島市 | 蟻尾山公園の「さえずりの森」にモチノキを植栽 | 環境保全 | 実践活動 | 鹿島市 |
| 505 | 98.04.08 | 相知町 | 行政 | 市町村 | 相知町 | 町民の交流と健康づくりを目的とした町営温泉「天徳の森温泉」を建設 | 保健・福祉 | 施設・設備 | 相知町 |
| 506 | 98.04.17 | 唐津商工会 | 疑似行政 | 商工会議所等 | 唐津市 | 「商店街活性化セミナー」開催 | 商店街活性化 | セミナー | 唐津市 |
| 507 | 98.04.22 98.04.24 | 佐賀新聞社 | 疑似行政 | 企業 | 佐賀市 | 「地域の文化とまちづくり」と題して「武雄・鹿島政経セミナー4月例会」開催 | 文化 | セミナー | 武雄市、鹿島市 |
| 508 | 98.04.23 | 佐賀青年会議所。佐賀新聞社など後援 | 疑似行政 | 商工会議所等 | 佐賀市 | 佐賀の活性化を目的にした「ふるさと未来塾」開始（年4回予定） | 全般 | セミナー | 佐賀市 |
| 509 | 98.04.25 | 佐賀市 | 行政 | 市町村 | 佐賀市 | 市民の環境に対する意向を汲み取るため、主婦ら19人に「環境モニター」を委嘱（環境にテーマを絞ったモニターは県内で始めて） | 環境保全 | 調査 | 佐賀市 |
| 510 | 98.05.12 | 唐津市総合基本計画審議会 | 行政 | 市町村 | 唐津市 | 総合計画を取りまとめた | 総合計画等 | 計画・構想策定 | 唐津市 |
| 511 | 98.05.15 | 中心市街地活性化推進協議会（1988年発足、全国26都市） | 行政 | 市町村 | 全国26都市 | 中心市街地活性化推進協議会の四国・九州ブロック会議開催 | 商店街活性化 | 会議・委員会 | 四国・九州 |
| 512 | 98.05.15 | 都市景観賞選考委員会 | 行政 | 市町村 | 佐賀市 | 魅力あるまちづくりを目指した都市景観賞の第1回選考委員会開催（同賞は2回目） | 都市景観 | 会議・委員会 | 佐賀市 |
| 513 | 98.05.17 | 九州郵政局 | 行政 | 国 | 郵政省 | 長崎街道宿場の絵入りはがき発売（30枚1組2,000円） | 歴史的遺産 | PR | 全国 |
| 514 | 98.05.24 | 福岡県、佐賀県、長崎県 | 行政 | 県 | 福岡、佐賀、長崎県 | 「九州北部地域連携軸シンポジウム」開催（於佐賀市） | 広域行政 | シンポ | 福岡県、佐賀県、長崎県 |
| 515 | 98.05.27 | 武雄市郵政まちづくり協議会 | 行政 | 国 | 郵政省 | 絵入りはがきを記念して、長崎街道はがきパネルを武雄市と同市議会に贈る | 歴史的遺産 | PR | 武雄市 |

| No. | 掲載日 | 主体団体名 | 主体団体 | | | 内 容 | 分野 | 形態 | 対象地域名 |
|-----|----------------------------------|---|-------|--------|----------|---|--------|---------|-------|
| | | | 大区分 | 中区分 | 小区分 | | | | |
| 516 | 98.05.29 | アバンセ | 行政 | 県 | 佐賀県 | 「さがトレンドセミナー」と題した教養講座開講（6回開催）（於佐賀市） | 文化 | セミナー | 佐賀県 |
| 517 | 98.05.31 | 佐賀市、柳町まちづくりの会（会長・政池三輝）（連絡：佐賀市建築指導課都市景観係） | 行政,市民 | 市町村,市民 | 佐賀市 | 「柳町界わい”ふるさと”夜話」と題した「歴史講演会」開催 | 歴史的遺産 | 講演会 | 佐賀市 |
| 518 | 98.05.31 | フォーラム牛津 | 市民 | 市民 | 牛津町 | 間伐材でベンチを製作し、老人福祉施設や公園に寄贈 | 環境保全 | 施設・設備 | 牛津町 |
| 519 | 98.06.01 | 武雄地区、まちづくりグループ | 市民 | 市民 | 武雄市 | 梅の実ちぎりを楽しむ恒例行事「第13回緑のふれあい うめ〜ランド」 | 産業振興 | イベント | 武雄市 |
| 520 | 98.06.02 98.06.14 | 鹿島市教育委員会など | 行政 | 市町村 | 鹿島市 | 「肥前浜宿伝統的建造物群保存シンポジウム」開催 | 歴史的遺産 | シンポ | 鹿島市 |
| 521 | 98.06.03 | 佐賀県 | 行政 | 県 | 佐賀県 | 市町村の自主的な合併や広域行政促進の取組み支援「広域行政推進研究支援事業」の取り組み強化 | 広域行政 | 事業・制度 | 佐賀県 |
| 522 | 98.06.03 | 武雄市 | 行政 | 市町村 | 武雄市 | 市長が各町に出かけて市民と意見交換する初の「ふれあい市長室」スタート | 市民参加 | 意見交換 | 武雄市 |
| 523 | 98.06.06 | 環境庁 | 行政 | 国 | 総理府(環境庁) | 「1998年度環境白書」閣議決定 | 環境保全 | 施策 | 全国 |
| 524 | 98.06.07 | 小学校など | 行政 | 市町村 | 伊万里市 | 環境月間前に緑化運動実施 | 環境保全 | 実践活動 | 伊万里市 |
| 525 | 98.06.07 | まちづくり協議会 | 行政 | 市町村 | 多久市 | 市民、行政、郵便局が意見交換をする「まちづくり協議会」発足 | 全般 | 組織づくり | 多久市 |
| 526 | 98.06.07 | 西有田町れんげ塾 | 市民 | 市民 | 西有田町 | 「西有田町れんげ塾」の紹介（ふるさと創生交付金の使途検討機関として89年発足、ふるさと創生事業完了後、民間主導のまちづくりグループに） | 環境保全 | 実践活動 | 西有田町 |
| 527 | 98.06.10 | 有田町 | 行政 | 市町村 | 有田町 | 有田焼きブランドを生かして観光産業へのアプローチを図る「白磁のまちの観光再発見構想」策定 | 産業振興 | 計画・構想策定 | 有田町 |
| 528 | 98.06.11 98.07.07 98.07.08 | 佐賀新聞社など九州7新聞社 | 疑似行政 | 企業 | 九州 | 九州の次世代の人材育成とネットワークづくりを図る「九州平成義塾」が「価値を拓く〜新しい人・モノ・社会のかたち〜」をテーマに開幕（於長崎市） | 担い手育成 | セミナー | 九州 |
| 529 | 98.06.13 | 基山まちづくり21委員会（委員長・榊田誠一郎、基山町商工会員と同町職員が中心となって組織） | 疑似行政 | 団体 | 基山町 | 買い物客の町外への流出を食い止め、駅前の活性化を目指す「基山まちづくり21委員会」発足 | 市街地再開発 | 組織づくり | 基山町 |
| 530 | 98.06.20 98.06.28 | 佐賀県 | 行政 | 県 | 佐賀県 | 「県まちづくり文化講演会」開催（於佐賀市） | 歴史的遺産 | 講演会 | 佐賀県 |
| 531 | 98.06.21 | 福祉作業所「レインボーハウス」 | 疑似行政 | 企業 | 佐賀市 | エスプラッツ1階に店舗「ふくしショップ・TOMMORROW」開店（6月いっぱい） | 保健・福祉 | 実践活動 | 佐賀市 |
| 532 | 98.06.21 | 西有田町など同実行委員会。佐賀新聞社など後援 | 行政 | 市町村 | 西有田町 | 「田植唄アジアフェスティバル'98」開催〔文化のまちづくり事業〕 | 文化 | イベント | 西有田町 |
| 533 | 98.06.23 | 基山町商工会 | 疑似行政 | 商工会議所等 | 基山町 | 「基山町商店街活性化策と駅前地区整備構想」まとまる（98年度も「基山町まちづくり21委員会」を発足し、引き続き検討） | 商店街活性化 | 施設・設備 | 基山町 |
| 534 | 98.06.25 | 県まちづくり推進実行委員会 | 行政 | 県 | 佐賀県 | 「まちづくり月間」小中学生ポスター・作文コンクール審査実施 | 全般 | コンクール | 佐賀県 |

| No. | 掲載日 | 主体団体名 | 主体団体 | | | 内 容 | 分野 | 形態 | 対象地域名 |
|-----|----------------------|---------------------------------------|------|--------|------|--|-------|-------|-------|
| | | | 大区分 | 中区分 | 小区分 | | | | |
| 535 | 98.06.27 | 西唐津商店街振興組合（理事長・村崎龍彦） | 疑似行政 | 商店街 | 唐津市 | 空き地を利用して住民が自由に参加できる「にしからつレトロの町ふれあい市」開催（毎月第4日曜日） | 産業振興 | 実践活動 | 唐津市 |
| 536 | 98.06.28 | 唐津市 | 行政 | 市町村 | 唐津市 | 環境月間に河川清掃（市の中心部を流れる町田川と唐津城のある松浦川河口、毎年実施） | 環境保全 | 実践活動 | 唐津市 |
| 537 | 98.06.29 | ふくし佐賀づくりの会、歌謡・日舞教室会主らによる「ふるさとあじさいの会」 | 市民 | 市民 | 佐賀県 | 障害者と健常者がともに暮らせるバリアフリーのまちづくりをめざす「チャリティーふれあい歌謡フェスティバル」開催（於佐賀市） | 保健・福祉 | イベント | 佐賀県 |
| 538 | 98.06.30 | フォーラム鹿島 | 市民 | 市民 | 鹿島市 | 例会で鹿島土木事務所とまちづくりについて話合う | 全般 | 懇談会 | 鹿島市 |
| 539 | 98.07.06 | さくら通り街づくり研究会（地区の店主ら） | 市民 | 市民 | 鹿島市 | 地域のまちづくりについて考えようと、新町の「さくら通り街づくり研究会」初の勉強会 | 全般 | 研究会 | 鹿島市 |
| 540 | 98.07.08 | 明倫小学校 | 行政 | 市町村 | 鹿島市 | 第一線で活躍する地域のさまざまな人を講師に招き、小学生の見聞を広めようという「明倫フロンティア教室」開催（年5回ほど） | 教育 | セミナー | 鹿島市 |
| 541 | 98.07.11 | 伊万里市女性文化政策室 | 行政 | 市町村 | 伊万里市 | 女性の地域づくりへのかかわり方をテーマに「男女協働参画社会」にむけたネットワーク化などを目指した「まちづくりフォーラムIN伊万里」の実行委員募集 | 男女参画 | シンポ | 伊万里市 |
| 542 | 98.07.15 | さが21世紀への英知委員会（佐賀新聞社） | 疑似行政 | 企業 | 佐賀市 | 「人づくり」をテーマに、県民の投書による「夢カード」募集 | 担い手育成 | 政策提言 | 佐賀県 |
| 543 | 98.07.16 | ランチ佐賀さかえ会（佐賀市内に支社、支店がある企業の支社長、支店長で組織） | 疑似行政 | 企業 | 佐賀市 | 「地方の時代－これからの地域づくり」と題し「第180回7月例会」開催 | 全般 | セミナー | 佐賀市 |
| 544 | 98.07.19 | 伊万里スポーツクラブ | 市民 | 市民 | 伊万里市 | スポーツを通じてまちづくりをと、伊万里湾を眼下に悠々と飛行するパラグライダー飛行実施 | スポーツ | イベント | 伊万里市 |
| 545 | 98.07.19 | 有田お祭り振興会 | 市民 | 市民 | 有田町 | 「第17回先人陶工感謝祭・有田夏祭り」開催 | 産業振興 | イベント | 有田町 |
| 546 | 98.07.22 | ルンルンの会 | 市民 | 市民 | 三日月町 | 地球環境をテーマにしたドキュメンタリー映画「地球交響曲－ガイアシンフォニー」の上映会 | 環境保全 | イベント | 三日月町 |
| 547 | 98.07.23 | 建設省 | 行政 | 国 | 建設省 | 都市部を流れる河川の空間を環境や防災を重視したまちづくりに生かす「沿川まちづくり計画事業」（仮称）を来年度から市町村と一体に実施 | 環境保全 | 事業・制度 | 全国 |
| 548 | 98.08.02 | 伊万里青年会議所 | 疑似行政 | 商工会議所等 | 伊万里市 | 福岡在住の女性を招待し、観光という観点から伊万里を鑑定してもらおう「まるごと伊万里なんでも鑑定団観光体験型ツアー」実施 | 産業振興 | イベント | 伊万里市 |
| 549 | 98.08.02 | 西有田アジアフェスティバル実行委員会 | 行政 | 市町村 | 西有田町 | 名作ミュージカル「アルプスの少女・ハイジ」上演【ほのおと音のシンフォニー推進事業】 | 文化 | イベント | 西有田町 |
| 550 | 98.08.03 98.08.06 | 伊万里市企画調整課 | 行政 | 市町村 | 伊万里市 | 総合計画の策定に向けて、広く市民の意見を聞こうと「まちづくりを考える会」開催（初めて）（市内4ヶ所） | 総合計画等 | 懇談会 | 伊万里市 |
| 551 | 98.08.05 98.08.09 | 中央大学学員会県支部（中央大学OBで構成）。佐賀新聞社など後援 | 疑似行政 | 団体 | 佐賀県 | 「まちづくりと地方分権」をテーマに「中央大学学術講演会」開催（於佐賀市） | 域内行政 | 講演会 | 佐賀県 |
| 552 | 98.08.16 | 多久郵便局など | 行政 | 国 | 郵政省 | 「三級課程ホームヘルパー養成研修会」の開講式【郵政省のケアタウン構想】 | 保健・福祉 | セミナー | 多久市 |
| 553 | 98.08.18 98.08.24 | 朝日町まちづくり推進会。佐賀新聞社など後援 | 市民 | 市民 | 武雄市 | 「第6回朝日川フェスタすいすいハンギング大会」開催（毎年開催） | スポーツ | イベント | 武雄市 |

| No. | 掲載日 | 主体団体名 | 主体団体 | | | 内 容 | 分野 | 形態 | 対象地域名 |
|-----|--|--|---------|--------------|------|--|--------|-------|-------------|
| | | | 大区分 | 中区分 | 小区分 | | | | |
| 554 | 98.08.19 | 唐津市教育委員会 | 行政 | 市町村 | 唐津市 | 市内の小中学生と市長が住みよいまちづくりについて語る「林間教室」開催 | 生活 | セミナー | 唐津市 |
| 555 | 98.08.20 | 有明町まちづくり事業委員会（委員長・樋口和敏、34人。町商工会の特産品の開発、販路拡大を推進する部会として発足） | 疑似行政 | 商工会議所等 | 有明町 | 酒を酌み交わしながら町の活性化について語り合う「夜なべ談議」開催 | 全般 | 交流会 | 有明町 |
| 556 | 98.08.21 | 日本青年会議所 | 疑似行政 | 商工会議所等 | 全国 | 第12回TOYP（The Outstanding Young Persons）大賞で参議院議長奨励賞を受賞したアンデス命の水協会会長：武富晋一郎さんが、報告 | 環境保全 | コンクール | 全国 |
| 557 | 98.08.25 98.09.11 | Jリーグ | 疑似行政 | 企業 | 県外 | Jリーグは理事会で、来年から始まるJ2へのサガン鳥栖の参加を承認 | スポーツ | 実践活動 | 鳥栖市 |
| 558 | 98.08.28 | からつ夢バンク（唐津青年会議所のメンバーが中心で、'98.4月に設立） | 市民 | 市民 | 唐津市 | 市民参加で旧唐津銀行本店（赤レンガの洋館）を活用したまちづくりを考えるきっかけにと、同銀行で「赤からはじまる物語」開催 | 歴史的遺産 | イベント | 唐津市 |
| 559 | 98.09.03 | 多久市 | 行政 | 市町村 | 多久市 | 多久駅周辺土地区画整理事業の完成が6年ずれ込み、2024年度になる見込み | 市街地再開発 | 施設・設備 | 多久市 |
| 560 | 98.09.03 98.09.09 98.09.12 98.09.13 98.09.20 | 新しい佐賀を考える住民会議、佐賀青年会議所、佐賀新聞社共催（連絡：佐賀新聞社広告局企画部） | 疑似行政、市民 | 商工会議所等、企業、市民 | 佐賀県 | 市町村の抱える諸問題を通して、広域的なまちづくりを考える「佐賀広域圏まちづくりフォーラム」開催 | 広域行政 | シンポ | 佐賀広域圏 |
| 561 | 98.09.11 | 佐賀県 | 行政 | 県 | 佐賀県 | 「福祉のまちづくり条例」の施行規則を公布（'99.4月施行） | 保健・福祉 | 条例制定 | 佐賀県 |
| 562 | 98.09.11 | 佐賀大学教授：田中豊治ら（新しい佐賀を考える住民会議の委託調査） | 市民 | 市民 | 佐賀市 | 「佐賀のまちづくりに関する住民意識調査」まとまる（「佐賀広域圏まちづくりフォーラム98-今、どうして市町村合併なのか」で報告） | 全般 | シンポ | 佐賀広域圏 |
| 563 | 98.09.11 98.09.15 | まちづくり唐津（唐津中央商店街の商店主らが出資する運営会社） | 疑似行政 | 企業 | 唐津市 | 唐津中央商店街の空き店舗核となる鮮魚店「さかな屋さん」開店（来年度以降の事業継続を睨み、運営会社「まちづくり唐津」も設立） | 商店街活性化 | 実践活動 | 唐津市 |
| 564 | 98.09.12 | 九州郵政局、佐賀・長崎・福岡県内の郵便局 | 行政 | 国 | 郵政省 | 旧長崎街道の小倉から長崎までを139区間に分けて飛脚でつなぐ「夢函（ゆめばこ）リレー」実施（11月末～12月初） | 情報・通信 | イベント | 福岡県、佐賀県、長崎県 |
| 565 | 98.09.13 | 西有田アジアフェスティバル実行委員会 | 行政 | 市町村 | 西有田町 | 地域の焼物文化を再認識しようと縄文土器の野焼きをする「陶芸教室」開催 [文化のまちづくり・ほのおと音のシンフォニー事業] | 文化 | セミナー | 西有田町 |
| 566 | 98.09.15 | 北波多村文化連盟（郷土史研究者、コーラス、舞踊、村おこしなど27団体、約300人が加盟） | 市民 | 市民 | 北波多村 | 「北波多村文化連盟」発足 | 文化 | 組織づくり | 北波多村 |
| 567 | 98.09.15 98.10.04 | 鹿島青年会議所 | 疑似行政 | 商工会議所等 | 鹿島市 | 創立40周年記念講演会とシンポジウム開催 | 域内行政 | シンポ | 鹿島市 |
| 568 | 98.09.22 | 鹿島市 | 行政 | 市町村 | 鹿島市 | 市民の要請があれば夜間でも市職員を派遣し、市政全般について説明する「まちづくり出前講座」の制度化 [生涯学習の一環] | 生涯学習 | セミナー | 鹿島市 |

| No. | 掲載日 | 主体団体名 | 主体団体 | | | 内 容 | 分野 | 形態 | 対象地域名 |
|-----|----------------------|--|---------|------|---------|---|--------|---------|------------|
| | | | 大区分 | 中区分 | 小区分 | | | | |
| 569 | 98.09.27 | 栗原工業（住宅販売会社ウイッシュホーム） | 疑似行政 | 企業 | 相知町 | ゆとりある空間と文化のまちづくりにこだわった民間の分譲住宅地「天徳の森パークハウス」登場 | 住居・建物 | 施設・設備 | 相知町 |
| 570 | 98.09.27 | 伊万里市 | 行政 | 市町村 | 伊万里市 | 「第3回伊万里リサイクルフェスタ」開催（3年前から毎年、自治体が主導し、無料で場所を提供するというリサイクルバザーは珍しい） | 環境保全 | イベント | 伊万里市 |
| 571 | 98.09.27 | 西有田町アジアフェスティバル実行委員会 | 行政 | 市町村 | 西有田町 | アジアについての理解を深める公開講座「アジア生活文化大学校」の受講生募集（'99.1月まで5回）【文化のまちづくり事業】 | 文化 | セミナー | 西有田町 |
| 572 | 98.09.27 | 厚生省 | 行政 | 国 | 厚生省 | 「健康保養地づくりモデル市町村」に藤津郡嬉野町が指定 | 保健・福祉 | 施設・設備 | 嬉野町など全国9ヶ所 |
| 573 | 98.09.29 | 唐津市 | 行政 | 市町村 | 唐津市 | 住宅施策の指針となる住宅マスタープラン（初めて）策定のため、市民にアンケートを実施 | 住居・建物 | 調査 | 唐津市 |
| 574 | 98.09.30 | まちづくりリーダー塾（佐賀県主催）のメンバー | 市民 | 市民 | 佐賀県 | 「ごみ問題からまちづくりを考えよう」をテーマに「夜なべ談話」実施 | 環境保全 | セミナー | 佐賀県 |
| 575 | 98.10.03 | 唐津市住宅マスタープラン策定委員会 | 行政 | 市町村 | 唐津市 | 住宅マスタープラン策定委員会の初会合 | 住居・建物 | 会議・委員会 | 唐津市 |
| 576 | 98.10.07 98.10.25 | 県ゆとりある住生活推進協議会など | 行政 | 県 | 佐賀県 | 「住まいからつくる豊かな地域」をテーマにシンポジウム開催（10月は住宅月間） | 住居・建物 | シンポ | 佐賀県 |
| 577 | 98.10.10 | 川副町 | 行政 | 市町村 | 川副町 | ホームページを開設 http://www.saganet.ne.jp/kawasoe/ | 情報・通信 | 施設・設備 | 川副町 |
| 578 | 98.10.13 | 嬉野21まちづくり委員会（町が募った委員会、町民約100人が参加） | 行政 | 市町村 | 嬉野町 | 住民の視点によるさまざまな提言がまとまる（第4次総合計画へ） | 総合計画等 | 計画・構想策定 | 嬉野町 |
| 579 | 98.10.15 | 鹿島市企画課 | 行政 | 市町村 | 鹿島市 | 第4次総合計画に向けて「21世紀のまちづくり」など6テーマの論文を市民から募集 | 総合計画等 | 募集 | 鹿島市 |
| 580 | 98.10.15 | 佐賀県 | 行政 | 県 | 佐賀県 | 知事と市町村長が地域の健康づくりについて意見交換する「健康のまちづくりサミット98」開催（於佐賀市） | 保健・福祉 | 会議・委員会 | 佐賀県 |
| 581 | 98.10.27 | 唐松塗装同志会（会長・柴田優、18業者） | 疑似行政 | 団体 | 浜玉町 | 町の遊園地の遊具10基化粧直し（明るいまちづくりに貢献しようと年1回実施、3回目） | 都市景観 | 施設・設備 | 浜玉町 |
| 582 | 98.10.31 | フォーラム鹿島まちづくりデザイン部会（部長・中川龍生、15人） | 市民 | 市民 | 鹿島市 | 市が建設する生涯学習センターについての提言を市長に提出 | 教育 | 政策提言 | 鹿島市 |
| 583 | 98.11.01 | アバンセ、まちづくり佐賀 | 行政、疑似行政 | 県、企業 | 佐賀県、佐賀市 | 就学前の子供達が親の手から離れて小さな冒険にチャレンジする「はじめてのきゃあもん」実施（生涯学習月間にちなんで） | 生涯学習 | イベント | 佐賀市 |
| 584 | 98.11.06 | 建設省 | 行政 | 国 | 建設省 | 自治体の広範囲なまちづくり計画に含まれた道路や再開発などの事業の補助を、個別申請ではなく自動的に決定するまちづくり型の「統合補助金」制度を導入 | 市街地再開発 | 事業・制度 | 全国 |
| 585 | 98.11.08 | 佐賀新聞社 | 疑似行政 | 企業 | 佐賀市 | 「県民世論調査」結果の紹介 | 全般 | 調査 | 佐賀県 |
| 586 | 98.11.12 | 多久東部小学校5年生（東多久町鉄道OB会、青少年育成市民会議東多久支部が球根を贈呈） | 行政 | 市町村 | 多久市 | JR東多久駅のホームにチューリップの球根を植えた【青少年による環境美化、まちづくり活動】 | 環境保全 | 実践活動 | 多久市 |
| 587 | 98.11.17 | 佐賀県 | 行政 | 県 | 佐賀県 | 「県福祉のまちづくり条例適合証」のデザインに小松浩美さんが受賞 | 保健・福祉 | コンクール | 佐賀県 |

| No. | 掲載日 | 主体団体名 | 主体団体 | | | 内 容 | 分野 | 形態 | 対象地域名 |
|-----|----------------------|--|---------|------------|--------------|--|--------|---------|--------------|
| | | | 大区分 | 中区分 | 小区分 | | | | |
| 588 | 98.11.17 | 屋根のない博物館 | 市民 | 市民 | 相知町 | 「わが町の夢を語る子供サミット」と題して「第11回相知町まちづくりセミナー」開催 | 教育 | セミナー | 相知町 |
| 589 | 98.11.22 | 県民フォーラム実行委員会 (県内49市町村、県、佐賀新聞社などで構成) | 疑似行政 | 団体 | 佐賀県 | 「21世紀の人づくり」をテーマに「98県民フォーラム」開催(於佐賀市) | 担い手育成 | シンポ | 佐賀県 |
| 590 | 98.11.23 | 佐賀県など全国31都府県 | 行政 | 県 | 佐賀県など全国31都府県 | 佐賀県など全国31都府県が、NPO法人に地方税の一部免除の措置 | NPO | 事業・制度 | 佐賀県など全国31都府県 |
| 591 | 98.11.25 | 武雄市郵政まちづくり協議会(市内8郵便局) | 行政 | 国 | 郵政省 | 「武雄の流鏑馬(やぶさめ)」をテーマにした写真コンテストの作品展 | 文化 | コンクール | 武雄市 |
| 592 | 98.11.25 98.12.08 | 県建築士会武雄支部 | 疑似行政 | 団体 | 佐賀県 | 歴史遺産を生かす街づくりをテーマにしたシンポジウム開催(於武雄市) | 歴史的遺産 | シンポ | 佐賀県 |
| 593 | 98.11.28 | 唐津中央商店街など | 疑似行政 | 商店街 | 唐津市 | 空き店舗対策の紹介 | 産業振興 | 実践活動 | 唐津市 |
| 594 | 98.11.28 98.12.17 | 伊万里の会(伊万里青年会議所、伊万里商工会議所青年部、J A伊万里市青年部、グローバル伊万里の4団体で組織) | 市民 | 市民 | 伊万里市 | 故黒澤明監督の記念館建設計画が進む中、黒澤監督や記念館計画のことをもっと知ろうという集い開催 | 文化 | セミナー | 伊万里市 |
| 595 | 98.12.01 | 佐賀市 | 行政 | 市町村 | 佐賀市 | 中小小売商業高度化事業構想(まちづくり佐賀が作成)にTMO(まちづくり推進)構想の認定書交付 | 商店街活性化 | 計画・構想策定 | 佐賀市 |
| 596 | 98.12.01 | 伊万里市 | 行政 | 市町村 | 伊万里市 | 第4次総合計画策定のための伊万里市総合計画審議会を設置 | 総合計画等 | 会議・委員会 | 伊万里市 |
| 597 | 98.12.07 | 唐津さくらの会 | 市民 | 市民 | 唐津市 | 市民の方で唐津に新しい桜の名所をつくろうと、第1回植樹祭でソメイヨシノの苗木180本を植える | 環境保全 | イベント | 唐津市 |
| 598 | 98.12.09 | 建設省 | 行政 | 国 | 建設省 | 政府の特殊法人見直しで廃止される住宅・都市整備公団を引き継ぐ組織の名前を「都市基盤整備公団」に | 住居・建物 | 会議・委員会 | 全国 |
| 599 | 98.12.16 | 武雄市、武雄商工会議所 | 行政、疑似行政 | 市町村、商工会議所等 | 武雄市 | まちづくり講演会「21世紀に向けたまちづくりと公園都市構想」開催(中心市街地の活性化を図るための基本計画づくりを進めている) | 市街地再開発 | 講演会 | 武雄市 |
| 600 | 98.12.19 | 自治省 | 行政 | 国 | 自治省 | 来年度から開始する地域活力創造プランの概要発表 | 総合計画等 | 計画・構想策定 | 全国 |
| 601 | 98.12.20 | 武雄夢づくり実行委員会(23団体) | 市民 | 市民 | 武雄市 | 「武雄市民花火大会」開催[まちづくり活動](市内のイルミネーションも) | 文化 | イベント | 武雄市 |
| 602 | 98.12.21 | 肥前町 | 行政 | 市町村 | 肥前町 | 町内の小学5年～中学3年までの子供が議員となり、市長に一般質問をする「第1回ひぜんこども夢議会」開催 | 担い手育成 | 体験学習 | 肥前町 |
| 603 | 98.12.21 99.01.10 | 自治省 | 行政 | 国 | 自治省 | 地域づくりに関する事業を積極的に推進した地方自治体等を対象にした大臣表彰団体決定(県内から伊万里市と西有田町) | 全般 | コンクール | 全国63団体 |
| 604 | 98.12.27 | 佐賀県中小企業団体中央会 | 疑似行政 | 団体 | 佐賀県 | 「使いやすいモノづくりとは」を総合テーマに、パネルディスカッション「バリアフリークリエイション」開催(於佐賀市) | 産業振興 | 意見交換 | 佐賀県 |
| 605 | 99.01.06 99.01.10 | まちづくり佐賀 | 疑似行政 | 企業 | 佐賀市 | 再開発ビル・エスプラッツ北側の商店街に新アーケード建設(TMO機関認定後、初の事業) | 商店街活性化 | 施設・設備 | 佐賀市 |

| No. | 掲載日 | 主体団体名 | 主体団体 | | | 内 容 | 分野 | 形態 | 対象地域名 |
|-----|----------------------|---|------|--------|------------------|---|--------|--------|------------------|
| | | | 大区分 | 中区分 | 小区分 | | | | |
| 606 | 99.01.10 | 唐津商工会議所 | 疑似行政 | 商工会議所等 | 唐津市 | 自然景観と観光資源に恵まれた唐津港の将来像を探る「夢みなとシンポジウム」開催 | 産業振興 | シンポ | 唐津市 |
| 607 | 99.01.10 | 県立陶磁文化館 | 行政 | 県 | 佐賀県 | 骨董品などの鑑定依頼が増えている（テレビの鑑定番組の影響でお宝鑑定ブーム） | 文化 | イベント | 佐賀県 |
| 608 | 99.01.12 | 個人：原恵、荒久田一男、田中尚武 | 市民 | 市民 | 厳木町 | JR厳木駅前国道203号線沿いに、イルミネーション並木 | 都市景観 | 施設・設備 | 厳木町 |
| 609 | 99.01.13 | 柳町まちづくり協議会（佐賀市柳町・千代田町の住民） | 市民 | 市民 | 佐賀市 | 旧長崎街道の町並み保存と活用を考えようと「柳町まちづくり協議会」設立 | 歴史的遺産 | 組織づくり | 佐賀市 |
| 610 | 99.01.14 | 小城町人づくり塾 | 市民 | 市民 | 小城町 | 古本のリサイクルと商店街の活性化を目的に「小さな文庫ふれあい事業」を着手（店の一角に文庫スペースを設け、来客に無料で貸し出すシステム） | 環境保全 | 施設・設備 | 小城町 |
| 611 | 99.01.17 | 福富町 | 行政 | 市町村 | 福富町 | 「れんこんの穴から未来が見えるinふくどみ」の感想「地域間交流事業」 | 交通・安全 | イベント | 福富町 |
| 612 | 99.01.20 | 多久市 | 行政 | 市町村 | 多久市 | 「多久市高齢者交通安全対策部会」発足式 | 交通・安全 | 組織づくり | 多久市 |
| 613 | 99.01.21 | 西有田アジアフェスティバル実行委員会（連絡：西有田町企画情報課） | 行政 | 市町村 | 西有田町 | 食生活と器の関係を見つめ直す「暮らしの中の"やきもの文化"シンポジウム」開催 [文化のまちづくり事業] | 文化 | シンポ | 西有田町 |
| 614 | 99.01.21 99.01.26 | 3市1町（鳥栖市、基山町、久留米市、小郡市）の図書館 | 行政 | 市町村 | 鳥栖市、基山町、久留米市、小郡市 | 「協力賞書締結」10周年記念講演「図書館づくりはまちづくり」開催（於基山町） | 文化 | 講演会 | 鳥栖市、基山町、久留米市、小郡市 |
| 615 | 99.01.22 | 環境や福祉問題を考える市民団体 | 市民 | 市民 | 佐賀県 | 「バリアフリーのまちづくり」をテーマに講演会（於佐賀市） | 保健・福祉 | 講演会 | 佐賀県 |
| 616 | 99.01.26 | 鹿島市 | 行政 | 市町村 | 鹿島市 | 総合計画策定に向け募集していた「21世紀のまちづくり論文」の入賞者決定 | 総合計画等 | 募集 | 鹿島市 |
| 617 | 99.01.29 | 日本建築士連合会 | 疑似行政 | 団体 | 全国 | 「第8回まちづくり会議全国大会」で「まち研武雄」などが発表（於岡山市） | 住居・建物 | 大会 | 全国 |
| 618 | 99.01.31 | 佐賀市、佐賀観光コンベンションビューロー検討委員会 | 行政 | 市町村 | 佐賀市 | 「佐賀は都市間競争に勝てるか」をテーマに「観光コンベンションシティづくりシンポジウム」開催 | 産業振興 | シンポ | 佐賀市 |
| 619 | 99.02.02 | 佐賀市環境課 | 行政 | 市町村 | 佐賀市 | 「自然生態系セミナー」開催（市は「水と緑がはぐくむ生き物と共生するまちづくり」を推進している） | 環境保全 | セミナー | 佐賀市 |
| 620 | 99.02.02 | JR佐賀駅周辺の再整備事業検討委員会（委員長：佐賀大学理工学部教授/荒牧軍治） | 行政 | 市町村 | 佐賀市 | JR佐賀駅周辺の再整備事業検討委員会の初会合（3回会合を開き再開発への考えを示す） | 市街地再開発 | 会議・委員会 | 佐賀市 |
| 621 | 99.02.05 | 佐賀県、佐賀県社会福祉協議会など | 行政 | 県 | 佐賀県 | 「第38回県社会福祉大会」開催（於佐賀市） | 保健・福祉 | 大会 | 佐賀県 |
| 622 | 99.02.06 | 日本商工会青年部 | 疑似行政 | 商工会議所等 | 全国 | 「第5回商工会青年部主張発表全国大会」で北波多村の西村和彦さん優勝 | 担い手育成 | 大会 | 全国 |
| 623 | 99.02.06 | | 疑似行政 | 団体 | 全国 | 「第13回全国人権啓発研究集会」閉幕（於佐賀市） | 保健・福祉 | 研究会 | 全国 |
| 624 | 99.02.06 | 県立唐津商業高校 | 行政 | 県 | 佐賀県 | 3年生が1年間取り組んできた課題研究の発表会開催 | 生涯学習 | 政策提言 | 唐津市 |
| 625 | 99.02.07 | 西有田町 | 行政 | 市町村 | 西有田町 | 西有田町民音楽祭「春待ちコンサート」開催 [文化のまちづくり事業/ほのおと音のシンフォニー推進事業] | 文化 | イベント | 西有田町 |

| No. | 掲載日 | 主体団体名 | 主体団体 | | | 内 容 | 分野 | 形態 | 対象地域名 |
|-----|----------------------|------------------------------|---------|--------|------|---|--------|---------|-------|
| | | | 大区分 | 中区分 | 小区分 | | | | |
| 626 | 99.02.07 99.02.16 | 佐賀県 | 行政 | 県 | 佐賀県 | 高齢者や障害者に配慮したまちづくりを目指す「県福祉のまちづくり条例」が施行（公共施設の整備基準を解説する「施設整備マニュアル」を作製） | 保健・福祉 | 条例制定 | 佐賀県 |
| 627 | 99.02.09 | 唐津青年会議所 | 疑似行政 | 商工会議所等 | 唐津市 | 唐津青年会議所の新理事長・辻省治郎さん紹介 | 歴史的遺産 | 政策提言 | 唐津市 |
| 628 | 99.02.10 | 佐賀県 | 行政 | 県 | 佐賀県 | 高齢者や障害者に配慮したまちづくりを目指す「県福祉のまちづくり条例」地区別説明会（於佐賀市） | 保健・福祉 | 条例制定 | 佐賀県 |
| 629 | 99.02.11 | 佐賀郵政まちづくり懇話会（座長・稲田繁生） | 疑似行政 | 団体 | 佐賀県 | 郵政局の事業経営に利用者の提言や意見を反映させようという「佐賀郵政まちづくり懇話会」開催（於佐賀市） | 国政 | 懇談会 | 佐賀県 |
| 630 | 99.02.13 | 嬉野町まちづくり課 | 行政 | 市町村 | 嬉野町 | 町外在住者にアドバイザーになってもらい、町を紹介した名刺などを配ってもらう「ふるさとアドバイザー制度」設置 | 情報・通信 | 施策 | 嬉野町 |
| 631 | 99.02.13 99.02.17 | フォーラム風（代表・居石好文） | 市民 | 市民 | 厳木町 | 「カンパレ！きゅうらぎまち」をテーマに「第6回まちづくりシンポジウム」開催 | 全般 | シンポ | 厳木町 |
| 632 | 99.02.19 | 地域づくり団体県協議会 | 行政 | 県 | 佐賀県 | 地域おこしのリーダーらが集まり研修した「まちづくりリーダー塾」最終報告会の開催（於唐津市） | 担い手育成 | セミナー | 佐賀県 |
| 633 | 99.02.20 | 西有田町役場企画情報課 | 行政 | 市町村 | 西有田町 | 「西有田春風寄席」開催〔文化のまちづくり事業〕 | 文化 | イベント | 西有田町 |
| 634 | 99.02.21 | 基山町観光協会（連絡：基山町経済課） | 行政 | 市町村 | 基山町 | イベント運営や観光地整備のためのボランティアスタッフを町内から募集 | 担い手育成 | 募集 | 基山町 |
| 635 | 99.02.21 | 中原町 | 行政 | 市町村 | 中原町 | 共生のまちづくりを目指す「中原町地域交流授業の最終交流会」開催（1997・98年度に文部省の指定） | 保健・福祉 | 交流会 | 中原町 |
| 636 | 99.02.22 | 全国生涯学習まちづくり研究会さが支部。佐賀新聞社など後援 | 市民 | 市民 | 佐賀市 | 「地域づくり・まちおこし仕掛人養成講座」開催（於佐賀市） | 担い手育成 | セミナー | 佐賀県 |
| 637 | 99.02.24 | まちづくり佐賀（社長・田中稔） | 疑似行政 | 企業 | 佐賀市 | 新年度からクレジット機能を追加した「さがんカード」新調〔商店街総合カード事業〕 | 商店街活性化 | 実践活動 | 佐賀市 |
| 638 | 99.03.02 | おはなし会・三日月（代表・上野美智子、10人） | 市民 | 市民 | 三日月町 | 「親子ふれあい寄席」開催〔三日月町まちづくり事業〕 | 文化 | イベント | 三日月町 |
| 639 | 99.03.08 | 相知町、JR唐津鉄道事業部 | 行政、疑似行政 | 市町村、企業 | 相知町 | 見返りの滝周辺とJR相知駅でアジサイの苗木約千本を植栽（13回目） | 環境保全 | 実践活動 | 相知町 |
| 640 | 99.03.09 | 富士町 | 行政 | 市町村 | 富士町 | 「環境保護とまちおこし」をテーマに「村づくり集会99一夜なべ小屋で大いに語ろう会」開催 | 環境保全 | 交流会 | 富士町 |
| 641 | 99.03.10 | 川の街づくり委員会（佐賀商工会議所） | 疑似行政 | 商工会議所等 | 佐賀市 | 市内を縦横に流れる河の魅力観光などにつなげようと「川の街づくり委員会」初会合 | 環境保全 | 会議・委員会 | 佐賀市 |
| 642 | 99.03.17 | フジコンサルタント（佐賀市）於保さんら11人 | 市民 | 市民 | 全国 | 高齢者名鈍弱者が楽しめるまちづくりを提案した「タウンモビリティと賑わいのまちづくり」出版 | 保健・福祉 | 計画・構想策定 | 全国 |
| 643 | 99.03.20 99.03.30 | まちづくり佐賀（社長・田中稔） | 疑似行政 | 企業 | 佐賀市 | 市の中心商店街の歴史を見直し、貴重な歴史的資産を生かしたまちづくりの在り方を考える「佐賀城下町の変遷と特色」と題した講演会開催〔中心商店街活性化支援事業〕 | 歴史的遺産 | 講演会 | 佐賀市 |
| 644 | 99.03.20 99.04.09 | まちづくり佐賀（社長・田中稔） | 疑似行政 | 企業 | 佐賀市 | エスプラッツ北側の新アーケード「ハルーン通りアーケード」がほぼ完成 | 商店街活性化 | 施設・設備 | 佐賀市 |
| 645 | 99.03.21 | 八戸溝女性フォーラム（会長・三村かほる） | 市民 | 市民 | 佐賀市 | 「八戸溝落語」開催 | 文化 | イベント | 佐賀市 |
| 646 | 99.03.23 | 相知町 | 行政 | 市町村 | 相知町 | 「第10回相知町人権啓発交流会」開催 | 保健・福祉 | 交流会 | 相知町 |

| No. | 掲載日 | 主体団体名 | 主体団体 | | | 内 容 | 分野 | 形態 | 対象地域名 |
|-----|----------------------|--|------|-----------|------|---|--------|---------|-------|
| | | | 大区分 | 中区分 | 小区分 | | | | |
| 647 | 99.03.28 | フォーラム小城。佐賀新聞社など後援 | 市民 | 市民 | 小城町 | 小城の文化・歴史をテーマにした公開フォーラム「中世の大都市―すごいぞ小城」開催（4月に1部オープンする図書館などの複合施設「桜城館」の記念イベント） | 歴史的遺産 | 講演会 | 小城町 |
| 648 | 99.03.30 | 2001年記念事業検討懇話会（座長・内田泰/佐賀大学教授） | 行政 | 市町村 | 唐津市 | 唐津市の豊かな自然を生かした「エコパークシティからつ構想」を市に提案 | 環境保全 | 施策 | 唐津市 |
| 649 | 99.04.02 | 有明町まちづくり事業委員会（委員長・樋口和敏、町商工会の特産品の開発、販路拡大を推進する部会として発足） | 疑似行政 | 商工会議所等 | 有明町 | 町の活性化について話合う「夜なべ談議」開催（事前に町民を対象に行ったアンケートなどを基に） | 全般 | 交流会 | 有明町 |
| 650 | 99.04.02 | 佐賀新聞社 | 疑似行政 | 企業 | 佐賀市 | 地価の下落幅が拡大しているが、しっかりした都市計画に基づくまちづくりを進めることが、土地政策の基本である。 | 総合計画等 | 政策提言 | 佐賀県 |
| 651 | 99.04.07 | 鹿島市商工会議所青年部（会長・吉武高之） | 疑似行政 | 商工会議所等 | 鹿島市 | 「市民意識調査」結果（市民は21世紀に向けて、環境を重視したまちづくりを望んでいる） | 環境保全 | 調査 | 鹿島市 |
| 652 | 99.04.09 99.04.19 | まちづくり佐賀 | 疑似行政 | 企業 | 佐賀市 | エスプラッツ北側に「バルーン通りアーケード」完成 | 商店街活性化 | 施設・設備 | 佐賀市 |
| 653 | 99.04.10 | 佐賀経済同友会（代表幹事・杉町誠二郎/佐電工会長） | 疑似行政 | 団体 | 佐賀県 | 「第44回佐賀経済同友会総会」開催（中心市街地活性化のためのまちづくりシンポジウムなど本年度事業計画を決めた）（於佐賀市） | 市街地再開発 | シンポ | 佐賀県 |
| 654 | 99.04.13 | 伊万里市 | 行政 | 市町村 | 伊万里市 | 「第4次総合開発計画」まとまる（「市民一人ひとりのゆとりと豊かさの創造」を基本理念に） | 総合計画等 | 計画・構想策定 | 伊万里市 |
| 655 | 99.04.14 | 厳木町（連絡：町中央公民館） | 行政 | 市町村 | 厳木町 | 絵画教室の参加者募集 [生涯学習事業] | 文化 | セミナー | 厳木町 |
| 656 | 99.04.16 | 佐賀商工会議所、まちづくり佐賀 | 疑似行政 | 商工会議所等、企業 | 佐賀市 | 「中心市街地のまちづくり」をテーマにした講演会 | 市街地再開発 | 講演会 | 佐賀市 |
| 657 | 99.04.17 | 牛津町 | 行政 | 市町村 | 牛津町 | JR牛津駅前広場の愛称「津の里ひろば」に決定（公募から）[まちづくり事業] | 市街地再開発 | 募集 | 牛津町 |
| 658 | 99.04.20 | 嬉野町役場まちづくり課 | 行政 | 市町村 | 嬉野町 | ランドマークとして建設した巨大な茶つぼ（休憩所）の愛称募集 | 文化 | 募集 | 嬉野町 |
| 659 | 99.04.21 | 佐賀モダンジャズオーケストラ | 市民 | 市民 | 佐賀市 | 「スプリングコンサート」開催（ジャズを通して音楽文化を発信し、楽しい佐賀んまちづくりに一役買いたい） | 文化 | イベント | 佐賀市 |
| 660 | 99.04.22 | 夏祭実行委員会のメンバー中心に準備（連絡：町農業林務課野副孝典さん） | 市民 | 市民 | 三日月町 | 若者の発想や民間活力を町勢浮揚に結び付けようと、三日月町町内のまちづくりグループが結束し、「グループ三日月21」（仮称）を立上げ | 全般 | 組織づくり | 三日月町 |
| 661 | 99.05.02 99.06.18 | 田植唄アジアフェスティバル実行委員会（連絡：西有田町企画情報課） | 行政 | 市町村 | 西有田町 | 「第10回田植唄アジアフェスティバル99」開催 [文化のまちづくり事業] | 文化 | イベント | 西有田町 |
| 662 | 99.05.11 | 同志社大学大学院修士 | 市民 | 市民 | 大阪府 | 修士論文に「鳥栖フーチャーズの解散とサガン鳥栖の誕生―地域とスポーツのあり方について―」 | スポーツ | 政策提言 | 鳥栖市 |
| 663 | 99.05.13 | 武雄市役所都市計画課 | 行政 | 市町村 | 武雄市 | 中心市街地や商店街の活性化について考える「いきいきまちづくりセミナー」開催 | 商店街活性化 | セミナー | 武雄市 |
| 664 | 99.05.15 | 小城高演劇部、おはなし会三日月、うたごえクラブ | 市民 | 市民 | 三日月町 | ユーゴスラビア・コソボ難民救済のチャリティイベント開催 | 保健・福祉 | イベント | 三日月町 |
| 665 | 99.05.16 | 西有田町 | 行政 | 市町村 | 西有田町 | 西有田町がHP開設 http://ww7.tiki.ne.jp/~nishiarita/ | 情報・通信 | 施設・設備 | 西有田町 |

| No. | 掲載日 | 主体団体名 | 主体団体 | | | 内 容 | 分野 | 形態 | 対象地域名 |
|-----|----------------------------------|---|---------|-----------|------|---|-------|---------|-------|
| | | | 大区分 | 中区分 | 小区分 | | | | |
| 666 | 99.05.16 | 伊万里まちづくり実行委員会（会長・堤茂樹、伊万里の会（伊万里青年会議所、伊万里商工会議所青年部、市農協青年部、グローバル伊万里海外派遣研修団）、一般公募、伊万里市で構成） | 行政 | 市町村 | 伊万里市 | 故黒澤明監督に関する講演会などのイベントを企画し、まちづくりを進めようと「伊万里まちづくり実行委員会」発足 | 文化 | 組織づくり | 伊万里市 |
| 667 | 99.05.26 | 唐津青年会議所（理事長・辻省治郎） | 疑似行政 | 商工会議所等 | 唐津市 | 県議、市民それぞれの役割を考え、まちづくりの意識を高めようと「市民参加のまちづくり公開フォーラム」開催 | 市民参加 | シンポ | 唐津市 |
| 668 | 99.05.26 99.05.26 | 佐賀県、県青少年団体連絡協議会 | 行政,疑似行政 | 県,団体 | 佐賀県 | 子供達が描いた夢を青年ボランティアの協力で実現させる「第3回子どもの夢かなえ隊」選考委員会 | 生涯学習 | 会議・委員会 | 佐賀県 |
| 669 | 99.05.27 99.08.26 | 地元の若者を中心の佐賀セラミックロード車いすマラソン大会実行委員会 | 市民 | 市民 | 西有田町 | 「第10回佐賀セラミックロード車いすマラソン大会」開催（90年から、障害者の社会参加の喚起や障害者とのふれあいを目的） | 保健・福祉 | 大会 | 西有田町 |
| 670 | 99.05.29 | 三日月町 | 行政 | 市町村 | 三日月町 | 「第2次総合計画」スタート（町の将来像は「人がまんなか笑顔が集う条里のさと・みかつぎ」） | 総合計画等 | 計画・構想策定 | 三日月町 |
| 671 | 99.06.01 | 唐津青年会議所 | 疑似行政 | 商工会議所等 | 唐津市 | 「今こそ市民参加の街づくりを考える」をテーマに公開フォーラム開催 | 市民参加 | シンポ | 唐津市 |
| 672 | 99.06.01 | フォーラム風（代表・居石好文）（連絡：厳木町企画課） | 市民 | 市民 | 厳木町 | 田植えを経験する「どろんこわんぱくスクール」参加者募集（対象は小学生と幼児） | 産業振興 | 体験学習 | 厳木町 |
| 673 | 99.06.01 | 個人：井上一夫/風計画事務所代表 | 市民 | 市民 | 嬉野町 | 嬉野町二十一まちづくり委員会のワークショップに参加して | 全般 | 研究会 | 嬉野町 |
| 674 | 99.06.05 | 佐賀県商工会連合会、佐賀県商工会青年部連合会 | 疑似行政 | 商工会議所等 | 佐賀県 | 「県若い経営者の主張大会」地区大会開催（県内4会場） | 担い手育成 | 大会 | 佐賀県 |
| 675 | 99.06.05 | 西唐津商店街 | 疑似行政 | 商店街 | 唐津市 | 「まちづくり協定」による初の建築物（モダンレトロ調の店舗兼住宅3棟）の見学会 | 都市景観 | セミナー | 唐津市 |
| 676 | 99.06.05 99.06.12 99.06.20 | 佐賀県快適まちづくり推進実行委員会 | 行政 | 県 | 佐賀県 | 「福祉でまちづくり」をテーマに「第16回まちづくり文化講演会」開催（於佐賀市） | 保健・福祉 | セミナー | 佐賀県 |
| 677 | 99.06.06 | 唐津青年会議所 | 疑似行政 | 商工会議所等 | 唐津市 | 「今こそ市民参加のまちづくりを考える」をテーマに公開フォーラム開催 | 市民参加 | シンポ | 唐津市 |
| 678 | 99.06.08 | サガン鳥栖 | 疑似行政 | 企業 | 鳥栖市 | サガン鳥栖に新スポンサー（株）たらみ誕生 | スポーツ | 実践活動 | 鳥栖市 |
| 679 | 99.06.08 | 川を生かしたまちづくり懇話会（1998.11発足、市民ら）、佐賀商工会議所川のまちづくり委員会 | 疑似行政,市民 | 商工会議所等,市民 | 佐賀市 | 佐賀の川の歴史を学ぶ講演会 | 文化 | 講演会 | 佐賀市 |
| 680 | 99.06.11 | 北方アマチュア無線国際交流協会（会長・田中好人、12人） | 市民 | 市民 | 北方町 | NPO法人県第1号誕生/北方アマチュア無線国際交流協会 | NPO | 組織づくり | 佐賀県 |
| 681 | 99.06.17 | 神埼町 | 行政 | 市町村 | 神埼町 | マスタープラン紹介（少子、高齢化社会の中での活力づくりと、恵まれた自然や歴史と共生できるまちづくりを、住む・働く・憩う・学び集うの4テーマで） | 総合計画等 | 計画・構想策定 | 神埼町 |

| No. | 掲載日 | 主体団体名 | 主体団体 | | | 内 容 | 分野 | 形態 | 対象地域名 |
|-----|----------------------|---------------------------------------|------|--------|------|---|--------|---------|-------|
| | | | 大区分 | 中区分 | 小区分 | | | | |
| 682 | 99.06.18 | 佐賀市 | 行政 | 市町村 | 佐賀市 | 「第3回都市景観賞」作品募集 | 都市景観 | 募集 | 佐賀市 |
| 683 | 99.06.19 | まちづくり佐賀 | 疑似行政 | 企業 | 佐賀市 | 「市民からの提言一期待される商店街になるには」と題し講演会 | 商店街活性化 | 講演会 | 佐賀市 |
| 684 | 99.06.20 | 日本青年会議所佐賀ブロック協議会(会長・山下雄司) | 疑似行政 | 商工会議所等 | 佐賀県 | 次代を担う高校生にまちづくりについて考える機会を持ってもらおうと「第1回まちづくり討論会」開催(於佐賀市) | 担い手育成 | 意見交換 | 佐賀市周辺 |
| 685 | 99.06.21 | 佐賀県障害者連合会(会長・松尾栄) | 疑似行政 | 団体 | 佐賀県 | 「福祉でまちづくり」をテーマに「第47回県身体障害者福祉大会」開催(於鳥栖市) | 保健・福祉 | 大会 | 佐賀県 |
| 686 | 99.06.22 | 鳥栖コンベンション・シティー委員会 | 行政 | 市町村 | 鳥栖市 | 10回目の街づくりへの提言書を鳥栖市に提出(「10万人規模の都市づくり」では、地元住民参加による市町村合併調査検討委員会をつくるなどの具体的な取組み) | 広域行政 | 会議・委員会 | 鳥栖市 |
| 687 | 99.06.22 | 個人:高平愛子(神埼中3年) | 市民 | 市民 | 神埼町 | 「まちづくり月間」の作文コンクールの知事賞受賞 | 文化 | コンクール | 神埼町 |
| 688 | 99.06.23 | 多久市 | 行政 | 市町村 | 多久市 | 生涯学習まちづくり出前講座の利用盛況(昨年4月から、市民10人以上の要望があれば、市職員を無料で講師に派遣する制度) | 生涯学習 | セミナー | 多久市 |
| 689 | 99.06.25 | 佐賀県生活環境部 | 行政 | 県 | 佐賀県 | 県内NPOの実態調査の実施を予定 | NPO | 調査 | 佐賀県 |
| 690 | 99.06.27 | 西有田町郵政まちづくり協議会 | 行政 | 国 | 郵政省 | 「アジア郵便局交流サミット」で、アジア8ヶ国の郵便ポストの実物大が展示されている | 情報・通信 | 会議・委員会 | 西有田町 |
| 691 | 99.06.28 | 佐賀市 | 行政 | 市町村 | 佐賀市 | 市は、旧長崎街道のたたずまいが残る柳町一帯を「都市景観形成地区」に指定(初の地区指定) | 都市景観 | 施策 | 佐賀市 |
| 692 | 99.06.29 99.07.16 | 早稲田大理工学部総合研究センター | 疑似行政 | 企業 | 東京都 | 若手の設計士や職人、学生などを対象にした第1回「早稲田バウハウス・スクールin佐賀」開催(8/17~9/2)(於佐賀市) | 住居・建物 | セミナー | 佐賀県 |
| 693 | 99.07.01 | 塩田町 | 行政 | 市町村 | 塩田町 | 塩田町マスタープラン(「暮らし充実、誇りのもてるまちづくり」がスローガン) | 総合計画等 | 計画・構想策定 | 塩田町 |
| 694 | 99.07.01 | 個人:西井和彦/スーパーマーケット経営(バリアフリーのまちづくりを目指す) | 市民 | 市民 | 北波多町 | 投稿「車椅子駐車場をふさがないで」 | 保健・福祉 | 政策提言 | 北波多町 |
| 695 | 99.07.02 | 佐賀市、佐賀市内郵便局 | 行政 | 市町村 | 佐賀市 | 安全で住み良いまちづくりを進めるため、佐賀市と市内の各郵便局が災害時の「相互協力協定」に調印(多久市など5市14町で締結済み) | 防災・防犯 | 施策 | 佐賀市 |
| 696 | 99.07.03 | 佐賀大学教職員組合など | 行政 | 国 | 文部省 | シンポジウム「どがんすつか佐大ば」開催(於佐賀市) | 教育 | シンポ | 佐賀県 |
| 697 | 99.07.06 | 佐賀新聞社など九州の7新聞社 | 疑似行政 | 企業 | 九州 | 九州の次代を担う人材育成とネットワークづくりを目的にした「99九州平成塾」が「新世紀に挑む~変える決意、変わる九州」をランドテーマに開催(於福岡市) | 担い手育成 | セミナー | 九州 |
| 698 | 99.07.09 | 県住宅供給公社企画分譲課 佐賀の家づくり・まちづくり係 | 行政 | 県 | 佐賀県 | 環境と共生した豊かな地域づくりを目指す「佐賀の家づくり・まちづくり塾」開催(於佐賀市) | 環境保全 | セミナー | 佐賀県 |
| 699 | 99.07.10 | くらしとまちづくりを考えるつどい実行委員会(唐津市労連などで構成) | 疑似行政 | 団体 | 唐津市 | 「くらしとまちづくりを考えるつどい」開催 | 生活 | 交流会 | 唐津市 |
| 700 | 99.07.10 | 西有田中学校3年生 | 行政 | 市町村 | 西有田町 | 「バリアフリー」のまちづくりの必要性を学ぶ研究授業実施 | 保健・福祉 | セミナー | 西有田町 |

| No. | 掲載日 | 主体団体名 | 主体団体 | | | 内 容 | 分野 | 形態 | 対象地域名 |
|-----|--|--|---------|------------|------------------|---|--------|--------|---|
| | | | 大区分 | 中区分 | 小区分 | | | | |
| 701 | 99.07.15 | 県商工会連合会など | 疑似行政 | 商工会議所等 | 佐賀県 | 「若い経営者の主張県大会」開催（千代田町の新井さん優勝、九州大会へ）（於嬉野町） | 担い手育成 | 大会 | 佐賀県 |
| 702 | 99.07.18 | 日本青年会議所佐賀ブロック協議会 | 疑似行政 | 商工会議所等 | 広域 | 佐賀市周辺の高校生と行っている「第2回まちづくり討論会」開催 | 全般 | 意見交換 | 佐賀市周辺 |
| 703 | 99.07.25 | 佐賀県 | 行政 | 県 | 佐賀県 | 地域づくり・まちづくりの支援者養成を図ることを目的に、「まちづくり仕掛け人養成講座」開催（於佐賀市） | 担い手育成 | セミナー | 佐賀県 |
| 704 | 99.07.28 | 蛸会（会長・小松輝義/相知町町長、佐賀市・神崎町・山内町・江北町・福富町・大町町・嬉野町・中原町・七山村・呼子町・鎮西町、3年前に発足） | 行政 | 市町村 | 県内1市10町、新潟県17自治体 | 県内の若手町村長でつくる「蛸会」と新潟県の「蛸の会」との交流勉強会開催（去年は新潟県を訪れた） | 広域行政 | 会議・委員会 | 佐賀市・神崎町・山内町・江北町・福富町・大町町・嬉野町・中原町・七山村・呼子町・鎮西町 |
| 705 | 99.07.31 | 県郵政まちづくり協議会（県、PTA連合会、県教委、県警と連携） | 行政 | 国 | 郵政省 | 県内の205の郵便局が、子供を犯罪から守る「こども110番の家」、うち49の集配業務車両を「こども110番（くるま）」として協力 | 防災・防犯 | 施設・設備 | 佐賀県 |
| 706 | 99.08.02 | まちづくり佐賀 | 疑似行政 | 企業 | 佐賀市 | 「エスプラッツ」に商業床をもつ地権者（22人）の1部と、ビルを経営する第3セクター・まちづくり佐賀との間で、賃貸契約が結べない状態が続いている | 商店街活性化 | 実践活動 | 佐賀市 |
| 707 | 99.08.04 99.08.09 99.08.29 | 佐賀市 | 行政 | 市町村 | 佐賀市 | JR佐賀駅周辺再開発事業の「市民説明会」開催（2回目） | 市街地再開発 | 事業・制度 | 佐賀市 |
| 708 | 99.08.04 99.08.22 | 日本青年会議所佐賀ブロック協議会 | 疑似行政 | 商工会議所等 | 佐賀県 | 佐賀市周辺の高校生と行っている「まちづくりさみっと」開催（第3回まちづくり討論会） | 全般 | 意見交換 | 佐賀市周辺 |
| 709 | 99.08.05 | 社民県連、自治労県支部など県内の労働組合（連絡：県地方自治問題研究所） | 疑似行政 | 団体 | 佐賀県 | 地方自治体の課題や在り方を探る「第36回県地方自治研究集会」開催（於武雄市） | 域内行政 | 研究会 | 佐賀県 |
| 710 | 99.08.05 | 川副町、商工会青年部など | 行政、疑似行政 | 市町村、商工会議所等 | 川副町 | 「川副町ふれあい夏祭り」開催（有明佐賀空港開港1周年を祝して） | 文化 | イベント | 川副町 |
| 711 | 99.08.06 | 佐賀空港振興協議会（会長・井田園之、佐賀県、官民で構成） | 疑似行政 | 団体 | 佐賀県 | 「佐賀空港の利用促進大会」と記念講演会開催（於佐賀市） | 交通・安全 | 講演会 | 佐賀県 |
| 712 | 99.08.06 99.08.29 99.08.30 99.08.31 | 唐人町商店街振興組合（約70店舗）、唐人町自治会などの実行委員会 | 疑似行政 | 商店街 | 佐賀市 | 唐人町が誕生してから今年で400年を向かえ「唐人町400年祭」開催 | 文化 | イベント | 佐賀市 |
| 713 | 99.08.08 | 西有田アジアフェスティバル実行委員会（連絡：西有田町企画情報課） | 行政 | 市町村 | 西有田町 | ミュージカル「シンデレラ」開催 [文化のまちづくり事業] | 文化 | イベント | 西有田町 |
| 714 | 99.08.09 | 多久市役所企画課 | 行政 | 市町村 | 多久市 | 21世紀のまちづくりに市民の声を反映させようと、新総合計画策定の審議会委員を一般から募集（4人） | 総合計画等 | 募集 | 多久市 |

| No. | 掲載日 | 主体団体名 | 主体団体 | | | 内 容 | 分野 | 形態 | 対象地域名 |
|-----|--|--|------|-------|----------|--|--------|---------|-------------------|
| | | | 大区分 | 中区分 | 小区分 | | | | |
| 715 | 99.08.12 99.08.25 99.10.05 99.10.14 | 新しい佐賀を考える住民会議（1997年結成、佐賀青年会議所に所属する若手経営者中心） | 市民 | 市民 | 佐賀県 | 町村合併をテーマにした「広域まちづくり討論会」開催（於久保田町ほか南部4町予定） | 広域行政 | 意見交換 | 久保田町、東与賀町、川副町、諸富町 |
| 716 | 99.08.15 | 国土庁 | 行政 | 国 | 総理府(国土庁) | 生活空間倍増戦略プラン「地域戦略プラン」の実施計画公表【生活空間倍増戦略プラン】（県内16市町村が計画する5事業が選ばれた） | 全般 | 計画・構想策定 | 唐津市、鳥栖市など15市町村 |
| 717 | 99.08.18 | 嬉野町まちづくり課 | 行政 | 市町村 | 嬉野町 | 「第2回きもの園遊会」参加者募集（情緒豊かな観光地を演出しようとして昨年からの） | 産業振興 | イベント | 嬉野町 |
| 718 | 99.08.20 | 伊万里まちづくり実行委員会など（会長・堤茂樹、連絡：伊万里市女性文化政策室） | 行政 | 市町村 | 伊万里市 | 黒澤映画の魅力に迫る「伊万里・黒澤映画祭」開催【県ほのお博基金の支援事業】 | 文化 | イベント | 伊万里市 |
| 719 | 99.08.23 99.08.27 | 建設省 | 行政 | 国 | 建設省 | 建設省予算の概算要求の骨格決定（まちづくり総合支援事業の創設など） | 国政(建設) | 事業・制度 | 全国 |
| 720 | 99.08.24 | 西唐津商店街振興組合 | 疑似行政 | 商店街 | 唐津市 | 西唐津地区建築協定「まちなみ協定」（県内で5件目） | 都市景観 | 条例制定 | 唐津市 |
| 721 | 99.08.29 | 佐賀銀行の若手中心に約100人 | 疑似行政 | 企業 | 佐賀市 | 河川清掃ボランティア「第3回クリーン河童作戦」実施 | 環境保全 | 実践活動 | 佐賀市 |
| 722 | 99.09.16 | 山内町 | 行政 | 市町村 | 山内町 | 山内町マスタープラン（「快適！やまうち 黒髪の浪漫と自然公園の町」を将来像に） | 総合計画等 | 計画・構想策定 | 山内町 |
| 723 | 99.09.17 | 建設省 | 行政 | 国 | 建設省 | 来年度から創設する統合補助金のうち「まちづくり総合支援事業」の内容確定 | 国政(建設) | 事業・制度 | 全国 |
| 724 | 99.09.17 99.09.22 | 県快適まちづくり推進実行委員会 | 行政 | 県 | 佐賀県 | 「第8回県快適建築賞」作品募集（94年4月～99年3月までに建設された建物が対象） | 住居・建物 | 募集 | 佐賀県 |
| 725 | 99.09.25 99.10.07 99.10.09 99.10.17 | 佐賀県経済同友会、九州電力佐賀支店 | 疑似行政 | 団体、企業 | 佐賀県、佐賀市 | 「21世紀へ向けての県都佐賀市のまちづくり」をテーマにまちづくりシンポジウム開催 | 全般 | シンポ | 佐賀市 |
| 726 | 99.09.26 | サガン鳥栖 | 疑似行政 | 企業 | 鳥栖市 | サガン鳥栖の紹介（97年2月誕生、基本理念は「人づくり、まちづくり、ゆめづくり」） | スポーツ | 実践活動 | 鳥栖市 |
| 727 | 99.09.26 | 伊万里まちづくり実行委員会 | 行政 | 市町村 | 伊万里市 | 「伊万里・黒澤映画祭」で、伊万里市黒川小学校3年生が「7人の侍」の予告編を製作 | 文化 | イベント | 伊万里市 |
| 728 | 99.09.27 | 伊万里まちづくり実行委員会（会長・堤茂樹） | 行政 | 市町村 | 伊万里市 | 「伊万里・黒澤映画祭」閉幕 | 文化 | イベント | 伊万里市 |
| 729 | 99.09.27 | フォーラム小城 | 市民 | 市民 | 小城町 | 公開フォーラム「すごいぞ小城パートII」開催 | 文化 | 講演会 | 小城町 |
| 730 | 99.09.29 99.10.05 | まちづくり佐賀 | 疑似行政 | 企業 | 佐賀市 | エスプラッツ単年度2億円の赤字を明らかに | 商店街活性化 | 実践活動 | 佐賀市 |
| 731 | 99.10.03 | 伊万里まちづくり実行委員会 | 行政 | 市町村 | 伊万里市 | 「黒澤の夢アイデアコンテスト」入賞作品決定 | 文化 | コンクール | 伊万里市 |
| 732 | 99.10.04 | 個人：西井和彦 | 市民 | 市民 | 佐賀県 | 投稿「福祉を担う小さな商店」を提案 | 保健・福祉 | 政策提言 | 佐賀県 |
| 733 | 99.10.11 | 牛津町 | 行政 | 市町村 | 牛津町 | 第4次総合開発計画の審議会委員を町民から募集（5人以内） | 総合計画等 | 募集 | 牛津町 |

| No. | 掲載日 | 主体団体名 | 主体団体 | | | 内 容 | 分野 | 形態 | 対象地域名 |
|-----|----------------------|------------------------------------|------|--------|-------------|--|--------|---------|-------------------|
| | | | 大区分 | 中区分 | 小区分 | | | | |
| 734 | 99.10.17 | 佐賀葉がくれライオンズクラブ | 疑似行政 | その他 | 佐賀市 | 創立30周年記念事業でガス灯2基寄贈 | 都市景観 | 施設・設備 | 佐賀市 |
| 735 | 99.10.21 | 日本青年会議所佐賀ブロック協議会 | 疑似行政 | 商工会議所等 | 佐賀県 | 井本知事を招き懇談会 | 全般 | 懇談会 | 佐賀県 |
| 736 | 99.10.21 | 風サミット（呼子町など全国35自治体が加盟） | 行政 | 市町村 | 呼子など全国35自治体 | 「第6回風サミット」開催（呼子町など参加）（於大分県） | 全般 | 会議・委員会 | 35自治体 |
| 737 | 99.10.21 | 川副町健康福祉課 | 行政 | 市町村 | 川副町 | 「第3回福祉・健康まちづくり大会」開催 | 保健・福祉 | 大会 | 川副町 |
| 738 | 99.10.22 99.10.23 | 佐賀県、長崎県、福岡県 | 行政 | 県 | 佐賀、長崎、福岡県 | 九州北部三県懇話会（3県の各知事の意見交換）（於佐世保市） | 広域行政 | 交流会 | 佐賀県、福岡県、長崎県 |
| 739 | 99.10.26 | 鳥栖市 | 行政 | 市町村 | 鳥栖市 | 「花と緑のまちづくりポスターコンクール」表彰 | 環境保全 | コンクール | 鳥栖市 |
| 740 | 99.10.28 | 武雄市 | 行政 | 市町村 | 武雄市 | 第4次総合計画策定作業中（目標とする都市像「住みやすい生活都市」「魅力ある観光保養都市」「みんなで創る市民都市」） | 総合計画等 | 計画・構想策定 | 武雄市 |
| 741 | 99.10.29 99.11.28 | 中小企業庁、佐賀県など | 行政 | 国、県 | 通産省、佐賀県 | 中心市街地の活性化やまちづくりの在り方を探る「地域商業活性化フォーラム」開催 | 商店街活性化 | シンポ | 佐賀市 |
| 742 | 99.11.03 | 佐賀市都市計画審議会（会長・荒牧軍治、17人） | 行政 | 市町村 | 佐賀市 | 旧長崎街道の1部「町家通り線」を都市計画道に追加するよう佐賀市長に答申〔建設省：身近なまちづくり支援街路事業〕 | 歴史的遺産 | 施設・設備 | 佐賀市 |
| 743 | 99.11.04 | （社）民間活力開発機構 | 行政 | 国 | 通産省 | 温泉を核にした自治体のまちづくりを支援した「温泉療養地支援事業」を来年春から開始 | 産業振興 | 事業・制度 | 全国 |
| 744 | 99.11.05 | 国土庁など | 行政 | 国 | 総理府(国土庁) | 「水辺環境を活かしたまちづくり」をテーマに「第8回世界地方都市十字路会議」開催（於福岡県柳川市） | 環境保全 | 会議・委員会 | 世界の地方都市 |
| 745 | 99.11.07 | 佐賀大学低平地防災研究センター | 行政 | 国 | 文部省 | 「未来の低平地居住環境の創造に向けて」をテーマに「低平地市民フォーラム」開催（於佐賀市） | 住居・建物 | シンポ | 佐賀県 |
| 746 | 99.11.08 | 屋根のない博物館 | 市民 | 市民 | 相知町 | 「人と魚がいつしよに棲める水を創ろう」をテーマに「第12回相知町まちづくりセミナー」開催 | 環境保全 | セミナー | 巖木町 |
| 747 | 99.11.16 | 嬉野町総合計画審議会 | 行政 | 市町村 | 嬉野町 | 「元気になる、元気にさせる嬉野町」をスローガンに「第四次嬉野町総合計画（21うれしのさわやかプラン）」まとまる | 総合計画等 | 計画・構想策定 | 嬉野町 |
| 748 | 99.11.18 | 伊万里市・有田町・西有田町・山内町の教育委員会、県立生涯学習センター | 行政 | 県、市町村 | 佐賀県、県内1市3町 | 広域圏学習モデル講座「4市町ジョイントセミナーIN西部」参加者募集（「歴史を活かしたまちづくり」など） | 広域行政 | セミナー | 伊万里市、有田町、西有田町、山内町 |
| 749 | 99.11.18 | 牛津町 | 行政 | 市町村 | 牛津町 | 町民の声を第4次総合開発計画に反映させるため「牛津まちづくり委員会」を新設、委員50人を町民から募集 | 総合計画等 | 組織づくり | 牛津町 |
| 750 | 99.11.20 | 太良町 | 行政 | 市町村 | 太良町 | 「人づくり海外研修事業」初の研修団（欧州3ヶ国）の出発式（外国の生活や文化、産業などを実際に見聞することで国際感覚と視野を広げ、地域リーダーに育成するのが目的） | 担い手育成 | セミナー | 太良町 |
| 751 | 99.11.22 | 個人：久野健夫 | 市民 | 市民 | 佐賀市 | 投稿「目指せNPO法人先進県」（糖尿病の若年発症患者自立支援組織「DMユース佐賀」、全年齢で啓発活動を行う「佐賀県糖尿病協会など） | NPO | 計画・構想策定 | 佐賀県 |
| 752 | 99.11.30 | 個人：田中康弘/インターネットカフェ「C・M・C」オーナー | 疑似行政 | 企業 | 鳥栖市 | インターネットカフェ「C・M・C」出店（このまちを情報化時代から取り残されないようにしたかった） | 情報・通信 | PR | 鳥栖市 |

| No. | 掲載日 | 主体団体名 | 主体団体 | | | 内 容 | 分野 | 形態 | 対象地域名 |
|-----|----------------------|---|---------|-----------|-----------|---|--------|---------|------------|
| | | | 大区分 | 中区分 | 小区分 | | | | |
| 753 | 99.12.01 | 佐賀玉屋兵庫ショップ、三根町ショッピングセンター・マインなど | 疑似行政 | 企業 | 佐賀市、三根町など | 人にやさしい店づくり拡大（佐賀玉屋兵庫ショップが「県福祉のまちづくり条例」適合証第1号） | 保健・福祉 | 条例制定 | 佐賀県 |
| 754 | 99.12.02 | 玄海町 | 行政 | 市町村 | 玄海町 | 玄海町マスタープランの進捗状況（掘削中の温泉を核とした「健康福祉施設」に着手） | 保健・福祉 | 施設・設備 | 玄海町 |
| 755 | 99.12.02 99.12.14 | ちよだ食品（社長・広瀬卓生、千代田町境原） | 疑似行政 | 企業 | 佐賀市 | エスプラッツ1階にスーパー「アニー」開店（撤退した食品スーパー「清和」に代わる核店舗） | 商店街活性化 | 実践活動 | 佐賀市 |
| 756 | 99.12.04 | 郵便ボランティア（県内の特定・普通郵便局員によるボランティア・グループ） | 市民 | 市民 | 佐賀県 | 「郵便ボランティア」発足 | 全般 | 組織づくり | 佐賀県 |
| 757 | 99.12.07 | 佐賀市街づくり推進室 | 行政 | 市町村 | 佐賀市 | 市民参加型の街づくりを目指した「さがまち探検隊ワークショップ」参加者募集（3回予定） | 市民参加 | 募集 | 佐賀市 |
| 758 | 99.12.09 | 大町町 | 行政 | 市町村 | 大町町 | 大町町マスタープラン（「思いやり、美しさ、活力、ふれあいの新しい町」がテーマ） | 総合計画等 | 計画・構想策定 | 大町町 |
| 759 | 99.12.09 | 大町PTC実行委員会（大町町、商工会、婦人会などで構成、97年まではフォーラム大町が主催） | 市民 | 市民 | 大町町 | 「99大町・長崎街道かごかきフェスタ」紹介 [1998年からほのお博基金] | 歴史的遺産 | イベント | 大町町 |
| 760 | 99.12.12 | 佐賀市 | 行政 | 市町村 | 佐賀市 | JR佐賀駅周辺再開発に市長が事業の「先送り」を提案 | 市街地再開発 | 計画・構想策定 | 佐賀市 |
| 761 | 99.12.12 | 県郵政まちづくり協議会 | 行政 | 国 | 郵政省 | 児童養護施設「聖華園」にクリスマスプレゼント | 保健・福祉 | 実践活動 | 佐賀市 |
| 762 | 99.12.17 | 塩田町 | 行政 | 市町村 | 塩田町 | 塩田町長選に現職町長が出馬表明（…自主性のある行政運営と街づくりが求められる。…） | 域内行政 | 施策 | 塩田町 |
| 763 | 99.12.17 99.12.20 | 白山いきいき名店街（連絡：まちづくり佐賀） | 疑似行政 | 商店街 | 佐賀市 | サガン鳥栖選手やプロ野球選手との交流会（於佐賀市） | スポーツ | 交流会 | 佐賀市 |
| 764 | 99.12.19 | まちづくり佐賀 | 疑似行政 | 企業 | 佐賀市 | 市の中心商店街の元気復活を目指す「さがみせ探検隊」の第1回ワークショップ開催（3回ある） | 商店街活性化 | 調査 | 佐賀市 |
| 765 | 99.12.19 | 県N I E推進協議会（佐賀新聞社など日本新聞協会改名6社、県教育委員会など） | 疑似行政 | 団体 | 佐賀県 | 芙蓉小学校で「N I Eセミナー」開催（「住みたくなるまちづくり」を考える） | 生活 | セミナー | 佐賀県 |
| 766 | 99.12.19 | 主婦らでつくる実行委員会 | 市民 | 市民 | 佐賀市 | 21世紀の県都・佐賀市づくりについて、市民が自由に意見を述べる「みんなで創ろう、元気な佐賀市」開催 | 全般 | シンポ | 佐賀市 |
| 767 | 99.12.21 | 建設省 | 行政 | 国 | 建設省 | 来年度予算案に第2次地方分権推進計画に基づき、公共事業の補助事業「統合補助金」が創設（建設省の「まちづくり総合支援事業費補助」が中心） | 国政(建設) | 事業・制度 | 国 |
| 768 | 99.12.22 | 佐賀青年会議所、新しい佐賀を考える住民会議 | 疑似行政,市民 | 商工会議所等,市民 | 佐賀県 | 佐賀市郡1市6町の合併を想定した、新まちづくり構想書「『どがんでしょうか』こがんまち」まとまる | 広域行政 | 計画・構想策定 | 佐賀市郡1市6町 |
| 769 | 99.12.23 | サガン鳥栖 | 疑似行政 | 企業 | 鳥栖市 | サガン鳥栖に新監督・高祖和弘氏就任 | スポーツ | 実践活動 | 鳥栖市 |
| 770 | 99.12.26 | 唐津市、松浦郡9町村 | 行政 | 市町村 | 唐津市、松浦9町村 | 唐津市と松浦郡9町村の広域合併について | 広域行政 | 政策提言 | 唐津市、松浦郡9町村 |
| 771 | 99.12.28 | JR佐賀駅 | 疑似行政 | 企業 | 佐賀市 | J R佐賀駅に車椅子でも利用できるエスカレーター3基設置 | 保健・福祉 | 施設・設備 | 佐賀県 |